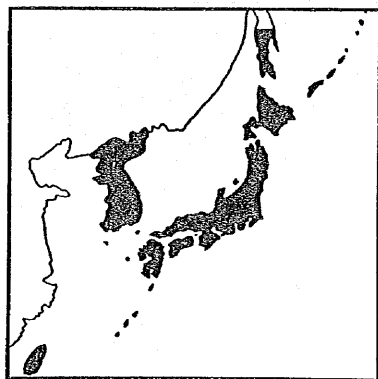


訂 五
書科教理地新子女

篇理地本日

著郎四與田西



京 東
兌發店書黒目

350

847

K230.24

49e

K230.24

49e

著 西田與四郎

訂 五

女子新地理教科書

本篇地理

東京
目黒書店發兌



富 士 山



松 島



富士山

富士山は我が國で最も高い火山で、又最も形のととのつた山である。高さ三七七六米。頂上には舊噴火口がある。神々しい姿は昔から詩や歌などによまれて、國民に大きい感化を與へて居る。この圖は静岡縣大宮町の邊から北東に眺めたところで、廣々とした裾野には村や森が分布し、富士身延鐵道の列車が走つて居る。工場は富士製紙會社である。この會社はもと富士の南麓から山腹一帯の大森林の木材を原料として居つたが、今では原料がここでは得られなくなつたので、遠く北海道・樺太・シベリヤ・北アメリカ等から、木材・パルプを求めて製紙をして居るのである。

松島

日本三景の一として有名な宮城縣の松島は仙臺灣内の松島灣に散ばる大小數百の島々から成つて居る。島は何れも凝灰岩といふ軟かい灰白色の岩石から成り、波や雨水の侵蝕を受けてさまざまの形をなし、その上には緑色濃い松がとり／＼の姿にはえて、清い海にその蔭をひたしてゐる。この圖は富山から見た景観である。鹽釜と松島との間には定期船が通つてゐる。この外和船（遊覽船）を雇つて島巡りをすることも出来る。諸子はこれから此の二圖に示す様に土地自然の有様と、自然と人との關係を調べて行くのである。

緒言

本書は「外國地理篇及び地理概説篇」と彼此相連絡して、拙著「新地理教科書」の全體系をなし、女子教育上有効適切ならんことを期した。

本書の編纂上特に注意せる點は次の如くである。

- 一 各地方を主とし日本の總説を簡にしたのは經驗上適切と信じたからである。
- 二 各地方の順序は北より南に及ぼしたが、教師の意見により各地方の順序を前後するも使用上不便なき様にした。
- 三 地理區と共に府縣區も實用上大切であるから相當に兩者の調和を計つた。
- 四 教材の選擇については從來のものよりも一層輕重を附し所謂模式的教授又は學習方法を行ふに便にした。即ち教材の徒らに多くして煩瑣不徹底の學習に終るよりも寧ろ主要教材を中心として地理的能力を練るに便なる様工夫した。然し他面に於て女子向の教材として衣食住等の家事的事項及び地方風俗については充分注意を拂つた。
- 五 特色あり利用度の高い寫眞地圖統計圖を多數に挿入し、之に出来るだけ平易且詳密な説明を附して本文を補足した。従つて本書は生徒學習用の參考書としても相當の材料を提供したこととなる。この點は本書の最も努力した點で生徒の學習興味を惹起し精密

- な観察力と理解力を得しむると共に教師の教授上にも便益が多いことと信ずる。生徒の自學自習を促し其の自發的研究を盛ならしめんとする自學主義は近時教授界の趨勢である。この點より見て本書は前項の注意の外更に各章末に學習の中心となるべき問題を掲げた。此の問題は各教材の中心點となるべきもので、教師は之を中心として教授を進むるもよく、學習法を採る教師にあつては固より生徒をして各種の問題を提出せしむるを可とするも之を以て中心問題として採用することが出来るのである。
- 七 作業主義も近時教授界の一主張であるから、作業に適する實習問題を本文や欄外や挿畫の説明文中に適宜安排附加し、生徒の地理的能力の涵養に便にした。
- 八 各地方の人文を説くに當りては務めて其の地文との連絡に注意する様記述し、又其の文章は出来るだけ平易にした。
- 九 統計は出来るだけ最新のものにより且務めて圖化した。
- 一〇 小學校地理科との連絡に注意し、欄外や挿畫の説明中に特に其の参照挿畫の註記を加へた。又外國地理概説及び他教科との連絡にも充分の注意を拂つた。

昭和十年九月

著者 識

訂五 女子新地理教科書 日本地理篇

目次

第一章	緒説	………	一
第二章	樺太地方	………	四
第三章	北海道地方	………	三
第四章	奥羽地方	………	六
第五章	關東地方	………	七
第六章	中部地方	………	五
第七章	近畿地方	………	五
第八章	中國地方	………	九
第九章	四國地方	………	九
第十章	九州地方	………	一〇

目次

第十一章	臺灣地方	二
第十二章	朝鮮地方	三
第十三章	總説	四
附録	甲、舊道別と國名	五
	乙、行政區劃面積人口都市	六

目次終

訂五 女子新地理教科書 日本地理篇

西田與四郎著

第一章 緒説

一、位置 我々が日本帝國はアジア洲の東部極東太平洋の北西に位置し、西と北の大部分は縁邊海（オホホリツク海、日本海、東支那海）を隔ててアジア大陸に接し、南は大洋洲の諸島とマレー諸島に近く、東は太平洋を隔てて遙に南北アメリカ洲と相對してゐる。即ち我が國は極東に位置する環太平洋の一國である。

委任統治地の南洋群島を加へると、南端は北緯一度二分、東端は東經一七二度一〇分となる。

位置の調べ方に二つの方法がある。(1)他との關係から見る場合、關係的位置と、(2)經緯度による場合、經緯度上の位置とである。我が國の範圍を經緯度で示すと次の如くである。

北端 北緯五〇度五五分 東端 東經一五六度三一分

三頁参照のこと
以下之にならぶ
面積三千五百方
里
面積二千一百
方里

△この外、關東州
約百十萬人、南
洋群島十萬人

第一章 緒 説

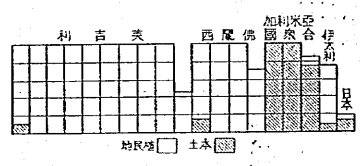
南端 北緯二〇度二五分 西端 東經一一九度一八分

二、面積人口 我が國は日本列島と朝鮮半島より成り、全面積凡そ六十八萬方里である。尙この外に關東州租借地と南洋群島委任統治地がある。その中本土は九州北海國道は約六割を占める。之を世界の四大國イギリス、アメリカ合衆國、フランス、イタリアに比べると我が本土はイギリス、イタリアの本土より稍大で、フランスの本土より稍小であるが、我が本土は他の四國の全土よりも遙に小である。

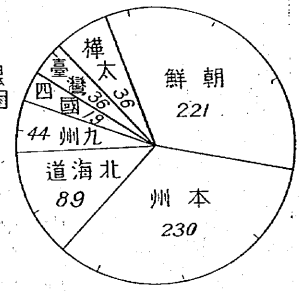
しかし我が國は風土良好で生活に適するから、人口は面積に比べて甚だ多く、總數約一億萬人を數へ、其の中本土の人口は約七千萬人である。之を他の四大國に比べると、我が本土の人口はアメリカ合衆國の本土に次ぎ、我が全土はイタリアを除いては最小である。しかし本土の人口密度はイギリス本土に次ぐ。

三、區分 我が本土は一道三府四十三縣に分たれる。本書は地理上から、本土内地、八地方と植民地、外地の樺太、臺灣、朝鮮に分けた。

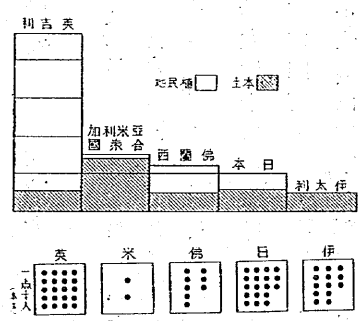
列強國の面積比較



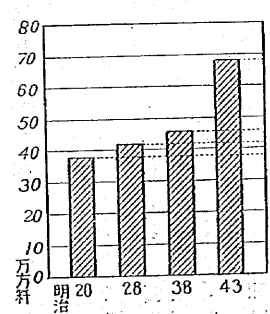
我が國各地の面積比較 (單位：千方里)



列強國の人口と人口密度比較 (單位：平方里)



我が國近年の面積増加



我が國各地の人口數(昭和十年)

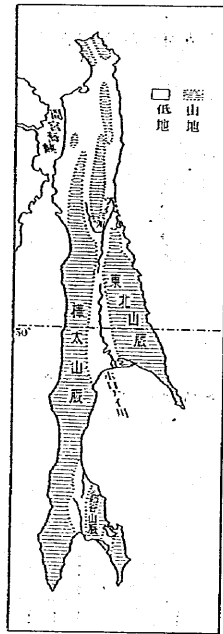
本州	五二七一萬人
朝鮮	二二九〇
九州	一〇一一
臺灣	五二一
四國	三三六
北海道	三〇七
樺太	三三
計	九七六九

實習 上の面積比較圖になら
つて人口比較圖を作れ

第二章 樺太地方

樺太は明治八年以來全部ロシア領であつたが今より約三〇年前日露戦役の結果北緯五〇度以南は我が國の領土となつた寒地性植民地である。我が國は樺太廳の下に七支廳を置いて之を治めてゐる。

* 本誌二、一六頁
(尋常小學地理書
卷二の一六頁詳
圖参照の略)



樺太の地形略圖

一位置地形 樺太は千島を除けば我が國最北の地方で、東はオホーツク海に臨み、西は間宮海峡を隔ててアジア大陸に對し、北は陸境を以てロシア領に接し、南は宗谷海峡を隔てて北海道に隣る。南北に走る樺太山脈は主な分水界をなし、その東に東北鈴谷の兩山脈がある。この東西兩山脈間には、北部に幌内川南部に鈴谷川、内淵川流域の平野が廣がつてゐる。海岸は亞庭灣多來加灣の外、一般に出入が少く、

屬島も海
豹島海馬
島だけで
ある。

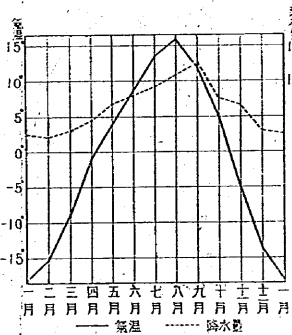
二氣候

樺太は我が國の最も冷涼な地方で、冬は川も海岸も概ね凍る。

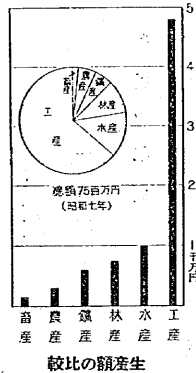


一五三頁の等温線圖で分るやうに、樺太の氣温は一月には南北の差甚しいが零下一二二〇度七月には之に反する(約一六度)。年平均では西岸は東岸よりも暖いのは海流の關係である。之は平均氣温であるが、北部の數香では最高三六度最低零下三九度となつたこともある。上圖の數香の氣温グラフも平均數であるが、零度以上の月は半年である。次に降水量は樺太は我が國の最少地方である(一五

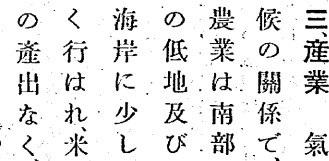
數香の氣候



實習 圖上に氣温の降水量を記入し、地氣候の比較をよべ。

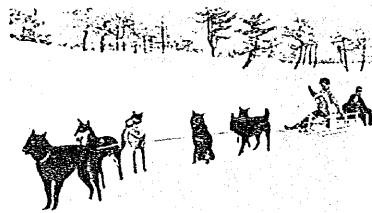


只麥馬鈴薯豆類等を産する。しかし寒
地性の原生林が廣く分布するので木材
を産し又、パルプ工業がおこつてゐる。



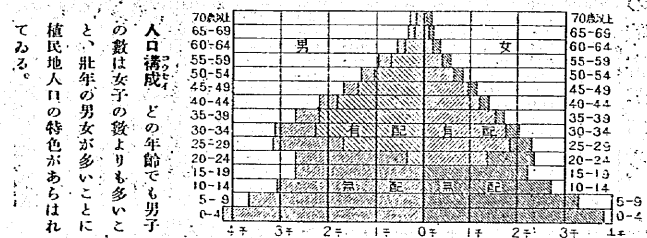
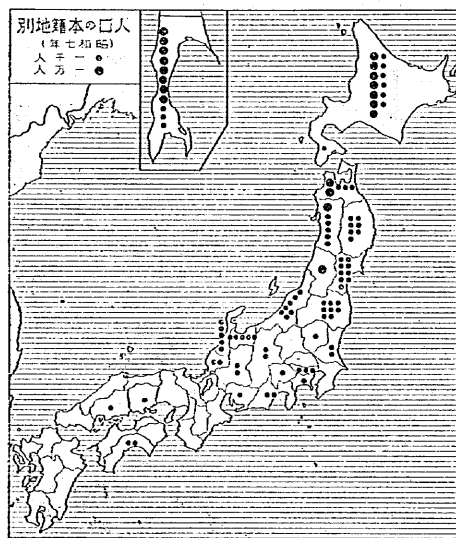
三頁。降雪期間は低地では十月下旬から五月中旬頃までである。海水は十一月下旬からはじまり、四月中旬に流氷となつて運び去られる。只真岡以南の西海岸だけは暖流の關係で殆んど氷らない。

搖 犬

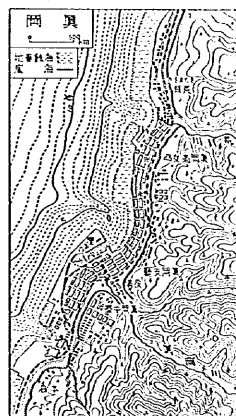
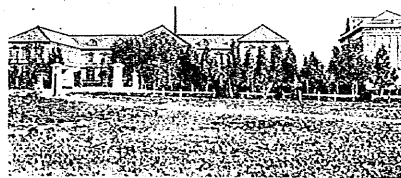
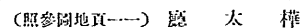


穂太は雪の量は多くはな
 いが十一月下旬頃から四
 月上旬頃まで根雪がある
 のでその期間の陸上交通
 は荷馬車や自動車に橇や
 スキーが代る。橇は馬の
 外に犬が用ひられる。又
 北方では馴鹿にひかせる。

七



尋地二、二〇頁
尋地二、二二頁



豊原町の東の郊外、スキーで名高い越ヶ丘の中腹にあつて境内からの眺望がよい。明治四十四年全島鎮護のために建てられた官幣大社で、大國魂命・大己貴命・少彦名命をまつる。

樺太神社

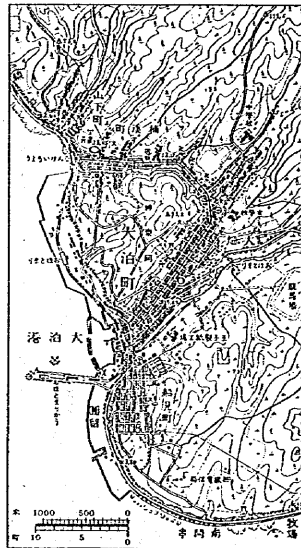
眞岡市街

住したものであるが、位置氣候等の關係で其の人口は未だ少い。

土人は約二千人、南部のアイヌ族が主で、幌内川流域にはオロコギリヤーク（ニクブシ七頁地）等が居るが文化低く、主に漁獵生活を営む。

五、交通都市

道路の發達が充分でない上に冬の交通は殊に不便である。鐵道は南部の低地から東岸を北上し、西岸に沿ふものとも連絡してゐる。航路は内地との間及び沿岸諸港間に通ずるが結氷流水ガス等の障害がある。南



(圖形地測陸) 泊 大

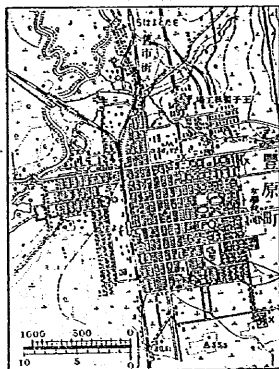


人コッロオ

ある。鐵道は南部の低地から東岸を北上し、西岸に沿ふものとも連絡してゐる。航路は内地との間及び沿岸諸港間に通ずるが結氷流水ガス等の障害がある。南

岸の大泊は本島の門戸に當る開港場、西岸の眞岡は開港場で水産業の中心、本斗は不凍港である。以上の三港は何れも内地と年中貨客の連絡がある。鈴谷川流域の首都豊原は本島開發の中心をなす。

(圖形地測陸) 原 豊

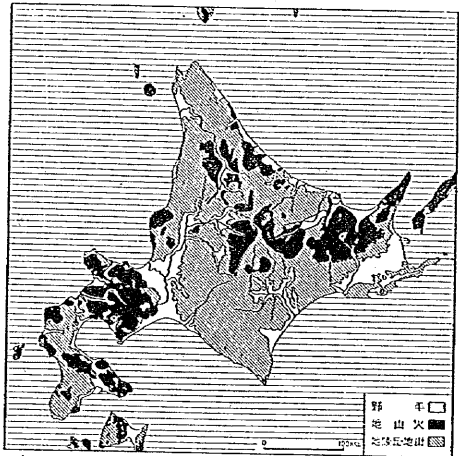


市舊・校學女・場工紙製・廠太樺
も見がどな街市新の式交直・街
。(頁二二・頁九一・二地本)るれ

問題 我が國の寒地性植民地としての樺太を調べよ。

第三章 北海道地方

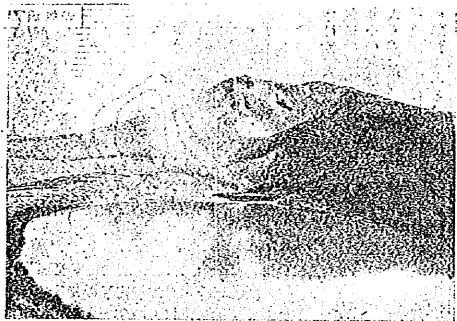
北海道はもと蝦夷とよばれ明治二年開拓使が置かれてから急に開發された地方である。現在北海道廳の下に十四支廳七市があつて之を治める。



北海道の地形

一、位置 北海道本島は樺太と本州との間に位し、千島列島はその北東に連り、ロシア領カムチャッカ半島に迫つてゐる。
二、地形 本島は石狩平野を界として、胴體部と半島部とに分つことが出来る。(1)胴體部は菱形をなし、蝦夷山脈(東北に北見山、高田山脈、西に天鹽山、張雨山脈)南北に走り、千島火山脈は千島列島より本島に入り、之と十字形に交り、その會合點の大雪山、十勝岳附近は土地が高い公園。蝦夷山脈の東にある十勝、釧路、根室、北見の諸平

* 跡地二、三頁

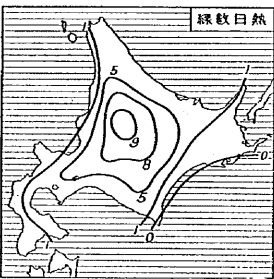


旭岳 大雪山 火山群 最高峰 (二九〇米) と見池 (裂口)

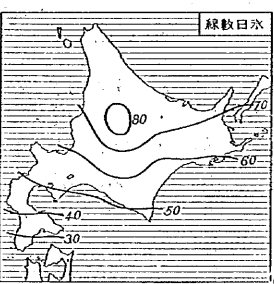
野は概ね臺地性で、十勝川、釧路川、常呂川等その中を流れ、沿岸は大抵單調な砂濱であるから良港なく、オホーツク海方面にはサロマ湖能取湖、網走湖等の潟が多い。蝦夷山脈の東西二列の山脈間には天鹽川、石狩川の上流に名寄、上川、富良野の諸盆地、開け、下流には天鹽、石狩の二平野がある。殊に石狩川は水運の利大で、下流には汽船通じ、石狩平野は地味肥沃で、開拓が最も進んでゐる。この方面の沿岸も大抵は砂濱で、砂丘も多いから良港がない。(2)半島部は魚尾の如き形をなし、那須火山脈に屬する駒岳、羊蹄山、富士、有珠山、登別



旭岳 大雪山 火山群 最高峰 (二九〇米) と見池 (裂口)



等温日数
度〇三氏攝が温氣高最の日一は字數
。示を數日の中年一たつな上



下以點氷が温氣高最の日一は字數
。示を數日の中年一たつな上

内陸性大陸性氣候は一日中又は一年中の寒暑の差が大で雨量少く海洋性氣候とは反対の氣候である。

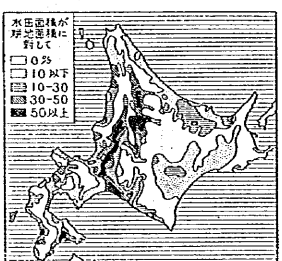
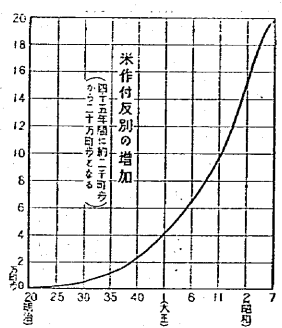
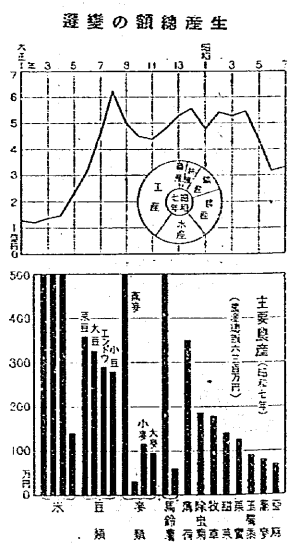
川盆地は寒さが甚しい。東岸は寒流の影響をうけて暖流の通る西岸よりは温度稍低く雨量も少く内部は内陸性氣候で寒暑の差が著しい。

實習 次の數字で五頁のやうな氣温降水量比較表を作つて説明を加へよ。

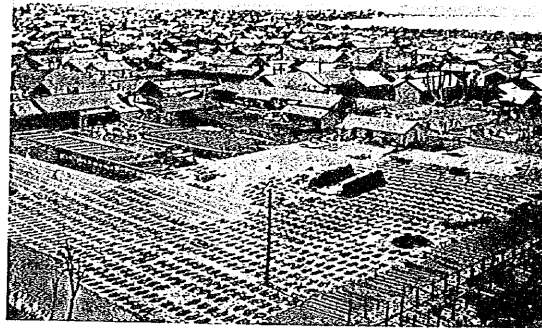
氣温	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
旭川	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇
根室	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇
釧路	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇
帯広	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇
大館	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇
小樽	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇
室蘭	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇
降水量	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇	(一)〇

* 冷地二、七頁

四産業 人口の増加と開拓の進歩に伴ひ産業は次第に發達してゐる。農業は各府縣のものよりも規模大きく氣候の關係で豆類、麥、燕麥、大豆、馬鈴薯、薄荷、亞麻、甜菜等の畑作物は概ね内地第一であるが米の産額も年々増加して來た。従つて是等の農産物を原料

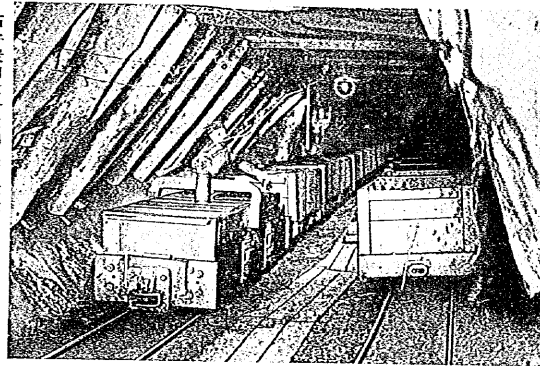


岩内漁港



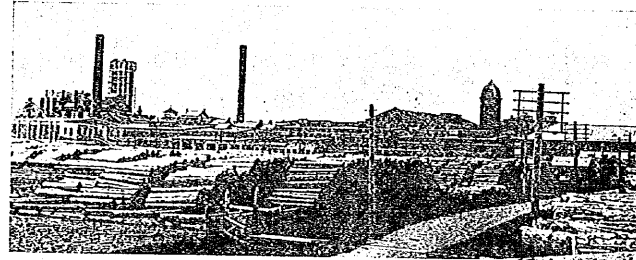
圖の手の前の欄には身狭鎮ムシロには鯨の締柏が干してある。遠景に港内が見える。(尋地一五頁)

夕張炭坑



石狩炭田は今、内地石炭産出の二割を出すのみであるが、埋蔵量が大いから将来有望である。阿倍夕張炭坑の坑内から石炭を電気機関車で運び出すところ(一〇九頁及び尋地二、九頁)。

苫小牧の製紙工場



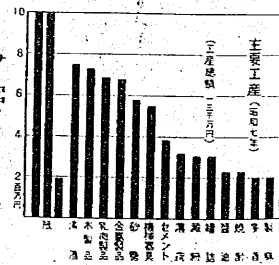
原をツマドトツマゾエ。るあで景全の場工の社合紙製子王
碎し熱を木原れ入に室木調で力械機らか池木貯を之しと木
。(頁〇一二地尋)るあでのるすと紙に違てい

以上の如く製造工業は主に本島産の原料と動力を以てするのである。

五交通 道路鐵道は次第に敷設せられて開拓を促してゐる。函館線室蘭線宗谷線根室線は本島の鐵道幹線をなし本州及び樺太の鐵道との連絡もよい。其の他西部の留萌線日高線東部の名寄線右北線網走線釧網線等の諸鐵道がある。

海上交通は冬季の風雪とオホツク海方面の早春の流氷と太平洋方面の暖季の濃霧のために時々妨げられる。主な航路は函館小樽を起點として本島の諸港を連ね、又本州・樺太とも連絡がある。

六住民 人口は總數凡そ三百萬人その大部分は内地からの移住民で、年々數萬の移住者はあるが、人口の密度は甚だ



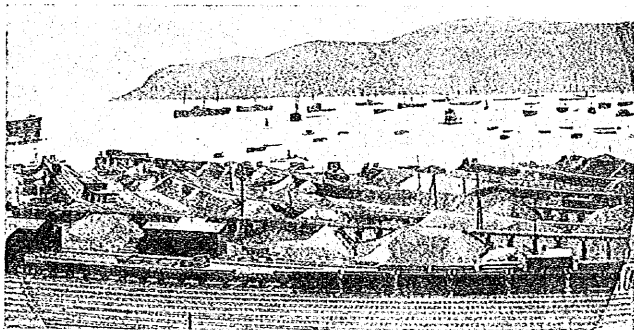
密函連絡船 函館港の状況。船の下部から貨車を機關車で引出すところである。

函 館 港



巴の形函館内湾の真でる。
圖は北に向つて内港の景を觀る。

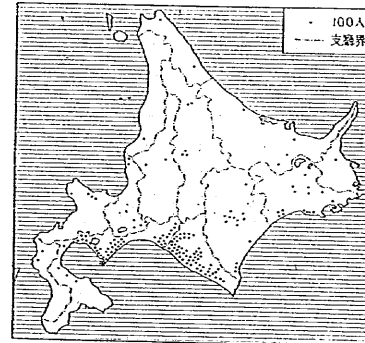
小 樽 港



港の北西端の宮手の石炭積出場の景でる。左に高は
(註・二頁一頁)。見えとと波堤と一部の橋架

第三章 北海道地方

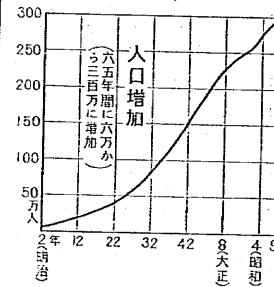
小である。原住民アイヌ人は日高嶺に多く、その總數約一萬六千、大に内地化したものが、なほ特別の風習をもつてゐる。



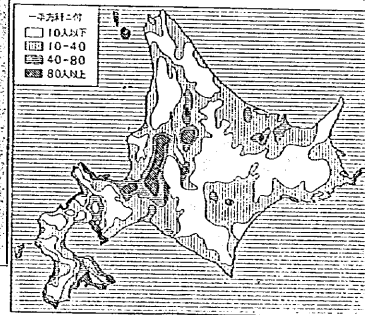
アイヌ人の分布



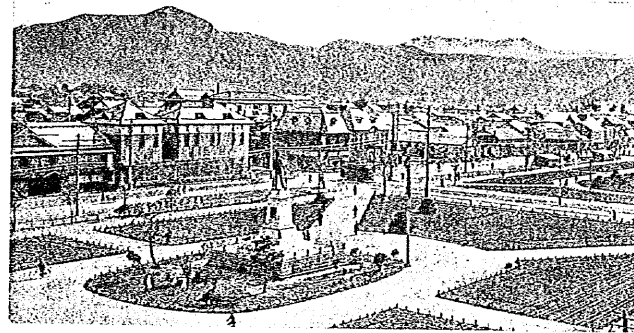
アイヌの風俗の兒小、兒小と子女のアイヌ。
(註・一頁六頁)と見をのたし化地内



人口密度 (下圖)



札 幌 市 街



圖は市の街中を東西に貫く大通り（幅員約百餘呎）を示す。右は山に向ふ市の西南の角。左は市街の中心（二丁目）の一角。右の山は市街の中心に向ふ。

旭 川 市 街

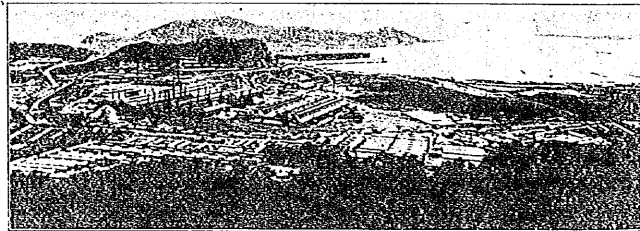


この圖は停車場の前の路を示す。右は市街の中心（二丁目）の一角。左は市街の中心（二丁目）の一角。右の山は市街の中心に向ふ。

七 處 誌

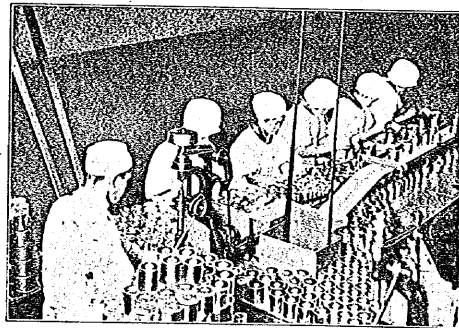
半島部 網走部 千島の三區に分けることが出来る。(1) 半島部 函館市は本島の南門をなし、早くから開けた開港場で、水産物の取引が多い。西岸には本島最古の都市福山（舊名と、漁港江差、岩内等がある。小樽市は本島第一の開港場で、石狩平野をひかへ、本島物産の積出し多く市況活潑である。室蘭市は良港で、石狩炭の積出し多く、又大きな製鋼所がある。

(2) 網走部 北見、高両山脈により更に東西の二部に分つ。(イ) 西部の主要地は石狩平野である。その中心都市の札幌市は、道廳北海道帝國大學の所在地で、市街の建設新式に屬し、街路廣く、市區が井然としてゐる。商工業

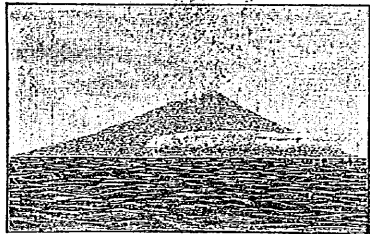


この圖は室蘭港の入り口を示す。右は市街の中心（二丁目）の一角。左は市街の中心（二丁目）の一角。右の山は市街の中心に向ふ。

(口)東部の十勝平野の中心帶廣市附近には甜菜糖の工場がある。釧路根室平野の西方の門戸釧路市は開港場で木材水産物の集散多く、東方の厚岸は昆布牡蠣等を産する。根室は東岸の開港場で、水産物の製造取引が行はれる。然し冬季は氷結するから船は花咲港に着いてこの町と連絡する。北見平野では



煉 乳 の 製 造



第道海北で島山火 島度頼阿
。米九三三二拔海。山高の一

問題 新開地としての北海道を調べ、更に其の將來を考へよ。

第四章 奥羽地方

實習 附録と附圖
を見て行政區劃
圖をかけ。

問題 主な火山に
ついて調べよ。

一、位置區分 奥羽地方は本州の北東部を占め、東北地方とも呼ばれる。古への陸奥・出羽の地で、行政上、青森・岩手・宮城・福島・秋田・山形の六縣に分たれ、地理上、東部（青森縣、岩手縣、宮城縣、福島縣、東部）と西部（山形縣、秋田縣、西部）の二區に分たれる。

二、地形 この地方には南北に走る三條の山脈がある。中央にある

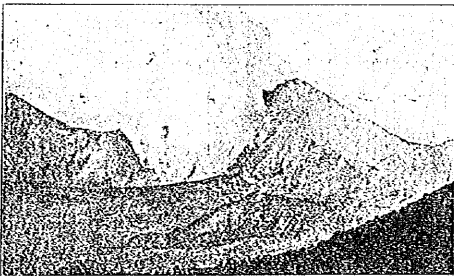
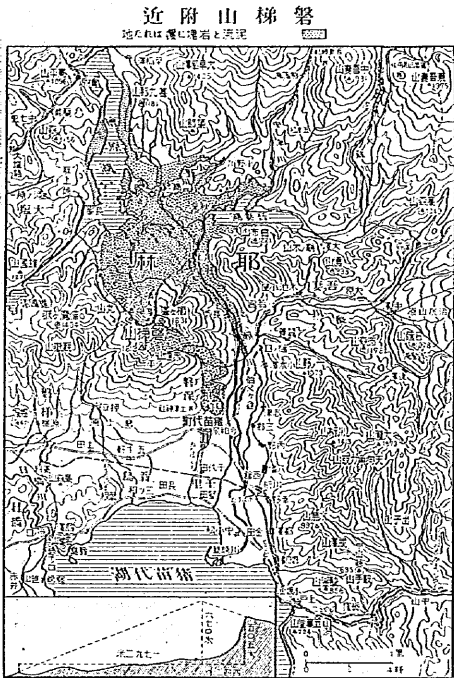


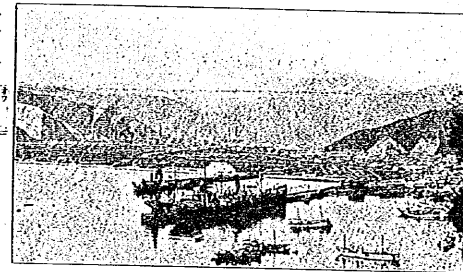
奥羽の地形

奥羽山脈は、太平洋斜面と日本海斜面との分水界をなし、那須火山脈之に沿うて噴起する。太平洋岸には仙臺平野を界として南北に高原性の北上山脈阿武隈山脈連り、奥羽山脈と

の間の縦谷を北上阿武隈の二川が流れる。西方には出羽丘陵と越後山脈がある。鳥海火山脈これに沿うて迸發し、奥羽山脈との間に

磐梯山 那須火山脈に属する火山で、猪苗代湖の北にそびえる。明治二十一年急に山の北側が爆裂し、北方の谷を埋めて湖を造り（堰止湖）、人畜に害を與へた。上圖の左下圖は爆裂の大きさを示す。下圖は爆裂當時の状況である（尋地、三四頁）。



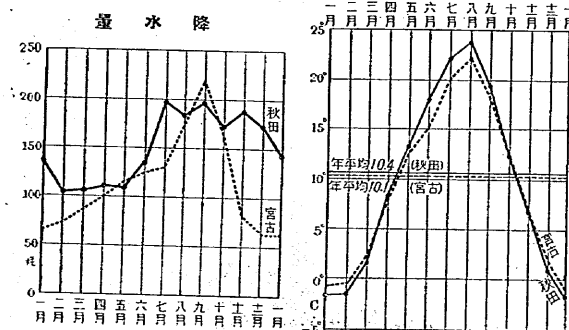


石巻港の汽船と汽船の汽船

かかる谷を横谷
といひ、多くは峽
谷になつてゐる。
山口
尋地、三六頁

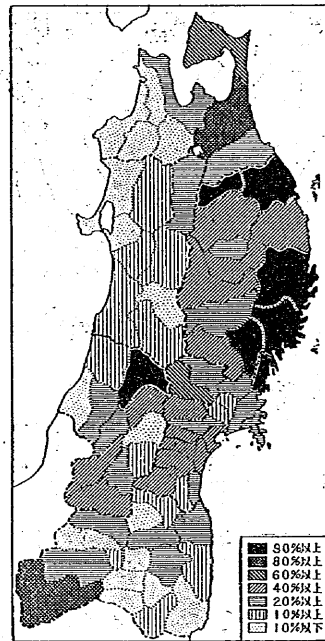
盆地・列を作り、阿賀川最上川雄物川米代川が之を横ぎつて西に流れる。北部には津軽下北の二半島があつて陸奥灣を抱き、東岸には牡鹿半島が突出して仙臺灣を擁し、西には男鹿半島があつて八郎潟を包む。太平洋岸の中部にはリアス式の小灣が多いが、北上山脈がすぐ海岸にせまつて後背地の發達が少いから、盛んな商港はない。

三、氣候
位置と親潮とのために本州中氣溫最も低く、夏の低溫は時に農作物に冷害を與へる。冬は寒さはげしく、日本



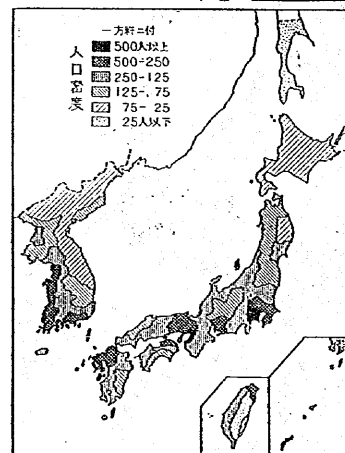
よへ考を差の候氣の岸雨西東らか圖二の上 題問

米の收穫が五割以上減つた米田を郡別にしらべて、その郡の米田總面積と比べた割合を示す。例へば九〇%以上の郡は米田の九割以上が半分の收穫しなかつたことを意味する。



の進歩も著しくない。山地原野多く耕地が割合に少いから、農産物は少いが、東部諸縣の原野には牧畜よく行はれ、又鑛業林業も各地に盛ん

は度密口人の方地各
よ見を録附の末巻



(年九和昭) 密 冷

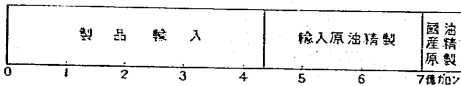
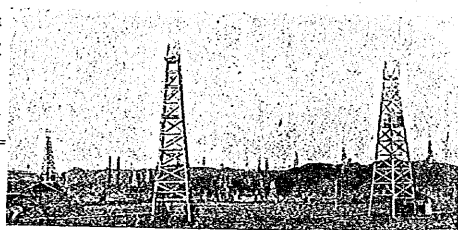
海斜面は對馬海流と北西風とのために積雪多く、浪も荒いから交通をさまたげる。

四、産業
氣候寒冷交通不便のため、本州中人文の開發最も遅れ、人口密度も少く、産業

てついと駒郷南し産を馬良らか昔は近附岡盛 市馬の岡盛 月九らか月六年毎は市馬。るあで景の場市馬は岡。い高名 岡のト右。る種を價の馬で中の物建のこ。れは行々時に中
す示を合割の。別方地の（年七和昭）数頭の馬の地内は

割合の地耕るす野に積

10%以下	25-30
10-15	30-35
15-20	35-40
20-25	40%以上

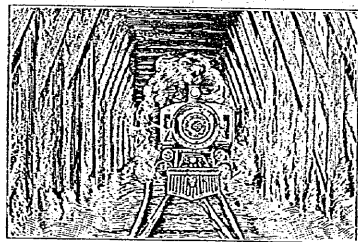


を田油の近附。るあに方北の市田秋 (同上)田油川鹽
の中國。す田を割三約の高田産油原國が我とるす算合
たれらひ用にきとる造を(どみきぬりほ)井頭は櫓い高
るす貨消で國が我て於に年九和昭は圖下。るあでの
製は上以分半の(油燈・油輕・油機械・油重・油發揮)油石
は他の其し入輸らか等度印領關・國家合カリメアを品
す示をとるす造製らかと油原産國と入輸

尋地、四四頁
問題 鐵道分布と
地形との關係を
調べよ。

森と仙臺市の門戸鹽釜とが主な港である。

六、處誌 青森縣 (1)東部平野は牧馬が盛んである。馬淵川の下流に臨む



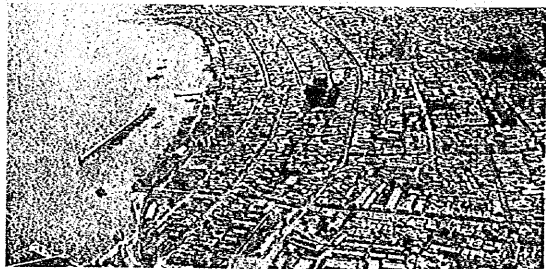
降はで方地部西の羽奥 ルネントけよ雲
らかるげたまさを通交の道鐵てく多が雪
作で板や材木をルネントき如の圖に々所
(頁七四、一、地等)るあでのく防を之てつ
るあもけ設の林雪防他のそ

問題 津輕海峡は
國防上どんな價
値があるか。

二九頁及び附録

八、戸市の鯨港はこの地方の水産物を集散する。陸奥灣の北東隅には大湊の海軍要港があつて津輕海峡を守る。(2)西部の青森市は縣廳の所在地陸奥灣に臨む開港場で、水陸交通の要地に當り、鮭の罐詰製造及び製材が盛んである。津輕半島の山地からは羅漢柏平野からは米苹果の産多く、其の中心都市の弘前市には第八師團司令部がある。

岩手縣 本縣の面積は全國の府縣中、最も大であるが、山地原野多く、人口の密度は最も小さい。(1)リアス式の東海岸には釜石宮古大船渡等の小錨地があつて水産業の中心をなし、釜石には鐵の製鍊所がある。鐵道は北上山脈を横ぎつて是等の港を連絡する



(頁六四、一、地等)。廳縣は左の森方右、港は方左、市森青



姿いべんも

地には米産多く秋田平野附近は石油の産出我が國第二である。秋田市は縣の中心都市で、土崎港には製油所鐵道の工場がある。(3)男鹿半島は陸奥島で南岸に船川港がある。(4)子吉川流域の中心都市は本荘で

ある。

山形縣 (1)西部の庄内平野は米産多く酒田市は商港で鶴岡市は舊城下町である。(2)東部の主要地は新庄山形米澤の諸盆地で米作養蠶がよく行はれる。山形市は縣廳所在地で櫻桃を産し米澤市には絹織業が盛んである。

* 尋地一、三三頁

問題 奥羽山脈を界として東西の兩地域を比べよ。

第五章 關東地方

一、位置區分 本州島が東西方向から急に南北方向に曲る部分を占め古への關東八州の地で、一府六縣に分たれる。

但し東京府に屬する南方諸島伊豆諸島小笠原諸島は地理的には特別の地域であるから以後に述べる。

二、地形 西から北にかけては一帯の山地で其の南東に廣い平野が太平洋まで廣がつてゐる。よくまとまつた地域であるが之を(1)西部及び北部山地(2)關東平野(3)南端の半島部の三に分つことが出来る。

(1)西部山地は概ね關東山脈に屬し南端に箱根山がある。北部山地には三國山脈奥羽山脈阿武隈山脈及び那須火山脈に屬する那須高原

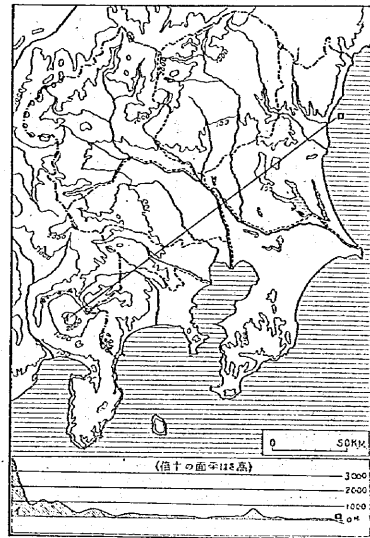
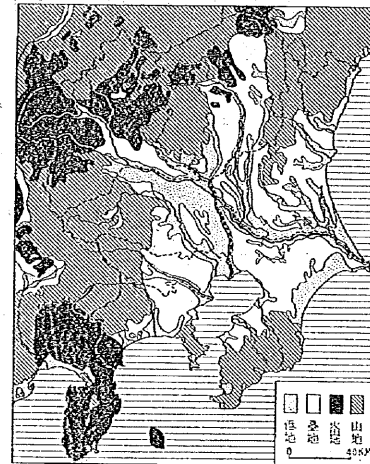


妙義山の奇勝 妙義山の奇勝 妙義山の奇勝 妙義山の奇勝 妙義山の奇勝 妙義山の奇勝 妙義山の奇勝 妙義山の奇勝 妙義山の奇勝 妙義山の奇勝



靜馬縣太田金の山から見たこと

圖面斷と圖形地

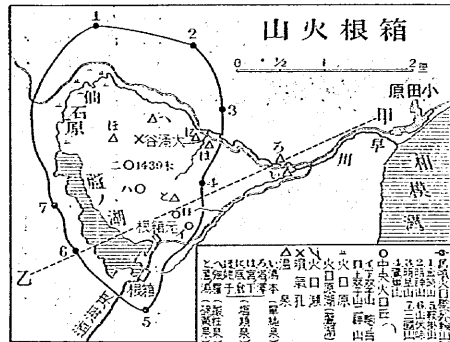


實習 附圖にならひ、〇〇米以上を彩色せよ。

多摩川の水は東京市の水道となり、相模川の水は横浜市の水道となる。
* 跡地一、一二頁

男體赤城、榛名、妙義等の諸火山がある。是等の火山地方は風景に富み温泉多く、觀光、休養地帯になつてゐる。
(2) 關東平野は我が國第一の大平野で臺地と低地から成り、利根川、那珂川、荒川、下流は多摩川、相模川等、茲を流れ、上流は發電に利用せられ、下流は灌漑水運の便が多い。

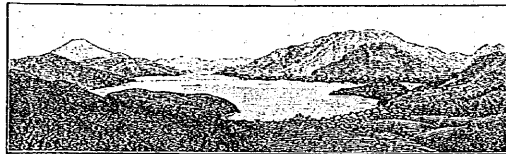
箱根山は二重式火山で、噴火口、外輪山の中に中央火口丘、噴出し、その間の火口源の一部には蘆湖をたたふ。その水は外輪山を破つて海に注ぐ早川火口湖。火山活動の餘勢はなほ噴氣孔や温泉で示されてゐる。昔は道路交通の要所であつたが今は風景と温泉とで多くの遊客や休養客を集めてゐる。
問題 蘆湖附近の寫眞上から三ツ月には上の地
圖のどの部分が見えてゐるか。



圖面斷るけに於に線乙甲の圖上



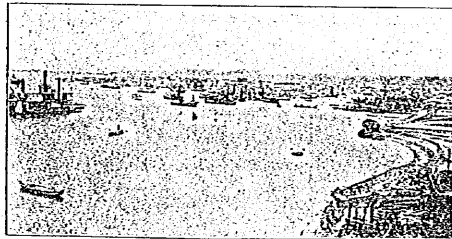
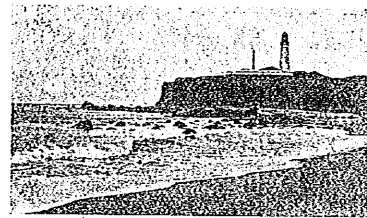
湖 蘆



大淵谷の噴氣孔

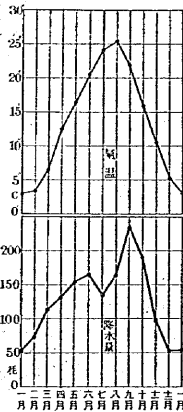
利根川は古くから阪東太郎といはれ、本流の長さ三二二軒支流は大小二八五を數へ、舟筏を通ずること八百餘軒流域一萬六千方軒實に關東地方の半に當る。源を群馬縣の北東部利根岳に發して南流し、片品川・喜妻川等を合せ、赤城・榛名の御合谷を流れて前橋市の南に至り更に西方より來る諸流を合す。以上の上流地方には處々に發電所起り、電燈電車等に利用せられる。これより次第に廣い平野の中を

鎌子港下と犬吠碑の燈臺(左)



東流し始めは概ね群馬埼玉二縣後には茨城千葉二縣の界をなす。足尾附近から來る渡良瀬川を合せて後まもなく江戸川を南に分ち次第に南東流して鬼怒川を合せ、江戸川へ運河を通じ更に小貝川・手賀沼・印旛沼・霞浦(尋地一二三頁)・北浦等の諸水を合せ、鎌子港附近で太平洋に注ぐ。是等の湖沼地方水郷風景がよい。汽船は江戸川の分流點以下に通じ、江戸川と運河とによつて東京・鎌子間の交通をなす。河水は一般に灌漑に利用せられるから流域には水田よく開け米の産出が多い。

候氣の東京



利根川の河口には、犬吠崎突出して、交通・通信上の好目標となり、其の南北には弓形の砂濱遠く連り、近海は遠淺の上に黒潮の影響をうけて、好漁場をなして居る。

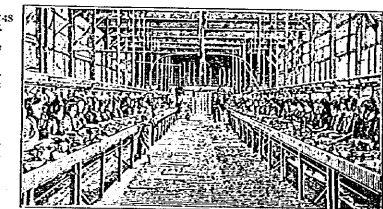
(3) 半島部は房總三浦の二半島で、その間に東京灣を抱く。三浦半島の東岸には良港多く、其の西岸より西方相模灣沿岸一帯は房總半島沿岸と共に氣候溫和、風景佳良で休養地帯をなす。

三、氣候 西と北とは山地をめぐらし、南東の近海には日本海流(黒潮)が流れるから、氣候は概ね溫暖である。北西部地方は稍、内陸性氣候であるが、海岸地方は海洋性氣候である。

四、産業 平野には農行はれ、低地には米の産多く、臺地には麥・大豆・蔬菜・甘藷・煙草(北部の久慈川・阿部川流域と南部の山麓)・麻(栃木縣・鹿沼附近)の産が多い。平野の西と北の山麓は養蠶地帯をなし、従つて製絲・機業が盛んである。生絲産地としては前橋・群馬・機業地と



鋤

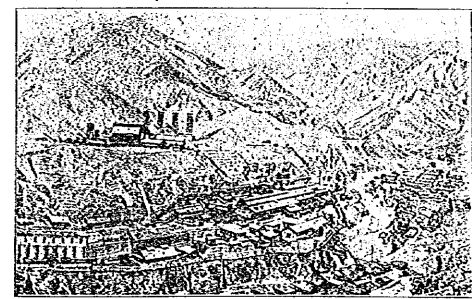


(縣馬群)場工絲製の岡富

ノト藥品雜貨等の產出が多い。
又千葉縣の醬油產出高は我が國
第一である。
山地の產業中最も著しいのは
鑛業で、足尾^{タシ}日立^{ヒツタテ}は銅金銀を出し、
茨城縣北部には石炭の產がある。

	200	400	600	800
足尾 ^{タシ} 日立 ^{ヒツタテ}	100	200	300	400
尾子 ^{オシ} 立 ^{タテ} 日 ^{ヒツ} 立 ^{タテ}	100	200	300	400
足尾 ^{タシ} 日立 ^{ヒツタテ}	100	200	300	400
足尾 ^{タシ} 日立 ^{ヒツタテ}	100	200	300	400
足尾 ^{タシ} 日立 ^{ヒツタテ}	100	200	300	400
足尾 ^{タシ} 日立 ^{ヒツタテ}	100	200	300	400
足尾 ^{タシ} 日立 ^{ヒツタテ}	100	200	300	400
足尾 ^{タシ} 日立 ^{ヒツタテ}	100	200	300	400
足尾 ^{タシ} 日立 ^{ヒツタテ}	100	200	300	400

しては桐生^{キナ}伊勢崎^{イセザキ}群馬^{群馬}足利^{タカノ}栃木^{トチギ}八王子^{ハチノミ}東京^{東京}
秩父^{チチブ}が最も名高い。東京横濱附近一
帯は我が國屈指の大工業地帯で大工場
多く綿絲綿織物毛織物機械肥料洋紙砂
糖麥粉ビスメルセメ
足尾^{タシ}山^{ヤマ}下^{カミ}
内地銷産^{内地銷産}(左)

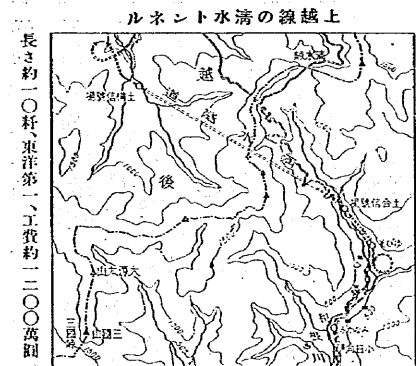


* 坪地一、二八頁
* 坪地一、二七頁

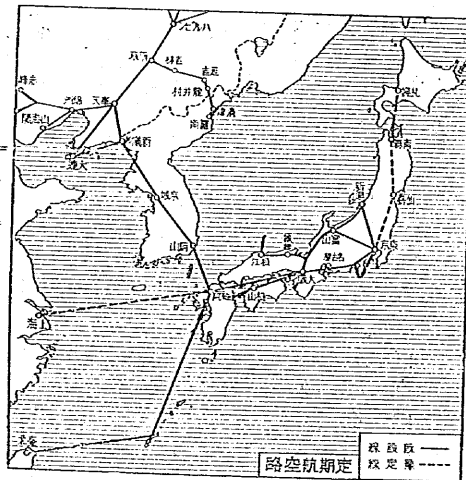
* 四〇頁
* 坪地一、一四頁
實習 簡単な産業
分布図をつくれ

道路が他地方に通
ずる處は必ず峠が
あつて、鐵道はト
ンネルを穿つ。
問題 この圖にあ
らはれた地形と
道路・鐵道との
關係を考へよ。

近海は水產物^{水産物}に富み、且京濱の大消費地を
控へるから漁業が盛んで、千葉縣が第一位を占め、銚
子が第一の漁港である。又東京灣は浅い海で海苔
の產が多い。
東京は東日本を其の商圏とし特殊の商品につ
ては其の販路全國に
及ぶものもある。又
横濱は神戸大阪と對
立する大貿易港であ
る。
五交通 地形の關係
で陸上交通がよく便
利である。東京はそ
の大中心で、主な道路



(頁一二、一地形) 道鐵と路道の峠水碓

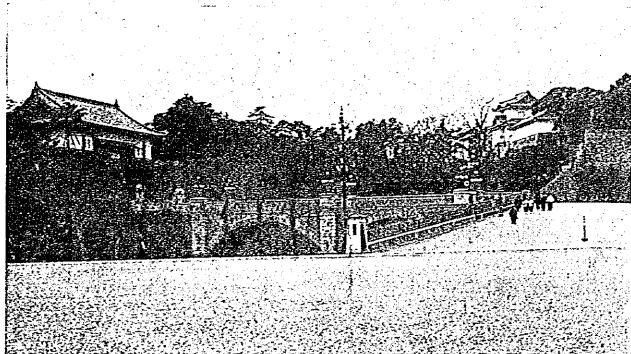


* 二九頁及び附録

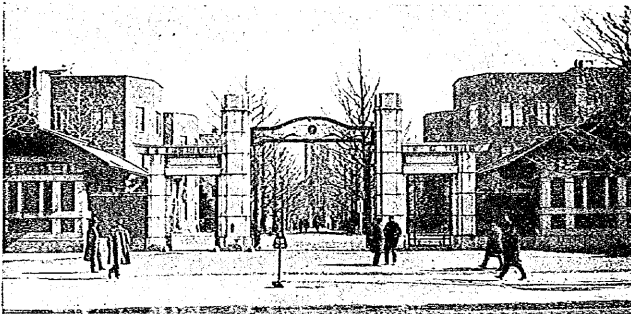
鐵道電線はこゝから四方に通じて、他地方に及び、電車自動車も市内と其の近郊に發達する。又、横濱は海運の大中心をなし、東は遠く北米南米に至り、西は神戸を経て、支那印度歐洲南米濠洲等に至る。東京には強力な無線電信局、電信所は埼玉縣、福山、岡山があつて、アメリカ等と通信することが出来る。航空路も東京を中心として次第に開けて來た。

六處誌 關東地方は近畿地方と共に我が國文化の二大中心で、近畿地方よりも其の發達著しく、人口密度は各地方中第一である。そして東京は我が國文化の大中心であるから、關東地方も東京中心に纏まつた一地域をなす。即ち東京の海への門戸として、横濱、海の守りとして、横須賀があ

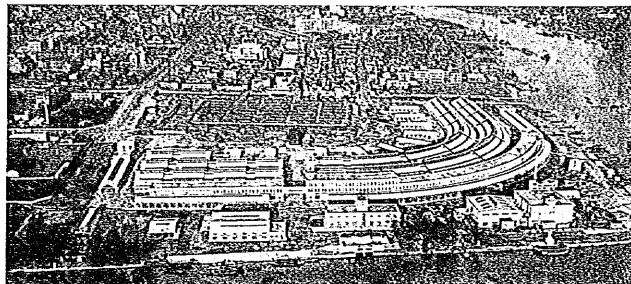
橋 重 二 城 宮



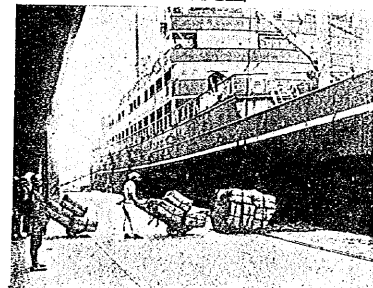
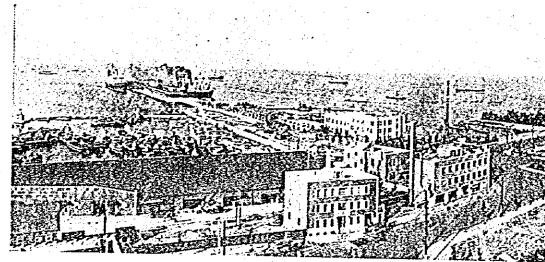
學 大 國 帝 京 東



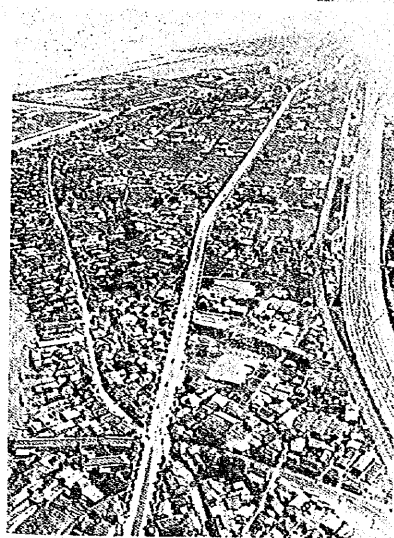
場 市 賣 卸 央 中 地 築



横濱市



(上) 税関棧橋
(中) 生絲の輸出
(下) 鶴見附近



左圖は横濱市の北端の鶴見区の部分で、中央の太い白線は京濱國道國道から左に分れて海岸の方に走つてゐるのが元の東海道右端の太い方が省線細い方が京濱電車線である。京濱間の交通の變化と發達がうかがはれる。

形地の京東



第五章 關東地方



京濱工業地帯

*南方諸島は五三頁にのべる
*四四五頁
*四五六頁
*四五七頁
*四五八頁
*四五九頁
*四六〇頁
*四六一頁
*四六二頁
*四六三頁
*四六四頁
*四六五頁
*四六六頁
*四六七頁
*四六八頁
*四六九頁
*四七〇頁
*四七一頁
*四七二頁
*四七三頁
*四七四頁
*四七五頁
*四七六頁
*四七七頁
*四七八頁
*四七九頁
*四八〇頁
*四八一頁
*四八二頁
*四八三頁
*四八四頁
*四八五頁
*四八六頁
*四八七頁
*四八八頁
*四八九頁
*四九〇頁
*四九一頁
*四九二頁
*四九三頁
*四九四頁
*四九五頁
*四九六頁
*四九七頁
*四九八頁
*四九九頁
*五〇〇頁

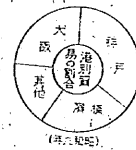
り、東京より四通する交通通信網は全地域を其の商圏とし、又海岸及び山地を其の休養地としてゐる。
東京府 (1) 東京市と、(2) 其の西につゞく臺地主に武藏野と、(3) 山地とから成る。(1) 東京市は政治軍事學藝商工業交通の大中心地である。
東京市は約四百八十年前太田道灌が武藏野臺地の一端に城をつくつたことから起る。徳川氏の居城以後は全國の中心となり、市街はほど昭和七年擴張前の市域に廣がり人口五十萬の大都市となつた。明治以後は日本の首府となり國勢の進歩につれて遂に人口約六百萬の世界的大都市となつた。市街は低地から臺地にひろがり、面積五六八方呎、三十五區に分た。低地下町方面には商店工場臺地山手方面には住宅學校が多く設けられた。宮城附近は市の中心都心で諸官衙集まり又大きな會社商店や停車場等がある。

(2) 武藏野は東京をひかへて蔬菜の栽培が盛んで

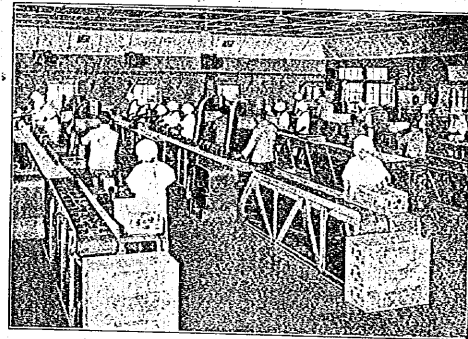
ある。又山麓地帯は養蠶の中心で、八王子からは多く絹織物を産する。附近の浅川には多摩御陵立川には陸軍の飛行聯隊がある。

神奈川縣 (1) 東京灣沿岸の横濱市は神戸・大阪と共に我が國三大貿易港の一つ、北方の川崎市と共に工業も盛んである。

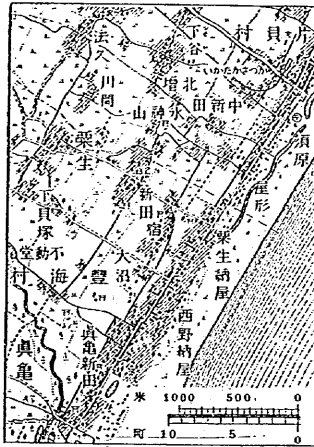
横濱市は約八十年前貿易港として外國に開かれてから東京の門戸として急に盛んになった。市街は主に沿岸低地に沿うて延び次第に臺地上にひろがつてゐる(五區面積一三四方軒)



人口約七〇萬。貿易港として必要な設備即ち防波堤、築港、船渠、倉庫、船渠等備は、内外の大汽船會社はこの地で業を営む。輸出品では生絲が最も多い。尙市内には工業も盛んである。



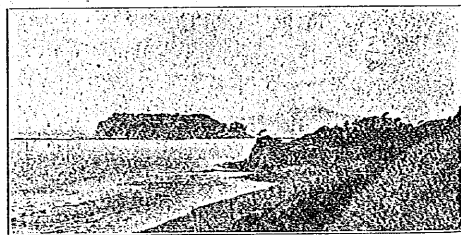
(市崎川) 場工業の味



や濱砂の狀線直 部一の里九十九
。るれら見がどな村漁たれ分らか村霞

廠は規模大で艦艇の建造が行はれる。その南の浦賀は米艦の渡來で名高い。(2) 相模灣沿岸の湘南地方は京濱に對する休養地帯として榮え殊に鎌倉は古蹟に富むので觀光客も多い。平塚市は工業の中心である。(3) 北西山地にある箱根山も風光と温泉とで觀光休養地となつてゐる。

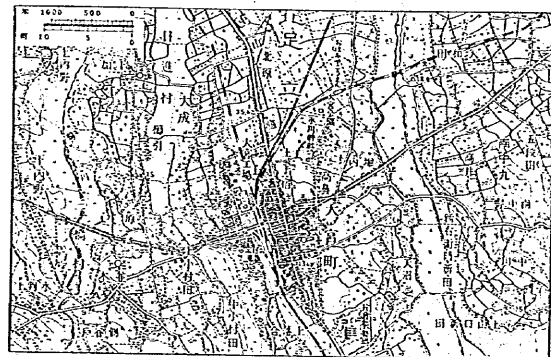
千葉縣 (1) 東京灣沿岸は一帶に遠淺で海水浴場が多い。千葉市は縣廳暨科大學の所在地である。(2) 下總臺地の大部分は畑地で、森林や牧場も交つてゐる。西部は陸軍の諸部隊に



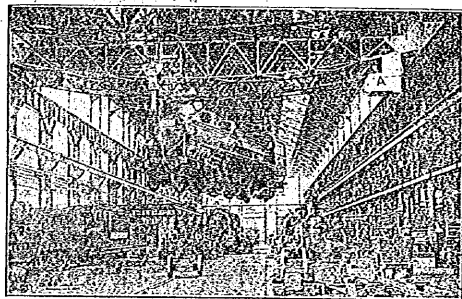
よに濱砂び再がるあでのもたれ分らか陸本元 島ノ江
々里七は方右の圖。るみてしとうよれが艦に陸本てつ
辨はに島。るえ見が土富はに間のと島ノ江で部西の濱
。いなえ艦が客光觀らかいよが景風り祀を天財

利用せられ茲に市川市がある。北部の成田は宗教都市(門前町)として榮える。(3)利根川・江戸川沿岸低地は米の主産地で野田と銚子市には醬油の産が多い。(4)九十九里濱の低地は米作と漁業に著れてゐる。(5)房總半島は丘陵がちであるが沿岸の館山・北條・勝浦等に房總線が通じてから休養客が年々増加する。館山には海軍の航空隊がある。

埼玉縣 (1)東部の平野は低地と臺地とから成り、ここに工業の盛んな川口市・縣廳所在地の浦和市・東北高崎二線の會する大宮・舊城下町の川越市・商工業



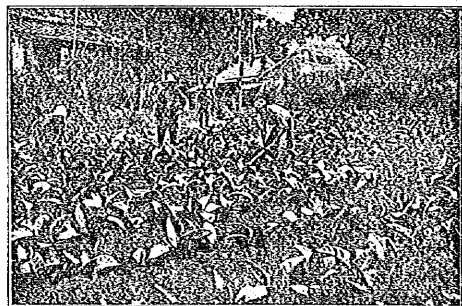
つはが別區のと地臺とる塗に色緑を(地低)田 (調陸)近附町宮大
道鐵武徳・線崎高・線本北東てつあに上の地臺は宮大。るすりき
道鐵又。るむてつ集が路道の等道山中や(車電)道鐵武西・(車電)
。るえ見に中園も園公宮大・場絲製・場工



場工宮大の省道鐵

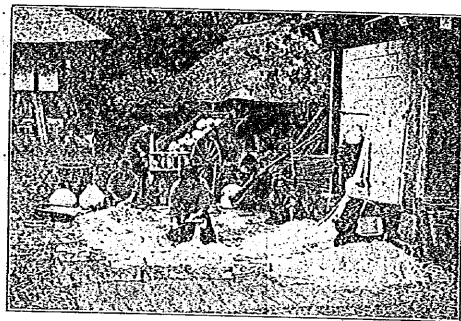
の一中心熊谷市がある。(2)西部山地中の秩父盆地には養蠶行はれ秩父は機業の一中心である。

群馬縣 (1)南東部の平野には米作と養蠶が行はれる。前橋市は利根川の上流に沿ひ、縣廳の所在地で蘭生絲の市場をなす。高崎市は商業・交通上の中心で、その南西の富岡も生絲を産する。桐生市には絹織業が盛んである。(2)北西部山地は名山と温泉で觀光休養客をよぶ。



培栽の草茶

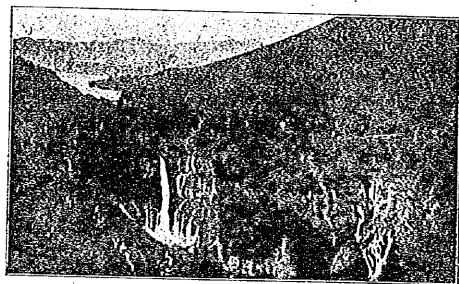
栃木縣 (1)平野南部の山麓地帯は養蠶機業に名高く、足利市・佐野・栃木等は之が中心都市である。鬼怒川以東には煙草、以西には干瓢・麻を産する。宇都宮市には縣廳第



＊ 塚地、一、二頁

が最も著れる。

茨城縣 (1) 關東平野北部の那珂川にのぞむ
水戸市は舊城下町で縣廳の所在地、北方久慈
川流域の太田は煙草の集散地である。平野



湖ノ鏡華に
部中の池で部一の山麓男は山の方右。るあが湖ノ鏡華に
噴ら山麓男でまこそはのち落の鏡の條数いさ小らか
遠を(湖止堰)湖寺禪中てめ止堰を谷し積堆が岩増たし田
るみてつなと園公立園は帯一近附。す示をとこたつ

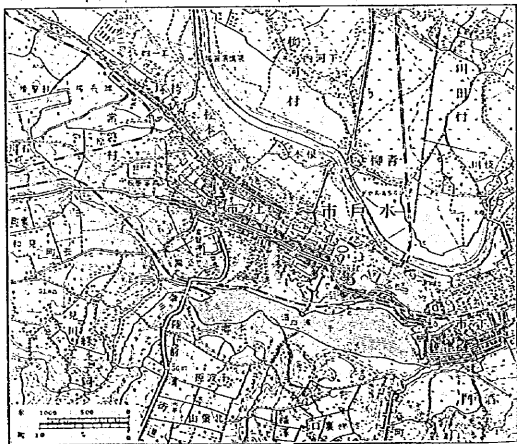


十四師團司令部がある。
(2) 山地では日光附近と
鹽原温泉と足尾銅山と
土浦附近 飛行船と霞ヶ浦の一部と
村と田畑などが見える。

＊ 第一、一三頁

△ 東京府に屬する

南部の土浦附近には海軍の
航空隊と高層氣象臺がある。
(2) 山地では筑波山と銅石炭
石材の鑛産とが名高い。
南方諸島 相模灣の南方太
平洋中に伊豆諸島小笠原諸
島などがある。富士火山脈
に屬する火山島で伊豆諸島
の大島には三原山の活火山
がある。八丈島からは棒油
絹織物を出す。

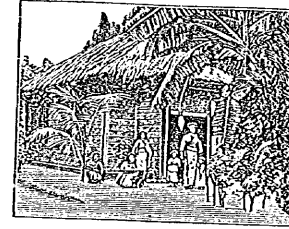


に端の地臺の間の沼波千と川珂那 市戸水
。るめ占が市下を地低の東の城舊りあが市上

小笠原諸島は遙かに南方にある上に暖流の影響を受けるから氣
温高く、熱帯性の生物^ナが多い。

父島の二見港は唯一の良港で、日米海底電線の中継所であり、内地

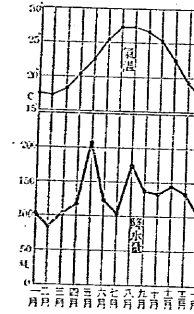
父島の歸化人



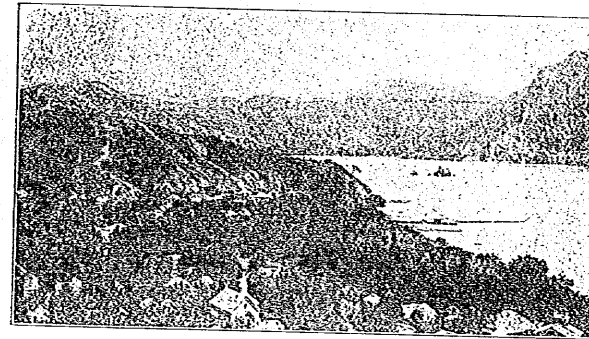
上の圖は小笠原父島のヨーロッパ人種の歸化人の状態である。衣服は和服を用ひ又は簡単な洋服を用うる。家の屋根は蒲葵の葉でふき、木造ベンキ塗とし、室内は木の床で、椅子、寝臺、テーブル等を置く。圖の右の大きい植物はバナナ、左方のものは椰子の若木である。バナナ等をつくり又漁業を營んで生活して居る。

これらの人々の祖先は太平洋上の漁業者であつて、今から百年ほど前からこの島に移住したものである。現在は百人位居る。

父島の氣候



下の圖は火山島には珍らしい海入をもつ二見港で、經濟上交通上軍事上大切なところである。熱帯性植物の茂るを見よ。又、上の圖で熱帯・海洋性氣候を翻べよ。



二見港

南洋群島間の連絡地點である。

問題 東京と關東地方の各地との關係を述べよ。



(島大)女む汲水

館ヶ岳



に空青の峰いどるす一糸ハ一はき高で峰高のヌアルア北本目
よ見を谷たれま深く深と接つ立りそそ

白馬の御花畑



時一が物景山高はにッ所い近に頂の山高嶺の夏盛
るす景を観美てつ描き映に

第六章 中部地方

* 口絵、六四頁
地形一、五五頁

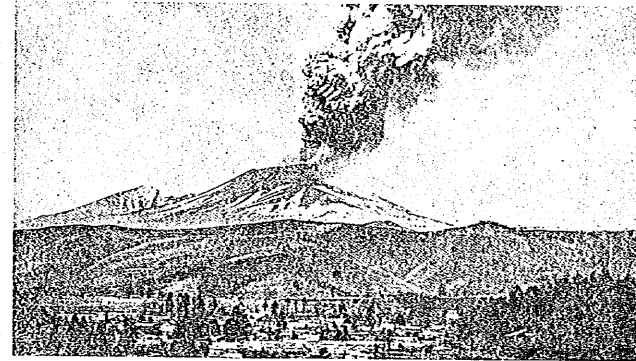


中部地方の地形図

一位置区分 中部地方は關東地方・奥羽地方と近畿地方とに挟まれ、本州の中部を占め、行政上、静岡・愛知・岐阜・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井の九縣に分たれ、地理上、東海地方、中部、中央高地、山梨縣、長野縣、北陸地方、山梨縣、長野縣、北陸地方、山梨縣、長野縣、北陸地方の三區に分たれる。

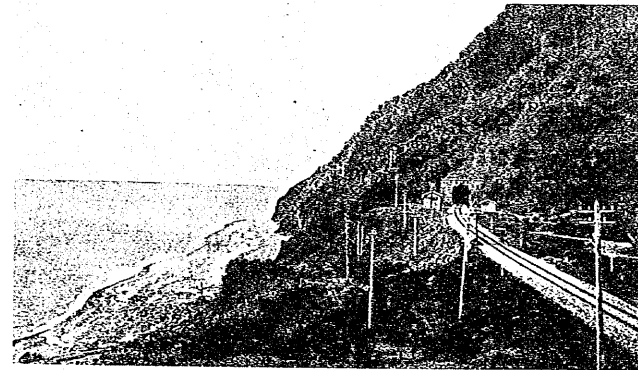
二地形 この地方は南・北・西・東の四山系の會する處で、本州中で幅最も廣く、土地最も高い。關東奥羽兩地方の界には關東山脈、那須火山脈、三國山脈、越後山脈がある。その西兩彎の間には富士火山脈があつて、内地第一の高峰富士山（國立公園）を始め、八ヶ岳、戸隠、妙高等の諸火山が聳え

火 噴 大 の 山 間 淺



百四徑直れば呼と釜御は丘口火央中。るす動活に頻年近で山火活い・高名は山間淺
し其の動活でることた見らか澤井輕は圖。るす煙噴に盛し有を口火い・其の十
様有のきとい

知_レ 不_レ 親_レ



おが波。たじ通道に下の崖は昔。るあに處る迫に岸海本目が脈山礫飛は知不親
。るあが名のこでのふいといなら知を親は子くな暇ふ教に互子親とるくてせよし
いなら通をここのたれか開が路道や道鐵なうやる見に央中の圖は今しかし

* 日本アルプス、
中部山岳國立公
園

※ 五七頁

※ 五七頁

※ 五七頁

△ 平地一、五三頁
△ 平地二、六三頁
△ 平地三、六四頁

※ 略圖を描い

て山脈・火山脈・
川及び太平洋・
日本海兩斜面の
分水界を記入せ
よ。

てゐる。更にその西には南北に近い方向をとる赤石木曾飛驒の諸

山脈がある。中にも飛驒山脈は最も高峻で、鎗ヶ岳・白馬岳等の高峰

がある。又茲には御岳・火山脈通じ、御岳・乗鞍岳・立山等がある。

飛驒高地の北西には、白山を主峰とする白山火山脈があつて、西の

方、山陰地方に延びてゐる。

川は中央高地に源を發し、富士・大井・天龍等の諸川は南流し、木曾川

は濃尾平野を流れて伊勢海に注ぐ。千曲川・犀川は合して信濃川と

なつて越後平野を流れ、黒部川・神通川・庄川は富山平野を流れ、共に日

本海に入る。これ等の諸川はおほむね急流で、峡谷に富み、水運の便

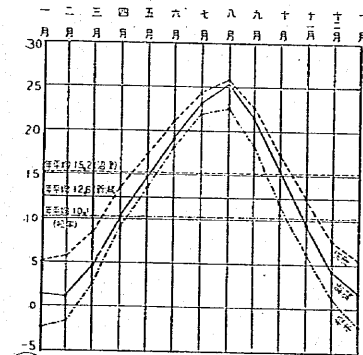
は少いが、次第に發電に利用される。これらの電氣は主に京濱・名古屋・阪神の工業地帯に供給される。

峡谷の中では、黒部・富山縣・五八頁・御嶽・山梨縣・天龍峡・木曾谷・長野縣・六
八頁・恵那・岐阜縣が殊に名高い風景をもつ。

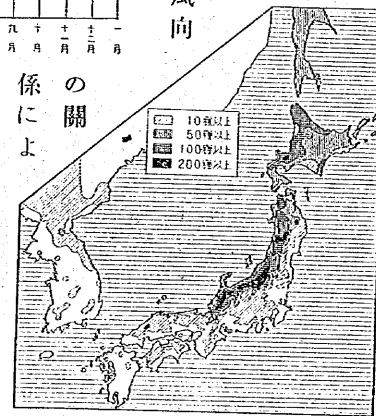
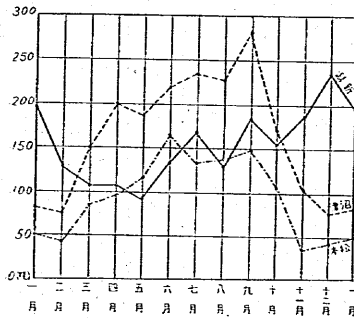
追つて本州の地・峽・部をなしてゐる。
日本海には能登半島突出して富山
灣を抱き、太平洋には東に伊豆半島
があつて、駿河相模の兩灣を分つて
ゐる。

三氣候 東海地方は位置地形海流風向

氣温の比較

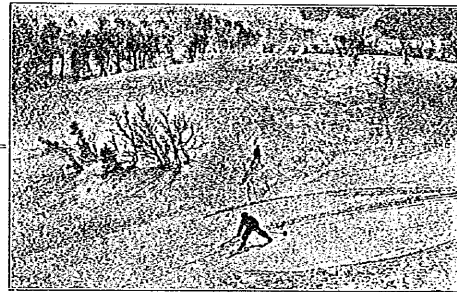


降水量の比較



の關
係によ
り氣候一般に溫和で暖季
に雨多く、冬は晴天が多い。
中央高地は内陸性・高地・氣
候で、氣温低く、雨量も少い。
北陸地方は地形海流風向

積雪の分布 (三月)



近附屋小泉冷岳ケ鞍乗 —キス

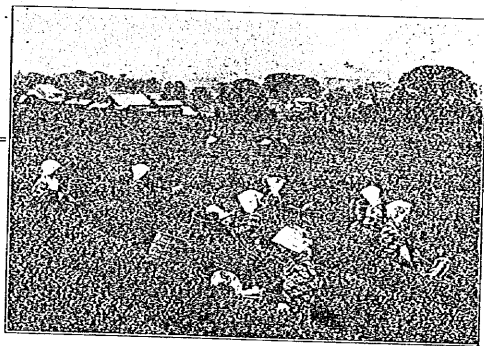


約さ厚てし結水面湖季冬は湖 トーケスの湖見臨
と場トーケス好に故。ぶ及にルトーメチンセ十二
。い多がのもるす遊來は頃の月二・月一りな



れさ下らか根屋は雪るめ埋を路道 雪深の市田高
し等に根屋の建階二どん殆さ高の共てへ加をのた
六)るよにギンガの下軒び及央中の路道は路通。い
。(頁三六・頁二六・地雪び及頁九

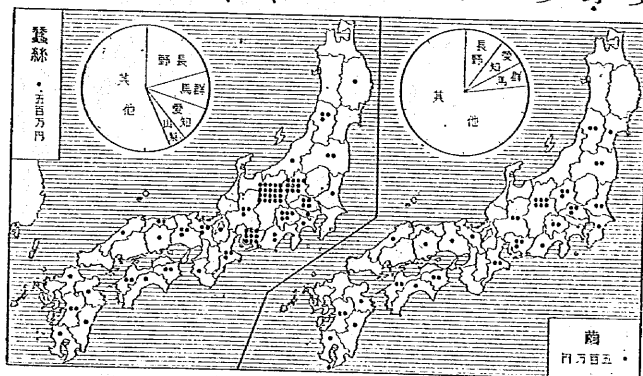
の關係で冬季に降雪多く、風波が高い。
四産業 この地方は、土地割合に開け、各種の産業がよく發達する。
農産では米穀が特に著はれ、越後・富山・濃尾の平野から多く産出する。
又南方の暖地には茶果樹の栽培が盛んである。養蠶業は中央高地



るす適に地氣^{ちき}經るあ量雨の當相で暖溫候氣は樹茶 烟茶
。るあで地產要重の茶出輪 で盛栽培はに縣國靜 ちか
。す示を況狀の(刈機械)摘茶の近附國靜は國

及び東海地方に多く行はれ、殊に長野愛知は繭の産額多く、製絲業も従つて盛んである。

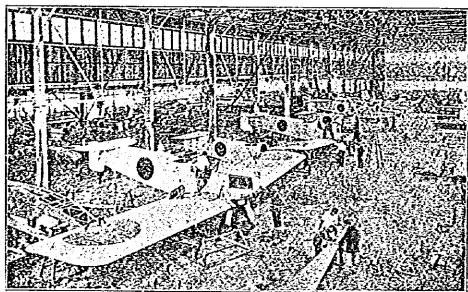
山地は林産に富み、殊に木曾（木曾）の森林が名高い。鑛産には新潟縣の石油金[△]、神岡縣^{岐阜}の銀、鉛、亞鉛、伊豆半島の金等が河富山の兩灣は著附近一帯が最も盛



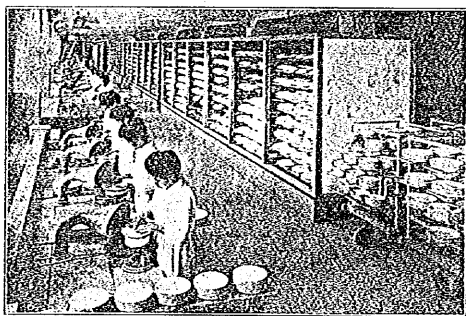
▲ 尋地一、六六頁
▲ 尋地一、六八頁
▲ 尋地一、六九頁
▲ 尋地一、六九頁

ある。水産も多く駿河富山の兩灣は著名な漁場である。

製造工業は名古屋附近一帯が最も盛



(屋古名) 造 製 の 機 行 飛



（屋古名）造製の皿※

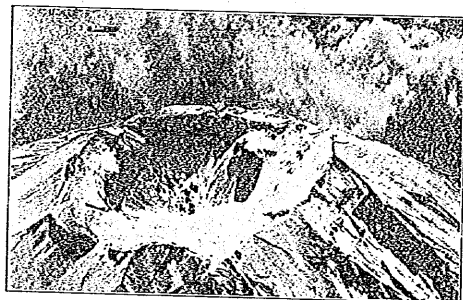
多く、尙南海岸の各地から
 も紙漆器織物樂器等を産し
 北陸地方からは羽^ハ二重富士
 絹人絹漆器陶器等を出す。
 即ち中部地方は生絲織物陶
 器等の如きわが國の重要輸
 出品が多い。商業は名古屋
 が最も盛んである。

五、交通 地形により陸上の

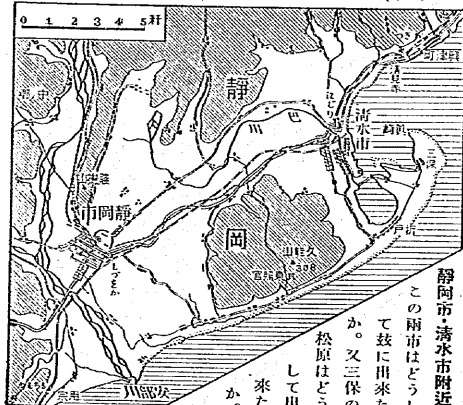
● 尋地一、六八頁
● 南北を結ぶ鐵道は信越線、山線等である。

交通系はほぼ三部に分れる。東海道線は南部に信越線中央線は中部に、北陸線羽越線は北部にあつて東西の交通は便利であるが南北の交通はまだ不充分である。鐵道網は名古屋附近が最も發達する。名古屋無線電信局送信所は愛知縣西川市では主として對歐通信を行ふ。

開港場は名古屋清水敦賀の三港が最も大切である。日本海方面の諸港は冬季風浪高く、船舶の碇泊には不便である。六處誌 静岡県 (1)伊豆半島は火山温泉に富み、熱海修善寺最も著はる。南端に近く、下田港があり、諸所に金産地がある。(2)駿河灣沿



富士山頂火口直徑約八百米深さ約二
富士山頂火口直徑約八百米深さ約二



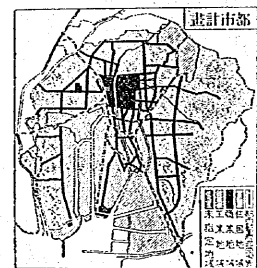
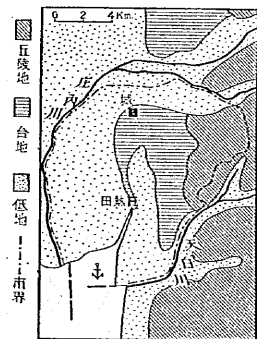
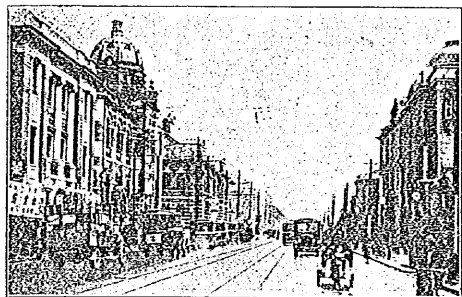
この兩市はどうか。又三保の松原はどうして出たか。津市は交通上の一中心、大宮附近は洋紙を産し清水市からは茶を輸出する。静岡市は縣廳の所在地で、茶の再製及び取引が盛

*豊橋市には陸軍の高射砲隊其の他の諸隊がある。

名古屋市は三百餘年前、城下町として起り、江戸時代には城から熱田神宮の邊までほぼ三角形に

んである。(3)遠州灘沿岸の臺地には茶、低地には米等を産する。濱名湖に近い濱松市附近は工業盛んで、綿織物、樂器等を出す。又三方ヶ原には陸軍の飛行隊がある。

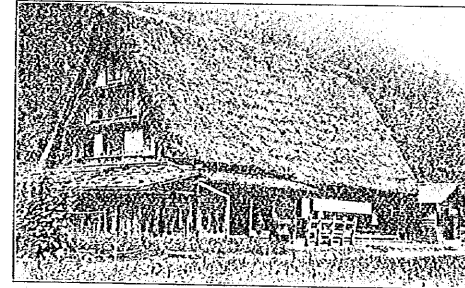
市街が出来てゐた中國の地形圖参照。今もこの大部分が商業地域(下圖)である。現在市域が大に廣がつた(四區、面積一四八方、人口約百萬)。陶器、紡績機械等の大工場は舊市街の北東と南西に多い(六三頁)。外國貿易も築港によつて次第に行はれてゐる。従つて水陸の交通も便利である。なほ市には縣廳第三師團司令部、醫科大學等がある。上圖は名古屋驛前大通である。



愛知縣 (1)三河地方の豊川流域には豊橋市、矢作川流域には岡崎市がある。共に附近に養蠶地をひかへ

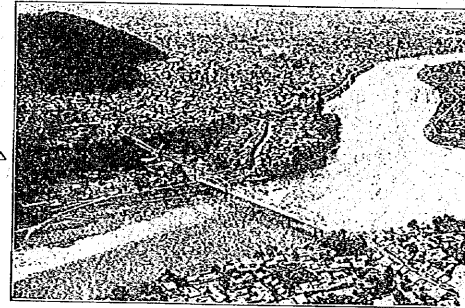
* 日本デンマーク
* 跡地、一七五頁
▲ 大垣市の附近に
赤坂(天理石の産
地)岡ヶ原古戦場、
養老の滝がある。
△ 跡地一、五七頁

て製絲が盛んである。又岡崎附近は養鶏等も盛んに行はれる。(2)尾張地方の知多半島には醸造に名ある半田貿易港武豊がある。名古屋市は米野菜の大産地濃尾平野の中心をなし、中部地方第一の商工業都市である。近傍には有松瀬戸市、一宮市等の工業地がある。



飛騨白川民家

岐阜縣 (1)美濃地方の主要地は濃尾平野の部分である。大垣市は織物を産じ、縣廳の所在地岐阜市は鶉飼に名高い長良川に臨み、織物紙製品等を出す。岐阜の東方各務原には陸軍の飛行隊北東方には美濃紙の集散地美濃町がある。鐵道中央線に沿ふ多治見附近からは陶器の産が

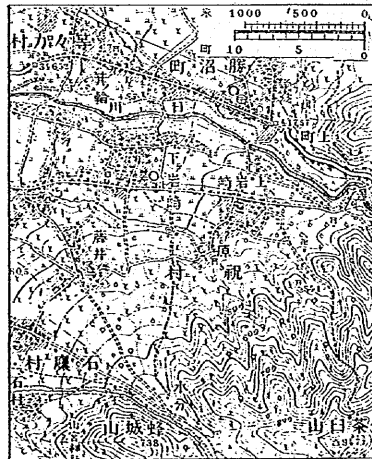


岐阜市長と川良橋をへて見てることろ

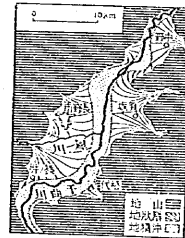
多い。(2)飛騨地方は中央高地に屬し、一帯に土地高く、山深く、交通不便であるが、高山線の開通によつて開發が次第に進むであらう。高山はその中心都市で、附近には養蠶及び林業が行はれる。山梨縣 (1)桂川流域の郡内地方は養蠶行はれ、生絲絹織物^絹の産がある。(2)富士川流域の甲府盆地は米作養蠶葡萄栽培にあらはれる。縣廳所在地の甲府市はその中心都市である。

桂川の發源する山中湖及びその西方の四湖富士五湖附近は景色がよい。

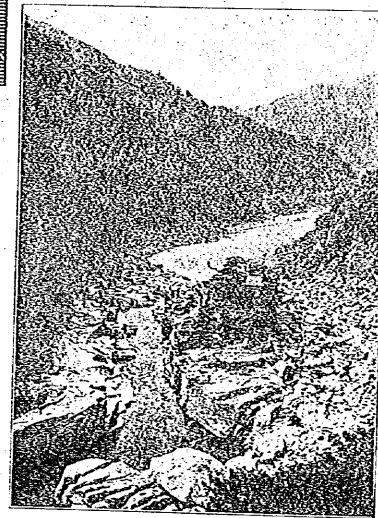
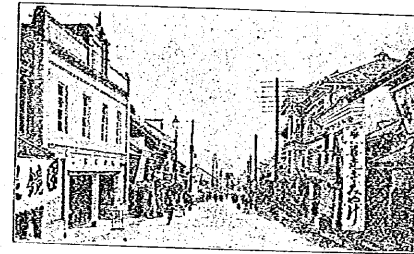
長野縣 一般に養蠶が盛んで、各地に製絲工場が多い。(1)木曾川流域(木曾谷)は風景と美林に名高い。(2)天龍川流域は伊那谷と諏訪盆地とに分れ、諏訪



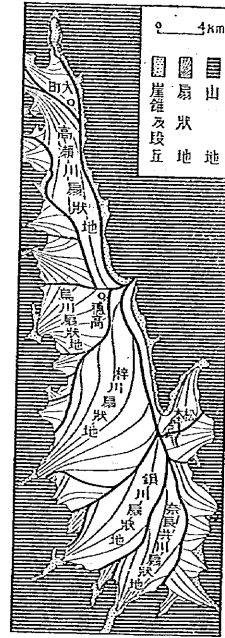
勝沼附近(陸地地形図)(一七五頁)



善光寺平(右)と長野市(下)
下図は停車場から善光寺に通ずる道路で道の突當りが善光寺である。宿屋名産屋等の多いのを見よ。宗教都市の特徴が表はれてゐる。右図で長野市の位置を見よ。



善光寺の床 花崗岩の節理(われめ)の一部を木曾川が侵蝕して峽流をつくつてゐる。



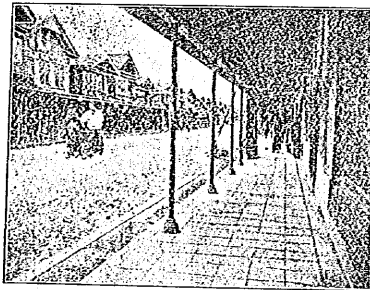
平本松

湖畔の岡谷六六町は製絲業の大中心である。(3)信濃川上流の犀川・千曲川流域には所々に平とよぶ盆地がある。

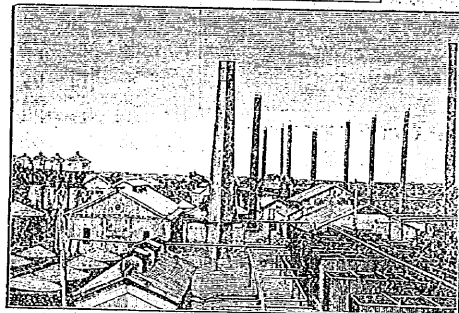
松本市上田市長野市は夫々の平の中心都市をなす。長野市は縣廳の所在地で宗教都市佛都である。
新潟縣 (1)北東部の越後平野は米の主産地で、東山・西山には石油の産出が多い。信濃川河口の新潟市は縣廳・醫科大學等の所在地で、日

長岡市街

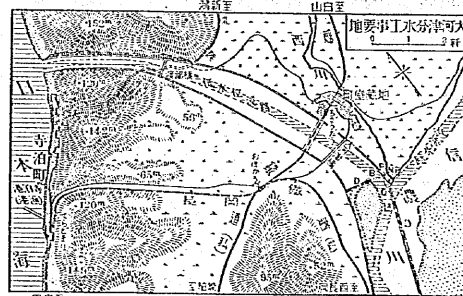
家は街路に破風をむけ、軒にはガングリといふ廊下のやうなものが造られてゐる。冬に雪が多いからである。



第六章 中部地方



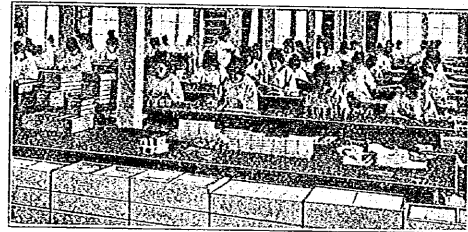
管鐵け上み波でフンボラか井油石の近附を油原 所油製寫新
つ分に等油重・油燈・油輕 てへ加を然り迄に所油製此で



あで地産大の米は野平流下の川濃信 事工水分の津河大
が港潟新とめたく除を之 でのるけ受を害水々年 がる
るあでのもたれられ設にめたく防をのる埋々年

六九頁
路地一、七六頁

本海岸中の古い開港場で、工業も興つて來たが、貿易は振はない。近時北朝鮮との間に定期航路が開かれた。信越本線に沿ふ長岡市と三條市とは商工業の二中心である。(2)西部の高田平野は荒川流域を占め、こゝに高田市がある。(3)佐渡島には中央に小平野を挟んで、



富山の製薬所 女工が薬を包むところ。

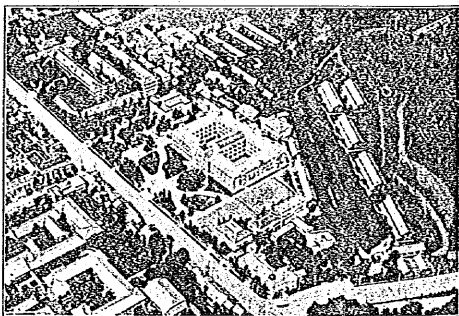


庄川発電所の堤

二列の山脈がある。兩津(夷)は貿易港で相川の附近からは金を産する。富山縣 (1)富山平野は米の産地で、吳羽丘は神通川に臨む縣廳所在地の富山市で、賣藥の産に名高い。富

六九頁
路地一、七六頁

山平野西部の中心は高岡市で、商工業が盛んである。北方の伏木は開港場で、米の積出が多い。富山灣には漁利多く、魚津は漁港である。(2)山地では立山と黒部峽とが名高く、近時、發電事業も次第におこつてゐる。

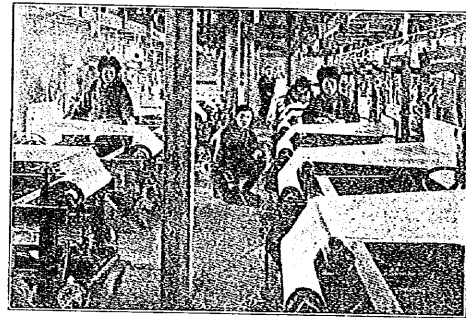


金澤市中央の洋館。縣廳は其の上。その上方が高等學校。右方は舊城址の一部。又左端は女子師範第二高等學校。分るがとあるで、舊城下町で女學校。

石川縣 (1)丘陵性の能登半島には羽咋、池田の東端に開港場七尾と、北岸に漆器の産地輪島とがある。(2)加賀地方の金澤市は日本海岸第一の都會で、縣廳、師團司令部、醫科大學等があり、絹織物、漆器、陶器等を産する。南西の小松、大聖寺は絹織業の中心で、小松附近は又九谷焼産地の中心をなす。山代、山中は何れも名高い温泉場である。

福井縣 (1) 北部の福井平野・大野盆地には羽二重・富士絹人絹等の絹織業が盛んで縣廳所在地の福井市はその中心をなす。南方の武生は紙蚊帳を出す。(2) 若狭灣沿岸は小出入に富んで風景はよいが後背地が狭いため敦賀の外は大きな港は發達してゐない。その中で小濱がやゝ著れてゐる。敦賀は貿易港で、對岸ウラヂボストク及び北朝鮮諸港との間に定期航路がある。

問題 東海地方中央高地北陸地方を對比せよ。

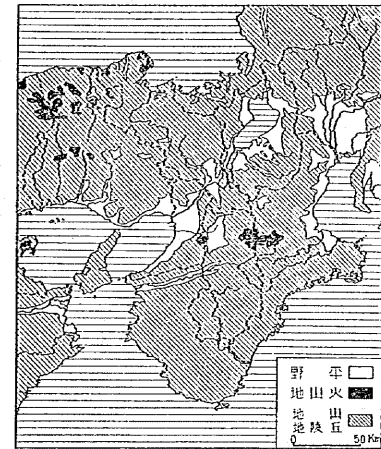


(市井福) 場工重二羽

* 尋地一、七二頁

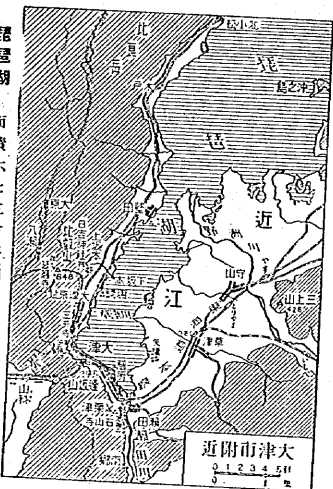
第七章 近畿地方

一 位置區分 近畿地方は古への畿内地方で、本州の東西方向部の中央を占め行政上京都・大阪の二府と滋賀・兵庫・奈良・和歌山・三重の五縣に分たれ地理上北西部中央部南部の三區に分たれる。

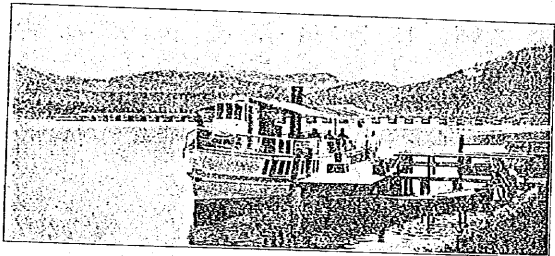


圖形地の方地畿近

二 地形 (1) 北西部は中國山脈の東部で高原性山地をなし、海岸平野は南方の播磨平野が主である。若狭灣沿岸は小出入に富むが播磨灘沿岸は概ね砂濱である。(2) 中央部には伊吹・鈴鹿・笠置・駒ヶ岡・和泉等の低い地・壘・山脈多くは南北に走り其の間に陥没で出来た近江・伊賀・京都・奈良の盆地及び伊勢平野・大阪平野がある。琵琶湖は我が國最大の湖で、その水は淀川となり、京都盆地・大阪平野を流れて大



琵琶湖 面積六七五方、湖面は海拔八六米最深九五米、竹生島の南西方。近江盆地の諸水はこゝに集まり、瀬田川となつて流れ出る。下図の如く南郷に洗堰を設けて、水量を調節し、又こゝから宇治川水力電気會社の宇治川發電所へ水を分つ。湖上の交通は天津市を中心とし、大津京都間には政水がある(尋地一、八二頁)。又湖口附近には人造絹絲等の工場もある。漁利も多い。沿岸ことには南東岸は土地よく開け、人口多く、産業が盛んである。又風景のよいので名高い。



三氣候 南郷の洗堰

日本海岸の氣候は北陸地方に似、小出入多く、平野は少い。



るにあに所すなを谷峽が川山北 丁八第へいたを水でかや緩くが勢水間の町数。いよが色景てじ映に之石岩木樹の岸雨

中央の盆地はや、内陸性であるが、伊勢海・大阪湾・播磨灘の沿岸は温和である。紀伊半島は本州の最南端に當る故、氣溫高く降水量多く、植物も亞熱帶性のものがある。

實習 左の數字で六〇頁のやうな氣溫降水量比較表をつくつて説明を加へよ。

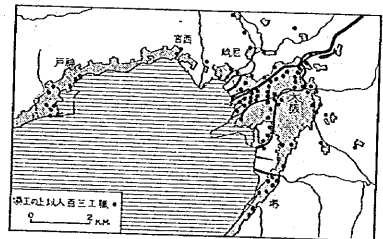
氣溫	一月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月											
	宮津	大阪	湖岬	宮津	大阪	湖岬	宮津	大阪	湖岬	宮津	大阪	湖岬
氣溫	三・五	四・五	五・五	六・五	七・五	八・五	九・五	一〇・五	一一・五	一二・五	一三・五	一四・五
降水量	一五	二五	三五	四五	五五	六五	七五	八五	九五	一〇五	一一五	一二五

四産業 この地方は我が國で最も早く開けた處であるから、人口稠密で産業もまたよく發達する。諸平野は米・麥・蔬菜等を産する。京

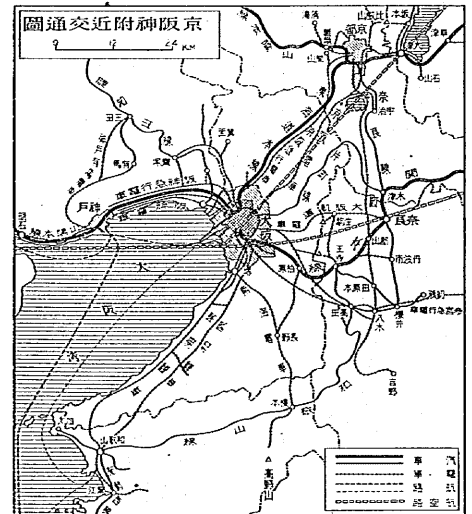
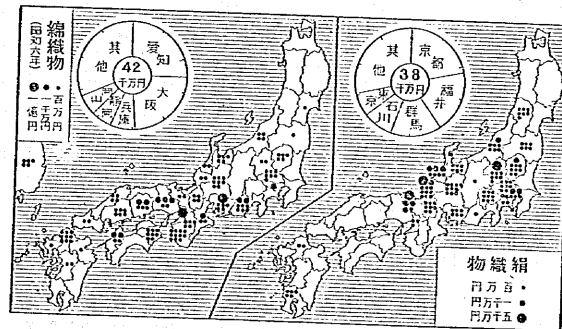
* 堺地一、九七頁
 * 三〇頁、八七頁
 堺地一、九〇頁

△八四頁
 △堺地一、九一頁
 △堺地一、八八頁
 △堺地一、八九頁

阪神工業地帯



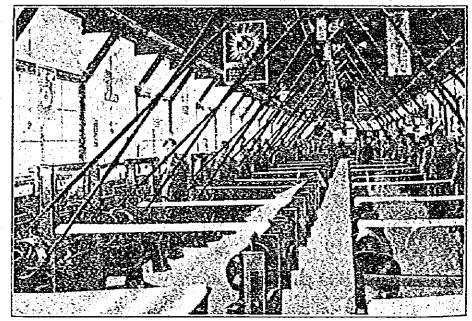
第七章 近畿地方
 都附近の茶竹筍松茸大阪和歌山附近の蜜柑葡萄等は共に栽培盛んである。南部の山地は氣候が温暖多雨であるから樹木よく繁り杉の良材を出す。鑛産は少く、生野と明延が稍著はれるだけである。沿岸は水産に富み殊に熊野灘志摩半島の沿岸には漁獲物が多い。大阪を中心とする大阪湾沿岸地方は我が國の大工業地帯で、綿絲綿布をはじめメリヤス毛織物マッパ肥料藥品機械雜貨等の製造が盛んである。其の他京都の絹織物染物陶器等の工藝品和歌山の綿ネル滋賀縣の麻織物人造絹絲等が著しい。大阪は東京と相並んで内國商業の一大中心で又神戸



第七章 近畿地方

實資
 大阪が主たる地盤に達する間
 圖を上に記入せよ

横濱と共に外國貿易の大中心である。
 五交通 北西部と南部とを除けば水陸の交通が至つて便利で殊に大阪を中心として汽車電車は鐵道網を作り、東海道山陽の兩線及びこれと連る關西山陰の諸幹線はその主なるものである。琵琶湖淀川の水運及び近海航路は共に發達し、神戸大阪は内外航路の重要な起點をなす。

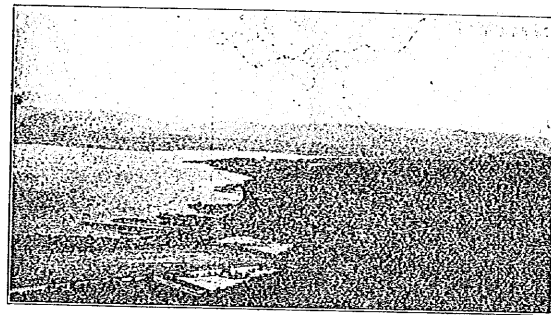


(都京)場工織陣西

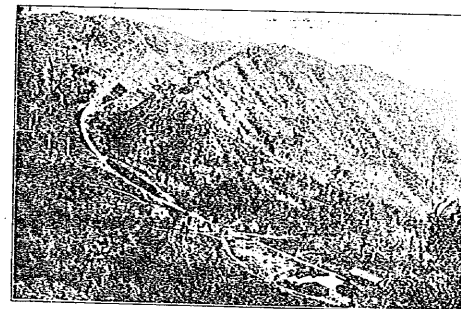
※東方の八日市閉
近には陸軍の飛
行隊がある。
※葬地一、八一頁

平野稍廣く、米麥の産多く、茲に長濱の産地、彦根、八幡水口等がある。南部には人造絹絲、麻布、蚊帳を産する。東海道線は米原で北陸線と合

し、草津で草津線を合せて京都に向ふ。大津市は縣廳の所在地、湖上運輸の起點で、京都との關



大津市附近 左方琵琶湖が狭く、川田と右方に流れることゝて、湖中突し出る。營兵は前手。るゐて左の方後。るゐてつがろひに東るか邊のこは街市。口入の水疏。るえ見が山石に端右。山上三に猶

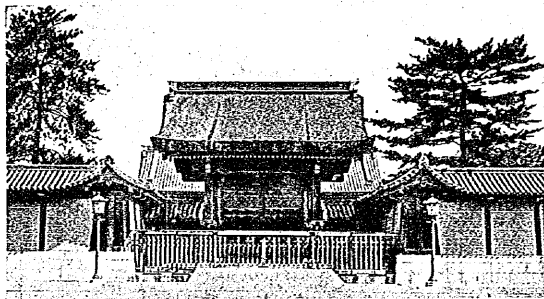


古刹天宗の山本。るあて山本總の宗台天で利古。り登の西の山觀比は圖。るあて山本總の宗台天で利古。す示を線ルブーケの(面方郊京)日

係深く、其の北西の比叡山には延曆寺がある。京都府 (1) 京都盆地の京都市は歴史的美術的學術的都市である。京都市は盆地の北東隅、山河襟帶の地に桓武天皇都を

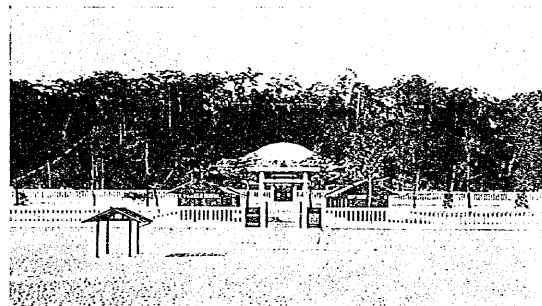
京都御所

正面は南の正門で建禮門。その後は承明門。



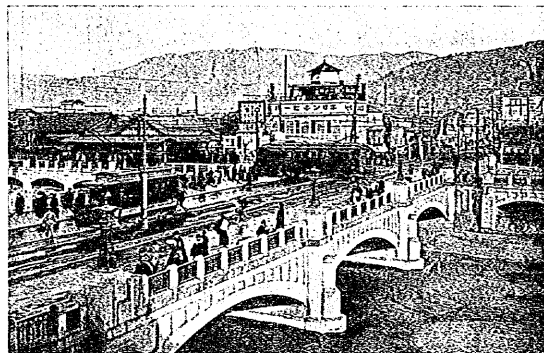
桃山御陵

明治天皇を祭り奉る。

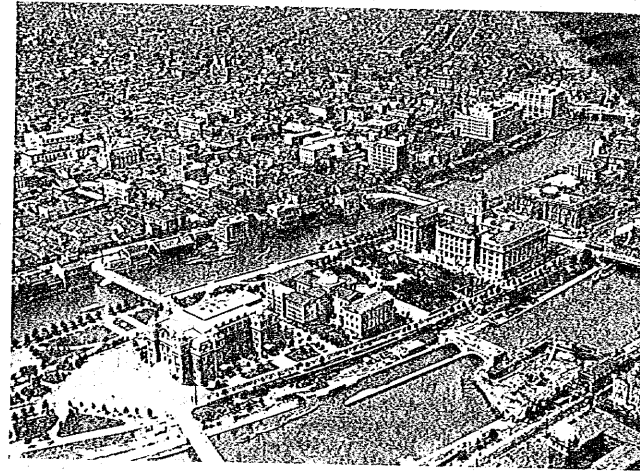


京都市街

四條大橋を示す。川は賀茂川。

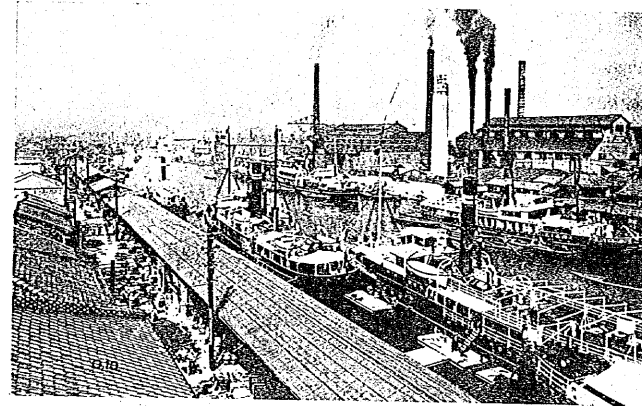


大 阪 市 の 都 心

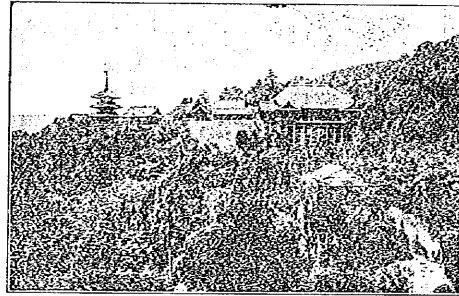


中央の島の中は島で右の方大なき物は市廳の方の圖
書館と公會堂。圖の方上方は南に當る。

安 治 川 口



圖の方左は長つた物は役場。右は工業地帯
あるあで船物貨の他の共社會船商阪大はるす泊碇。るあ
るす降乗らか橋棧山保天の港阪大は客船



清水寺の京都東山の腹中にあつては眺めがよい。

* 野地一、八三頁

の勝地がある。

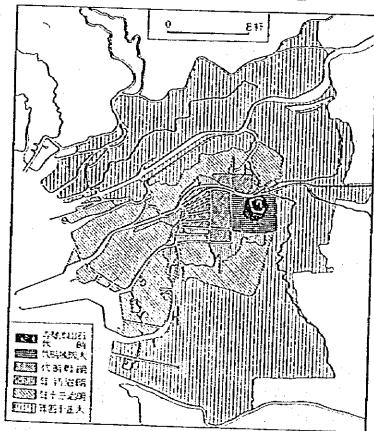
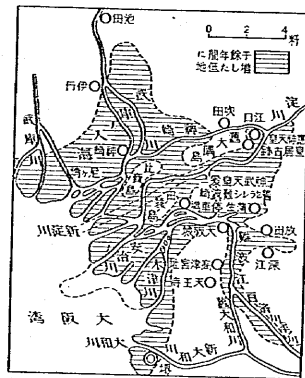
大阪府 大阪府は各種の工業が盛んで、商業もその繁榮、東京を凌いで、帝國の首位にある。従つて交通も盛んである。その南につゞく堺市も工業地で、足袋、綿絲、セルロイド、織布、清酒等の産多く、岸和田附

近には紡織が行はれる。

大阪市は瀬戸内海の東端淀川の三角洲平野にある。市街は約四百年前當時の淀川河口南方の低い丘陵の端に本願寺の門前町として起り、ついで豊臣氏ときは城下町として榮え、江戸時代には純粹の商業都市として約四十萬の人口があつた。明治以後水陸交通の發達につれ商業は益々榮え、市域も次第に擴がり、今や約三百萬の人口を有する世界的の大商業都市となつた十五區面積一七一平方里。中ノ島から南へつく邊は都心で、大きな會社商店等が多い(八〇頁)。造幣局、陸軍工廠、紡織、藥品肥料、硝子、セロロイド、其の他の大工場は北部から西部に多く、七六頁挿圖、東部から南部方面は住宅地が多い。市内は運河縱横に通じて水運の便よく、築港も出來て外國貿易は神戸に次ぎ、四八頁、主に内地沿岸航路の起點になつてゐる。

七六頁、八〇頁
* 跡地一、八六頁
八七頁、九六頁
一〇〇頁、一〇一頁

大阪市の發達(下)
大阪市の地形(左)

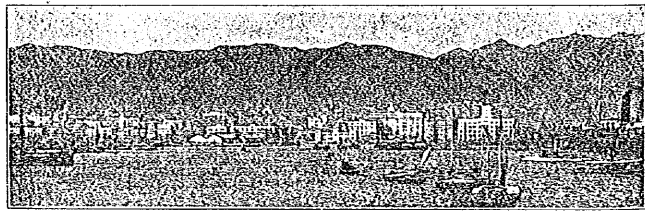


品肥料、硝子、セロロイド、其の他の大工場は北部から西部に多く、七六頁挿圖、東部から南部方面は住宅地が多い。市内は運河縱横に通じて水運の便よく、築港も出來て外國貿易は神戸に次ぎ、四八頁、主に内地沿岸航路の起點になつてゐる。

る。陸上交通も鐵道電車の發達によつて頗る便利である(七七頁挿圖)。なほ市には府廳第四師團司令部、大學、無線電信局等がある。

兵庫縣 (1)大阪灣沿岸の神戸市は我が國第一の貿易港で、工業も盛んである。市と大阪との間は氣候風景共によく交通も便利であるから、住宅地として發達し、又工業も所々に起つて居る。ことに良酒の產出が多い。この中に尼崎市、西宮市がある。

神戸市は六甲山脈の南側の細長い海岸平野を占める。港は和田岬と舊湊川三角洲、舊生田川三角洲によつて兵庫神戸の二灣に分れる。兵庫の方は古く開けたが、今は内國航路に用ひられる。神戸の方は横濱と同じく約八十年前に外國に開かれてから急に盛んになつて、全市の中心をなし、港の諸設備よくとのふ。造船所、紡織マツチ、其の他の工場も多い。



神戸港

* 四八頁
* 跡地一、九四頁

市街は海岸から山麓へ、商業区、住宅区と移つて行くが山が急なので海岸に沿うて東西にのびてゆく。之を八區に分ける。西端の須磨區は風景氣候のよい住宅地で、その東の林田區は工業區である。市の人口約九一萬面積六一方町。縣廳商業大壘市外等もある。

* 尋地一、九八頁

(2) 播磨灘沿岸には東端に明石市中心に姫路市第十師團司令部所在地西部に龍

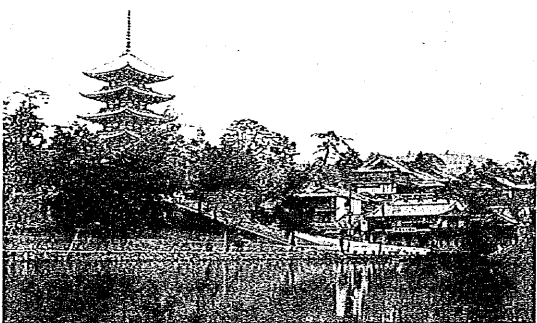


吉野川の筏 上流の山地より筏り出る。た杉等筏を流して下ることす。るであ

野醬油の産地・赤穂鹽の産地がある。(3)日本海斜面の但馬は養蠶と牧牛に著はれ生野明延の鑛山、豊岡の杞柳、細工、城崎の温泉等が名高い。(4)淡路島は農耕よく開け洲本、由良等の小都市がある。

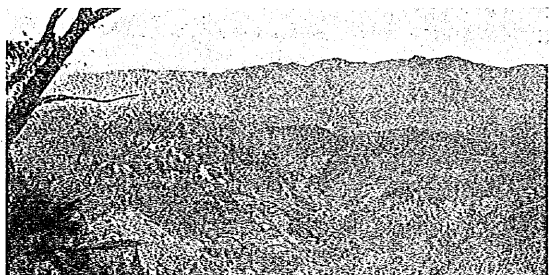
奈良縣 (1)北部の奈良盆地は米、麥、西瓜等を産し、南部には製藥業が行はれる。盆地内には京都盆地と同じく歴史上の遺蹟が多い。奈良市は盆地の北東隅に位置し、縣廳春日神社、東大寺、正倉院、帝室博物館、女子高等師範學校等がある。盆地の西方には郡山金魚産地・法隆寺、南方には神武天皇の御陵、橿原神宮、談山神社等がある。

奈良市



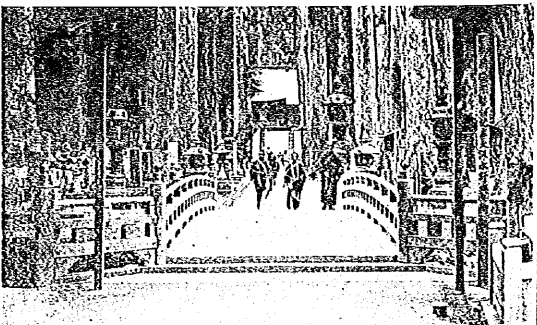
奈良公園の入口で、左に見えるは興福寺の五重の塔、右の方の家は宿屋。猿澤池には鯉や魚が多くて、遊覧客の興へる所に集つてくる。春秋の眺は繪のやうである。

吉野山

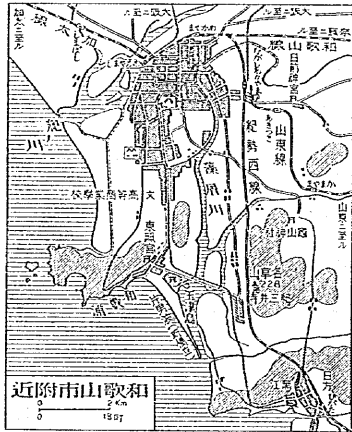


「みよしの山の都」を上る千本より西に見たところ、尾根にある町の中の大きい建物は滅王堂、右端に見えるは如意輪堂。

高野山

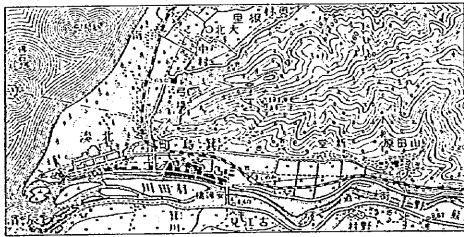
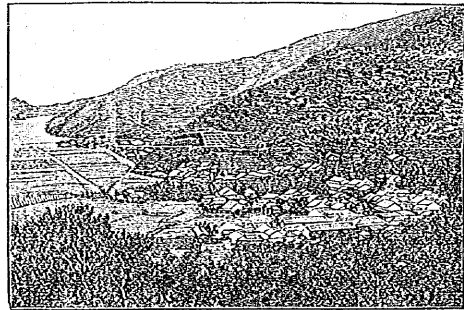


高野山は約八百米の高原上にある宗教都市で金剛峯寺を中心に多くの増坊と民家とがある。この山の橋は弘法大師廟の前の玉川に架する。是より以内は本立深く最も清淨の區域である。



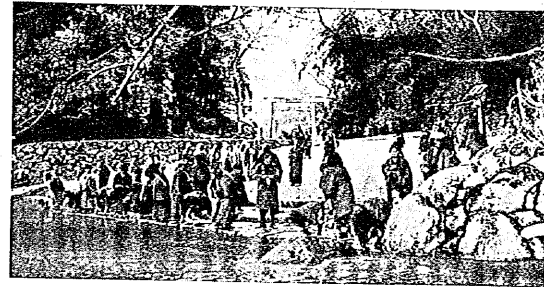
* 跡地一、八九頁

(2) 南部山地は吉野杉の産地で、その入口の吉野は吉野朝廷の舊蹟と櫻花とて名高い。
和歌山縣 (1) 紀川流域の門戸和歌山市は縣廳所在地で綿ネルの機業が盛んである。



紀州蜜柑 左上圖は有田川沿岸の蜜柑畑を示したものである。この附近は紀ノ川沿岸と共に紀州中その栽培最も盛んである。山に階段のやうになつてゐるのは皆蜜柑畑である。河岸平野は米田となり桑落は山麓帯にある。下の地形圖と比べよ。

苑神の宮神勢伊



茂樹老は内境。い厚てめ極敬崇の民國は廟大勢伊
五いで部一の苑神の宮内は國。るあで城の淨詣てつ
す示を場洗手御の川鈴汁

浦ケ見二



通が車電間のそてつあに方東軒六約らか市田山治宇
も望遠のらかこ。るあで岩婦夫い高名は國。るず
いよかなかな

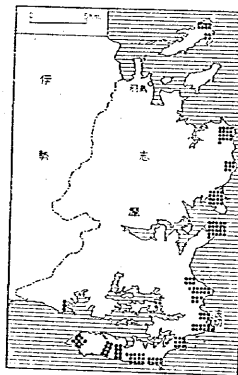
女海



附近には名勝地和歌浦、漆器傘の産地海南市東にはるか離れて高野山がある。(2)それより南は大部分山地で、有田川流域は紀州蜜柑の本場として名高く、熊野川は木材運搬の路をなし河口の新宮市はその集散地である。沿岸は一般に漁利に富むが出移民も多い。

※ 附近の明野原には陸軍の飛行学校がある。

▲ 八六頁
▲ 八四頁
▲ 八二頁



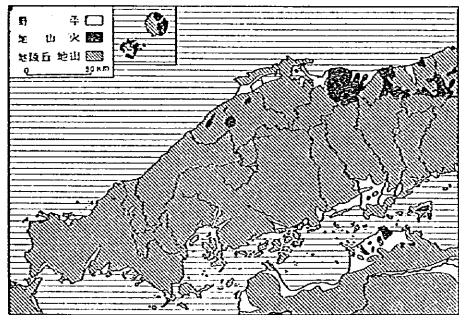
▲(人十二點一)布分の女海

見ヶ浦の勝地がある。(2)志摩半島の鳥羽は自然の良港、波切は漁港である。(3)熊野灘沿岸は小出入多く漁業盛んで、真珠の養殖も行はれる。(4)伊賀地方の上野は伊賀盆地の中心都市で傘の産が多い。

問題 近畿地方の北西部中央部南部を比べよ。

第八章 中国地方

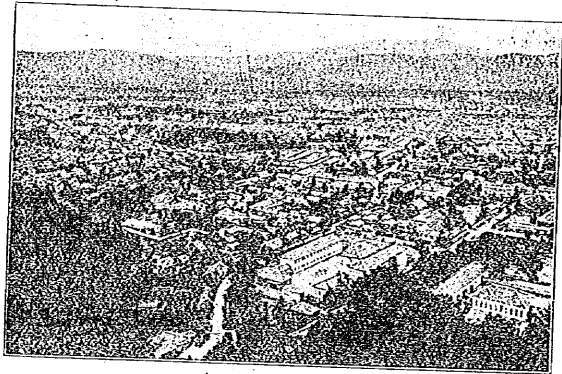
一、位置区分 本州の西部に位し、瀬戸内海を隔てて四国九州と相對し、行政上岡山・広島・山口・島根・鳥取の五縣に分たれ地理上山陰・山陽の二區に大別される。



(てく比と圖附)よせ入記を界水分に圖のこ

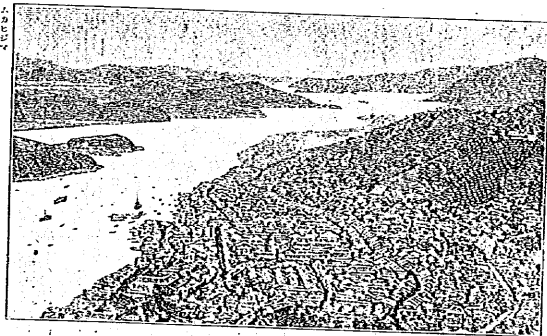
二、地形 高原性の中国山脈廣く東西に連なる故、平野一般に少く、分水界は概ね北に偏し、山陰・山陽の兩地方を分つ。なほ山陰地方には白山・火山脈に屬する大山(國立公園)三瓶山等がある。川は自ら南北に分流し、日野・斐伊江の諸川は日本海に、吉井・旭川・邊太田の諸川は瀬戸内海に注ぐ。日本海岸は中部の島根半島附近の外は出入少く、隱岐の外は島も少いが、瀬戸内海は屈曲に富み、島も多く、碇泊地が少くない。又波穏かで古來交通上の要路をなし、船舶の往來が多い。

鳥取市と中國山脈



鳥取市の舊城址から南西方を望んだところ。高原狀の中國山地を見よ。

尾道市



向島方面に横たはり港内は波靜かで風景がよい。由陽街道(左)と山陽線(右)と海岸の出入や島の多いのを見よ。

瀬戸内海

瀬戸内海は土地が落込んで出来たもので、數多の島はその残りである。所々に火山岩も噴出してゐて風景がよいので、その中部は國立公園となつてゐる。内海は半島や群島に界せられて大阪灣、播磨灘、備後灘、嚴島灘、安藝灘、廣島灘、伊豫灘、周防灘に分れる。沿岸は氣候溫暖で交通の便がよいから、各種の産業發達し、殊に製鹽は内地總額の九割を占める。海は靜かで交通や漁業も盛んである。附近の人々は海に親しみ、海外に移住し、又、遠洋漁業航海業に従ふものが少くない。

三、氣候

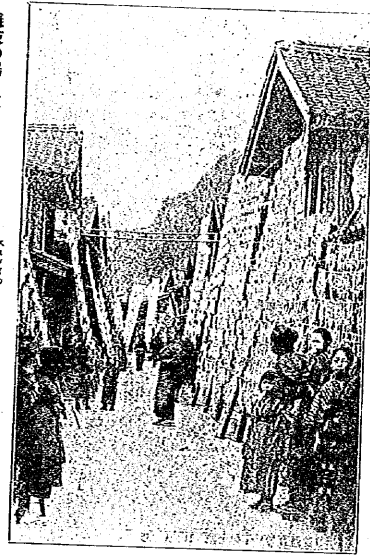
山陰地方は冬季北西風多く吹き、雪を伴ひ、寒暑の差は少いが、一年を通じて雨が多い。山陽地方は氣候一般に溫和で、割合に雨少く、製鹽に適するが米作のための溜池が多い。

實習 左の數字で三八頁のやうな氣溫降水量比較表を作つて説明を加へよ。

氣溫	一月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月											
	廣島	廣島	廣島	廣島	廣島	廣島	廣島	廣島	廣島	廣島	廣島	廣島
氣溫	四・五	五・五	六・五	七・五	八・五	九・五	一〇・五	一〇・五	九・五	八・五	七・五	六・五
降水量	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五	一〇・五

四、産業 山陰地方は交通不便で、中央の文化に遠ざかつてゐたため、山陽地方に比べて人口密度、産業の進歩が劣つてゐる。農業は概ね二毛作行はれ、米・麥・果實等の農産多く、又山陽の中部地方からは蕎麥を産する。養蠶も次第に行はれ、牧牛も高原に盛んである。鑛産は山口縣の石炭や各地の花崗岩が主なるものである。内海沿岸の各地には製鹽行はれ、水産は日本海・内海共に多く、山口縣の鯛・鰯・鰺、廣

島の牡蠣カキは名高く、朝鮮近海に出漁するものも少くない。工業は次第に發達し、農産・工藝は全國の首位を占め、又綿織業を始め、大規模の工場が各地に設けられてゐる。

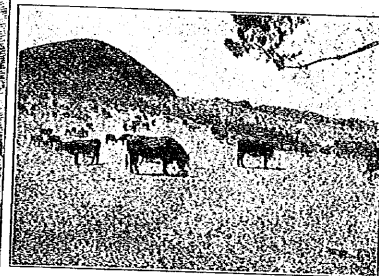


薩摩の鰯 家の間に見えるのは鰯魚を干したところである。鰯魚は鮮魚のまゝでも賣るが、多くは腹をきいて内臓を去り、細い竹で中央を貫き、これを天日に乾かして鰯に製する。鰯魚の漁期は全年にわたるが、最も盛んなのは冬で、夜間灣外二軒から十二軒の沖に出て釣るのである。

五、交通 本州の幹線山陽線は山陽を縦貫し、山陰線は山陰を貫いて連絡する。又、下

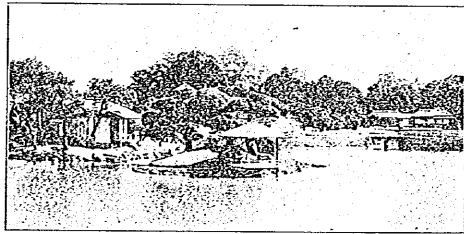


刈草圖



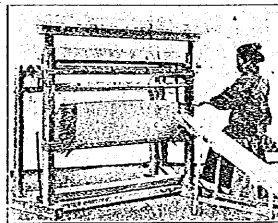
(近附の山高瀬縣山岡)牧放

本地方、一〇九頁、一〇頁

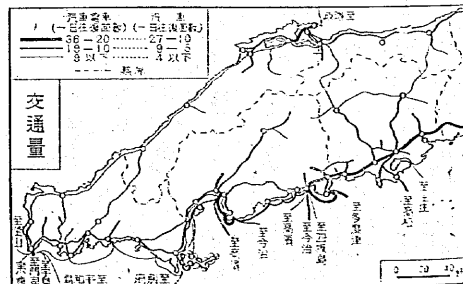


高名て以て美の工人。るあに都東北の市山岡 園樂後主は街市。るえ見が櫓の城舊はにふ向、るあて岡公い。るあでのたし達發てしと町下城に方西の城のこに

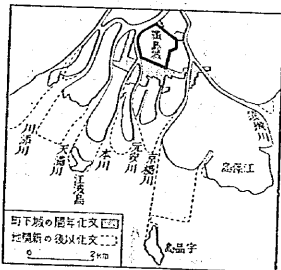
關から鐵道連絡船で九州朝鮮の鐵道との連絡もよい。高原を南北に横ざるものには、東に因



りお表盤



量通交



廣島市 上圖の右に元安用、左に本川が見える。左岡は百三十年前の市街とその後の土地の發達を示す。今の市街はほぼこの三角洲上にひろがつてゐる。

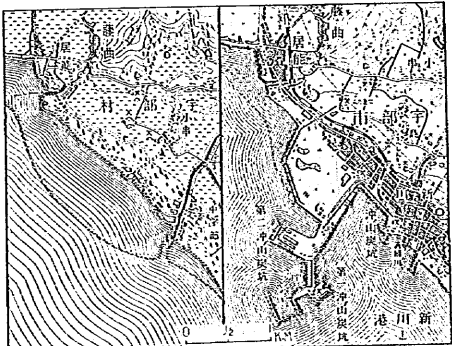
廣島縣 高原山地廣く、耕地の少い割に人口密度が大であるから、農業は多角的になり、工業も次第に起つてゐるが、一方に海外への移出民もかなり多い。(1) 海岸地方の備後方面には工業都市の福山市と、その西にある商港の尾道市がある。安藝方面には呉と広島とがある。呉市は有名な軍港で、第二海軍鎮守府と大規模な造船所、製鋼所があり、西方の江田島には海軍兵學

卷二 一、一二三

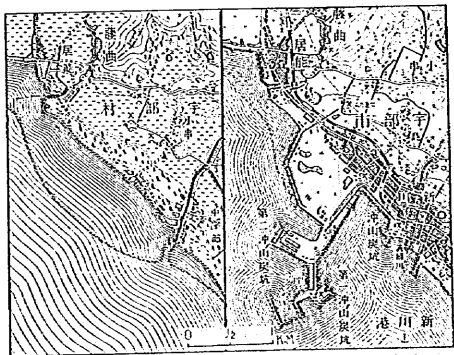
山日の西方に秋吉
臺といふ石灰岩臺
地がある。

校がある。廣島市は太田川の三角洲を占め、中國第一の都市で縣廳第五師團司令部、文理科大學があり、商工業も盛んである。その港、品は日清日露等の戰役に軍隊輸送の重要地點となつた處である。その南西方に日本三景の一の嚴島がある。(2)高原では牧牛行は、三次盆地の中心に三次がある。

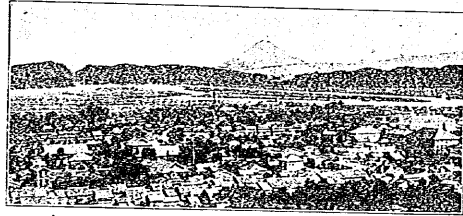
山口縣 (1)山陽方面では、錦帯橋で、名高い岩國附近には人絹工業起り、徳山市には海軍燃料廠や曹達工場がある。防府附近は製鹽の中心、宇部市は石炭の産多く、山口市には縣廳がある。下關市は瀬戸内海西方の門戸をなし、水陸交通の中心で、水産物の集散も多い。彦島には工場多く設けられ、北九州工業地帯の延長



市部宇
圖の年一十正大は國右、年十三治明は國左
盛に急近最てつな作に發開の田炭部宇は市本、るあで
、るれら知が事たつなにん



宇部市は左圖明治三十一年、右圖大正十一年の調査
 宇部市は市炭田の開発に作つた最近に急盛に
 なるにつれて知事たつる。

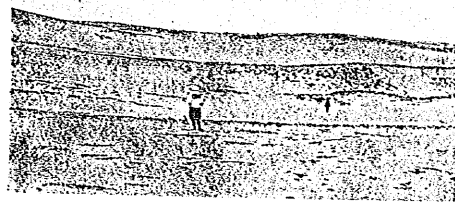


松江市 舊城址から市の東部の見分る
大川の流れが見え久々に國中最高大の火山が
見える (見分る地帯四〇四及び四一四)

出雲大社がある。(2) 石見地方の濱田は開港場で、この方面第一の都市である。(3) 隠岐島は島前島後に分れ、近海には鳥賊



大山 (大森驛から見たことろ)



濱坂砂丘 (島取の北の方)

をなす。(2) 山陰方面の萩市は明治維新の功臣を輩出した舊城下町で、夏橙の産が多い。島根縣 (1) 出雲地方の松江市は縣廳の所在地で、穴道湖を控へて風景がよい。湖西には

平野ひらけ、その北西隅の大社には有名な

の漁獲多く、島後には西郷港がある。

鳥取縣 (1) 東部(千代川流域)の鳥取市は縣廳の所在地、(2) 中部(天神川流域)の倉吉はその中心都市で、その東方に三朝温泉がある。(3) 西部日野川流域の米子市は商工業・交通の中心、夜見濱の先の境は貿易港である。

問題 山陽地方と山陰地方とを比べよ。

* 環地二、一〇四頁

第九章 四國地方

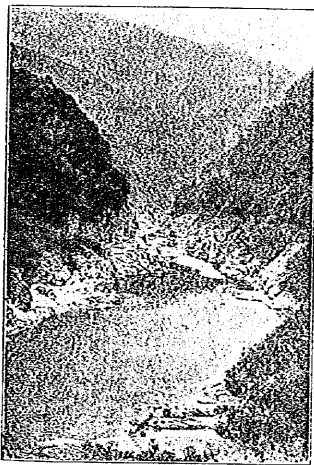
一 位置區分

四國地方は近畿地方と九州地方との間にあつて、中國地方と瀬戸内海を隔てて相對し、行政上、徳島香川愛媛高知の四縣に分たれ、地理上、北四國、南四國とに分たれる。

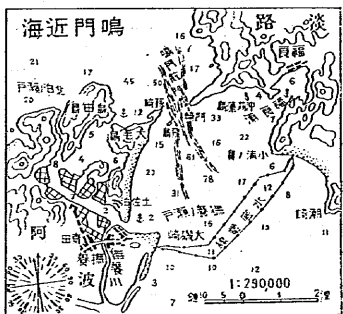
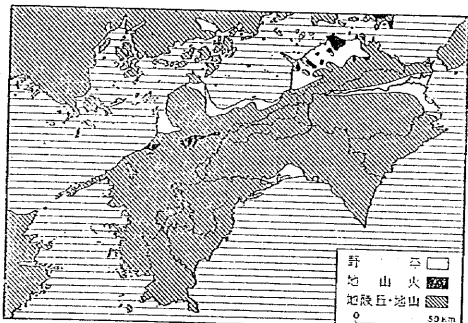
二、地形 域内は一般に山多く、四國山脈ほゞ東西に走り、劍山、石鎚山が其の中にそびえてゐる。四國第一の長流吉野川は

横谷又は縦谷をなして東に流れ、下流に三角洲を作る。

其の他、土佐灣に入る川には



奥の其で(危歩小)坂崩小 流峽の川野吉
。路道ふ向に知高は(岸左)方右、堤崩大が



鳴門海峡 其の幅僅に、三、三餘門が、あつて大鳴門(西)・小鳴門(東)に分れてゐる(右圖)・湖波(左圖)は凡そ六時間ごとに南流又は北流し、大音を發し、渦巻をつくり、速度最も大なる時は、時間十二杯以上に達する。

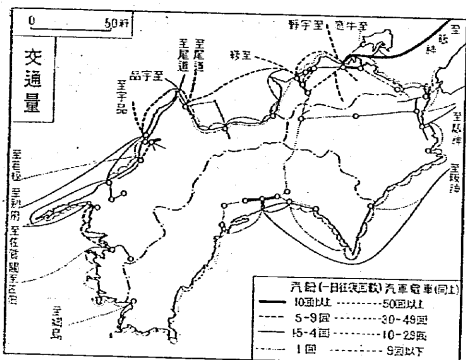


稍大なるものもあるが、内海に注ぐものは何れも長さが短い。北四國には讃岐高縄の二半島が出て居るし、島も多く、諸海峡は潮流が急である。南四國には室戸岬、摺の二岬が土佐灣を抱いてゐる外は出入少いが、西方の豊後水道沿岸は屈曲極めて多く、最も變化に富んで居る。

三、氣候 北四國は山陽と同じく氣候溫和で、降水量少く、従つて沿岸は製鹽に適する。南四國は紀伊の海岸に類し、位置地形海流季節風の關係で氣温は一般に高く、降水量は暖季に多い。従つて此の方面は森林に富む。

實習 左の數字で二八頁のやうな氣温降水量比較表をつくつて説明を加へよ。

氣 溫		降 水	
高	多度津	高	多度津
一月	至五	至七	四〇
二月	至五	至七	四〇
三月	至五	至七	八〇
四月	至五	至七	九一
五月	至五	至七	一〇四
六月	至五	至七	一〇五
七月	至五	至七	一〇六
八月	至五	至七	一〇九
九月	至五	至七	一〇九
十月	至五	至七	一〇九
十一月	至五	至七	一〇九
十二月	至五	至七	一〇九



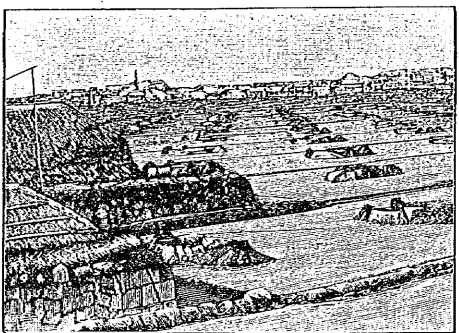
。よへ考を係關のと形地と道鐵 題問

五、交通 鐵道は位置地形の關係上發達は遅れてゐるが、北部の豫讃線は徳島線高德線に連絡し、近く土讃線とも連絡した。なほ鐵道交通の不足は自動車交通によつて補つてゐる。海上交通は他

自動車交通によつて補つてゐる。海上交通は他

坂出^{サカイ}の鹽田　鹽田中に横につくた薄は海水の通路で、砂の高く積み上げてある處は沼井^{ヌミ}と云ひ、鹽分の附いた砂を集め、更に其の上から海水を注いで鹽分をこす。これを左端に管で集め、更に煮て鹽分を結晶せしめる。

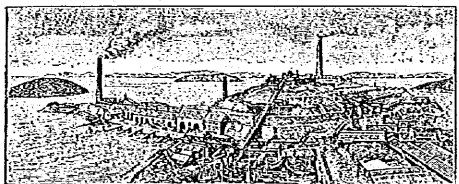
(尋地二、二七頁)。



第九章 四國地方



鑿節の製造　鑿節を作るにはまづ鯉の頭
 を切り落し、脊骨を抜き、一匹の魚から
 四片をつくる。脊の方を雄節、腹の方を
 雌節といふ。これを煮籠にならべ、一時
 間半位煮てから水に入れて小骨を抜き乾
 して作る。



四坂島の製鍊所 別子銅山の鑛石は鐵索と鐵道とによつて新居濱^{ニホ}に運び出し更に船で四坂島の製鍊所に送られるのである。

(尋地一一八頁)

六、處誌

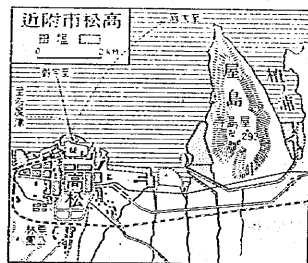
德島縣

(1) 吉野川地溝が

。たし達發てしに心中を山城の方有 市島徳



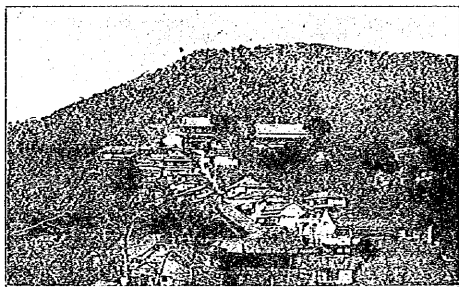
姿 路 迴



香川縣

香川縣 本縣は面積は小さいが農業よく發達し、農産工藝も盛んで人口の密度が大きい。(1)讃岐半島の中部海岸の高松市は内海航路の要津で、縣の中心都市である。その西

琴平町 金力比羅宮は大物主命・崇徳天皇を祀る。本殿は山の中腹にあつて岡には見えない。岡の家は社務所、門等と、門前町の一部である。



の製鹽地坂出^{サカデ}及び丸龜市^{マルカメ}・多度津港は豫讃線に沿ひ、第十一師團司令部の所在地善通寺^{サントウジ}・金刀比羅宮^{キンタロヒラミヤ}のある琴平は土讃線に沿ひ、且電車の連絡もある。(2) 鴈島^{カモジマ}中の小豆島^{アヅマジマ}は風景に富み醬油を産し、直島^{ナオシマ}には銅の製鍊所がある。

愛媛縣

(1) 伊
豫
灘

松山市 國の左方に見える丘は城山で、ここを中心として市街が發達したのである。

斜面中豫

の
松
山
市

は縣廳の

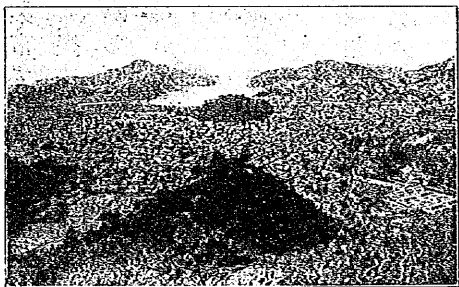
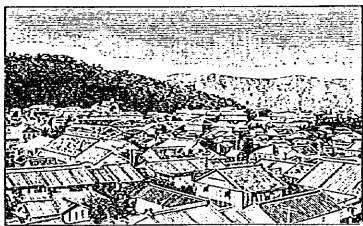
所在地で

伊豫絣を

産し、その

濱三津濱

門戸に高濱・三津濱
東には道後温泉を

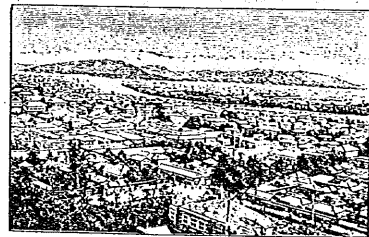


で山城はのる居てつ茂の木く黒に央中の園 市島和宇
とつに後の山城。たし達發は町の此てしと心中をれこ
でついは汽蒸小・船帆で港内はのるえ見に様の溜てい
よ見をのるみでん入り入く深の灣。る得し港人も

控へてゐる。(2) 燧灘斜面(東豫)には工業市で開港場の今治市と、別子銅山とがある。(3) 豊後水道斜面(南豫)は海岸の出入は多いが、山がちで、水産物・繭果實等を産し、宇和島市・八幡濱市が主な都市である。

高知縣 高知平野が主要地である。氣溫が高いので年二回米を作ることが出来るし、早生の蔬菜を阪神地方等に出す。高知市は縣廳の所在地で、阪神との航通が便利である。又、西方、仁淀川流域の伊野と共に和紙を産する。沿岸一帯には漁利多く、山地には林業が行はれる。

問題 各自一縣づつ調べて發表せよ(全生徒四團に分れて)。

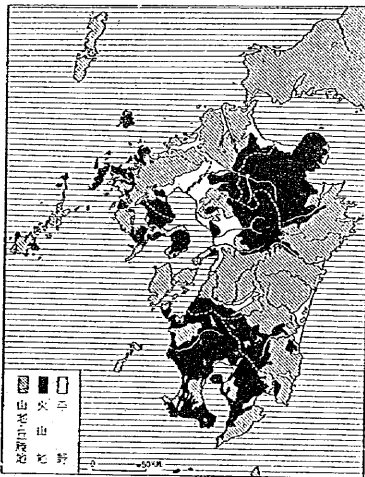


高知市街をへて東南
浦戸方面のざんことを

第十章 九州地方

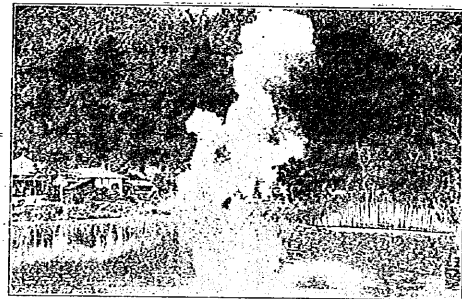
一、位置區分 九州地方は本土西端の九州島と、その附近の島嶼とから成り、行政上、福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の八縣に分たれ、地理上、北九州(佐賀縣・福岡縣以北)を南九州(福岡縣以南・琉球弧・南の列島)に三大別せられる。

* 一四頁
* 二六二頁



九州地方の地形

二、地形 北部には中國山脈の續きの筑紫山脈ほゞ東西に走り、數多の小山塊に分れ、石炭を埋藏すること多く、南部には四國山脈の續きの九州山脈、北東より南西に走り、高峻の山地をなす。兩山脈の間には阿蘇火山脈があつて、阿蘇山(國立公園)を始め、兩子・鶴見山・布・九重・雲仙(國立公園)・多良の諸峯之に屬し、勝景温泉に富み、南部に



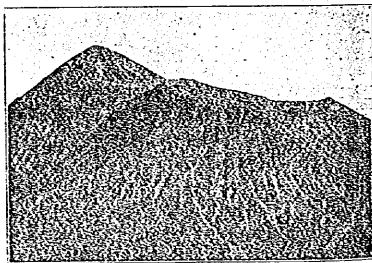
るにあに舊東の舘見鶴は市府別 クオチ 獄地海の府別
 多も量の湯りあが泉温に方ことる判近附で港
 え絶が客浴入時四でのいよも候氣も景風。い
 ることの軒六約西北の市は獄地海の園 い
 湯熱の色なうやの水海に日火い小てつあに
 (頁五二、一、一)るゐてへゝたを



は霧島火山脈があつて、霧島山國立公園・櫻島カク・開聞岳カクを噴起し更に薩南諸島の内帯に數多の火山島を造つてゐる。主

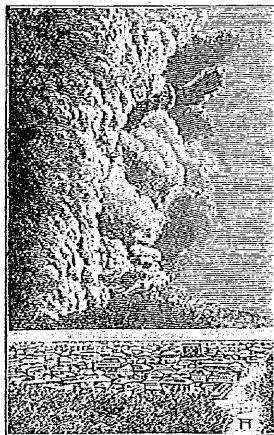
阿蘇山。舊火口は南北凡そ二四軒東西凡そ一八
 軒面積三百餘方軒世界最大の火口である。中央
 火口丘の主なものが五つあつてその中居は今も
 盛んに活動してゐる。火口原は阿蘇谷、南郷谷に
 分れ農業、牧畜行はれ都邑も多い。鐵道豐肥線も
 火口を横きつてゐる。一四頁及び等地二、二六
 頁等地二、六一頁。

な川は阿蘇火山脈と九州山脈を分水界として諸方に流れ、球磨川は峽流をなし筑後川の下流一帯には九州第一の筑紫平野がある。海岸は屈曲甚だ多く、殊に北西部には肥前半島突出し、島嶼岬灣入りまじつて最も複雑な一區を形づくり、中に軍港佐世保及び商港長崎がある。南部には大隅薩摩の二半島が出て鹿兒島灣を抱き、北東には國東半島出て



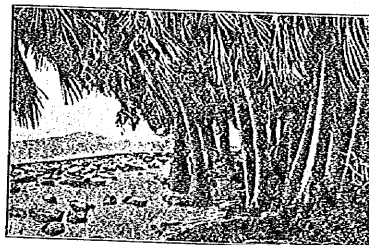
チハオ
鉢御と(左)葦穂千高の中群山火島霧

市島兒鹿と島櫻
(時當火噴年三正大)



(頁九二一、一地琴)

その南方豊後水道に面する所は小出入が多い。ただ日向灘に面するところは單調である。近海には島嶼多く、北西に壹岐對馬平戸、五島、西に天草嶺の諸

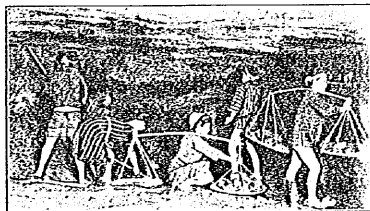


(縣崎宮) 林葵蒲の島青

島南西には薩南諸島琉球列島^{琉球列島}を合せてが長く連なつてゐる。
三氣候 九州地方は一般に溫暖で、北九州も冬季降雪極めて少く、南九州は氣溫高く降水量が多くて、蒲葵^{ビロウ}の如き熱帶植物が自生する。更に琉球弧では亞熱帶氣候になつてゐる。

實習 左の數字で六〇頁のやうな氣溫降水量比較表を作つて説明を加へよ。

降水量	氣			降水量
	大	長	小	
鹿兒島	三〇	二六	二五	三〇
長崎	二六	二二	二一	二六
大分	二二	一八	一七	二二
福岡	一八	一四	一三	一八
北九州	一四	一〇	〇九	一四
平均	一〇	〇六	〇五	一〇



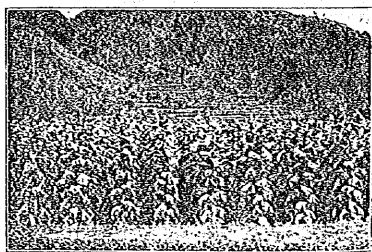
るゐてい働も子女 部内の坑炭
(頁三三一、一、地尋)
(年七和明) 領産の炭石

炭石	鹿兒島	長崎	大分	福岡	北九州	平均
炭石	三〇	二六	二二	一八	一四	一〇

(年七和明) 領産の金

金	鹿兒島	長崎	大分	福岡	北九州	平均
金	三〇	二六	二二	一八	一四	一〇

四産業 北九州は土地概ね低く、且、海岸の出入が多いから水陸の交通が便利な上に、アジア大陸に近くて古くから文化輸入の門戸となつたから、人文の進歩著しく、人口稠密、都邑よく發達し、産業も我が國の主要地域の一である。南九州は北九州に比べると、土地概ね山がちで、且、中央に遠いため、北九州の如く産業が發達しない。農業は二毛作行はれ、北九州の筑紫平野と熊本平野には農産多く、良質の米を産する。又南九州及び琉球弧には甘藷^{カンショ}、甘蔗^{カンザ}、煙草^{タバコ}、早生蔬菜等の畑作多く、熊本鹿兒島宮崎の三縣には牧畜が盛んで、琉球には養豚が行はれる。林業は南九州の山地に發達



(分國縣島鹿) 煙草煙

* 築地一、一二八
頁
* 築地二、一三
〇頁
▲ 築地一、一三六
頁

實習 産業分布圖
をつくれ。



し、木材、木炭、椎茸等を出す。鐵産は北九州の石炭及び大分縣の金銅、
鹿兒島縣の金が名高い。殊に石炭は我が國產出額の半ば以上を占
め、門司、若松、三池等から積出され、又北九州にある八幡製鐵所を始め
各種の工場に使用せられる。工業は北九州工業地帶の外有田、佐賀
の製陶、長崎の造船、久留米、福岡の機業、熊本縣の肥料、大分縣の鹽、表等
がある。商業も亦北九州に盛んである。水産業は一般に盛んであ
るが、長崎縣が第一位である。

五、交通 鐵道、鹿兒島本線、日豐本線、長崎本線
は幹線をなし、前二者は相連つて九州を一周
する。北九州には鐵道よく發達し、殊に工業
地帶附近は鐵道網をつくつてゐる。東西横
斷には北九州に九大線、豐肥線があり、南九州
には日豐本線と連絡する肥薩線、吉都線があ
る。海上交通も北九州に盛んで、門司、長崎が

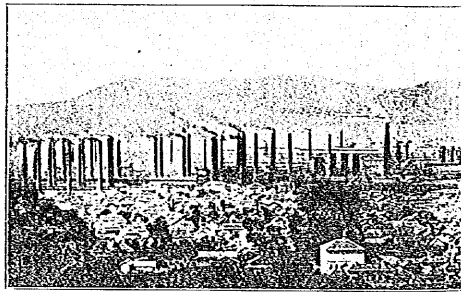
主な港である。

六、處誌 福岡縣 本縣は位置地形の
良いこと、石炭の多産等のため九州中
産業最も進歩し、農産多く、又各種の工
業が盛んで、北東部は一大工業地帶と
なり、都市の發達も著しい。(1)北東部

* 築地一、一二八
頁



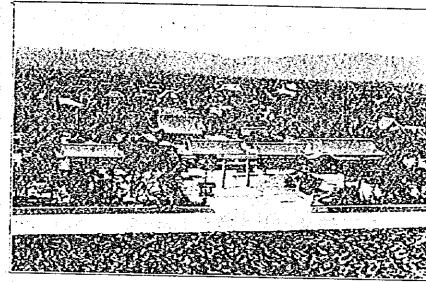
の門司市は下關と相
對する開港場で、石炭
の積出多く、鹿兒島線
の起點である。それ
より南西には小倉、戸畑、八幡、若松の諸工業市並列し、
八幡にある製鐵所は規模が殊に大きい。遠賀、川流
域の筑豐炭田の石炭は主に開港場、若松市と門司市
とから送りだす。直方市、飯塚市は炭田地域の中心



八幡製鐵所 明治三十三年の來出に於ては、鐵産は北九州の石炭及び大分縣の金銅、
鹿兒島縣の金が名高い。殊に石炭は我が國產出額の半ば以上を占
め、門司、若松、三池等から積出され、又北九州にある八幡製鐵所を始め
各種の工場に使用せられる。工業は北九州工業地帶の外有田、佐賀
の製陶、長崎の造船、久留米、福岡の機業、熊本縣の肥料、大分縣の鹽、表等
がある。商業も亦北九州に盛んである。水産業は一般に盛んであ
るが、長崎縣が第一位である。

福岡市の南東に太宰府神社がある。

久留米市北東方の太刀洗には陸軍の飛行隊がある。
* 夢地、一三三頁

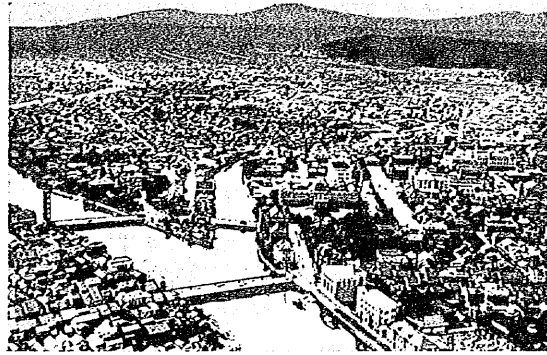


佐賀市賀賀城址から北に望む
佐賀市賀賀城址から北に望む

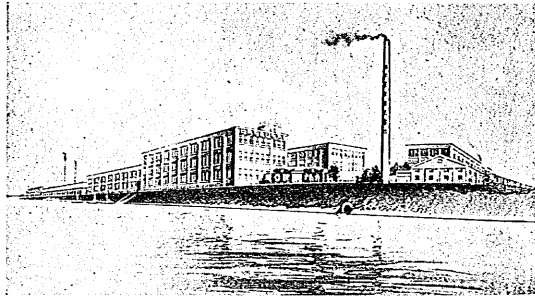
久留米市はこの方面第一の都市で、足袋、緋、タイヤ等を産し、第十二師團司令部がある。南端の三池炭田は我が國第一の炭田で、大牟田市はその門戸をなし、工業榮え、石炭積出しの盛んな三池開港場を控へてゐる。

佐賀縣 (1) 南東部は、有明海斜面に屬する。筑紫平野西部の中心には縣廳の所在地佐賀市がある。有明海の北岸では牡蠣等を養殖し、開港場佐賀からは石炭を積出す。(2) 北西部(海峽斜面)には唐津伊萬里の灣入があつて、灣頭には夫々同名の港市をもつ。唐津市は唐

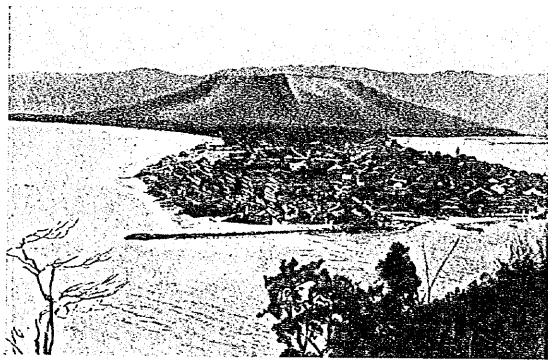
福岡市 北方より見たところである。川は那珂川中央に縣廳が見え、其の左方(東)は西中洲で左端の橋が西大橋。

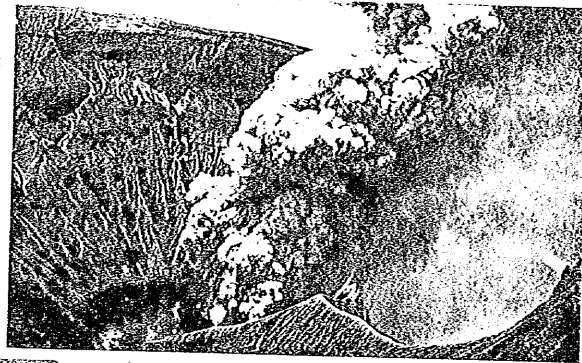


久留米市 筑後川に臨む。岡は筑後川と足袋工場とを示す。工場には原料の布を機械で織る機械工場とミシンで縫ふ縫縫工場とがある。此の労働に従ふものは主に女子である。

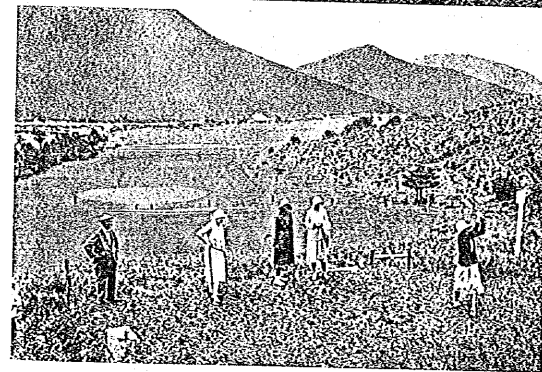


唐津市 唐津城址から松浦川口を隔てて東唐津の満島の町とそれから左東につづく虹の松原と昔後の鏡山(鎮山)とをのぞむ。

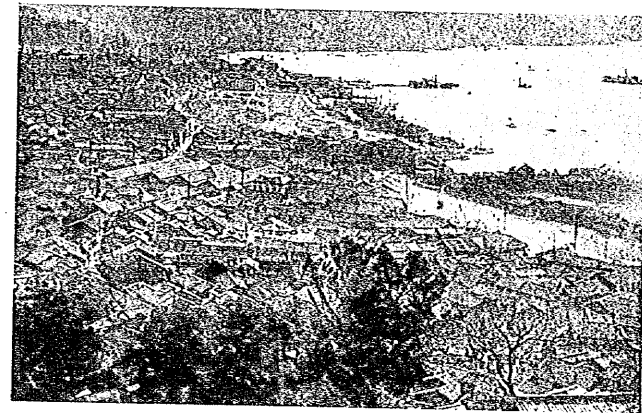




阿蘇の中岳（右）

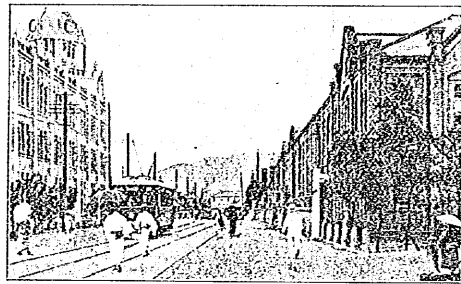


雲仙ゴルフリンク（左）



長崎港の一部（下）

* 尋地一、一三六
頁
* 尋地一、一三
七頁
△ 尋地二、六二頁
▲ 八代には洋紙・
セメント製造も
行はれる。



熊本市本熊市は熊本の平野にあて。熊本市は熊本の平野にあて。熊本市は熊本の平野にあて。

津線終點の開港場で石炭の積出が多い。有田は有名な陶器産地である。

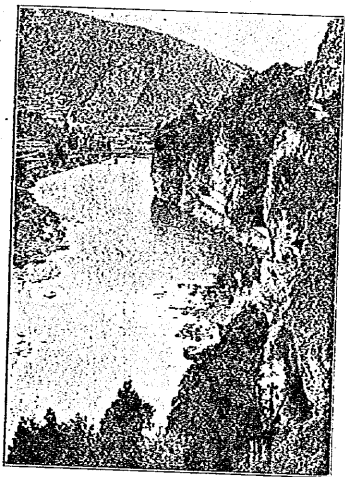
長崎縣 (1) 半島部は丘陵がちで、海岸線の出入著しく、近海は漁利が甚だ多い。長崎市は縣廳所在地で、開港場中最も古く、醫科大學や三菱造船所がある。島原半島には雲仙岳、東岸には島原がある。佐世保市は軍港で、第三海軍鎮守府がある。(2) 屬島のうち五島列島の近海は水産物に富み、福江、富江は漁業の中心をなす。壹岐對馬は日本海の口を扼し、對馬は特に水産に著はれ、嚴原の開港場がある。

熊本縣 (1) 熊本平野は縣の主要地で、肥後米や粟の産が多い。熊本市は白川に臨む舊城下町で、第六師團司令部、縣廳、醫科大學がある。宇土半島には開港場三角、球磨川の河口には木材の集散地、八代がある。(2) 東部から南部にかけては、一帯に山地で、北に阿蘇火山、南に

第十卷 九州地方

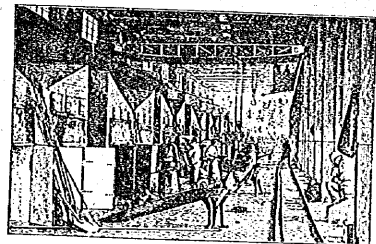
人吉盆地がある。鐵道肥薩線はこの南方の山地で一部ループ式線路となつて鹿兒島縣に入る。(3)天草島は二島から成り、無煙炭陶土を産する。牛深が第一の港である。

大分縣 (1)別府灣沿岸の別府市は溫泉に富む休養都市である。その東方の大分市は縣廳の所在地で交通上の一中心をなす。



馬耶溪 青洞の門(右)附近を示す。
集塊岩が水蝕を受けける此の奇景をなす。
くたつてのある。

東端に近い佐賀關には壯大な製鍊所があつて銅金の産出が多い。(2)國東半島には疊表の産多く、(3)周防灘沿岸には平野開け、中津市の南方には耶馬



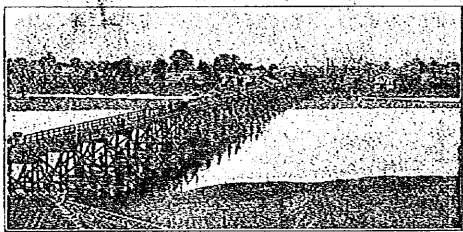
佐賀關製鍊所 我が國西部の諸鑛山の鑛石を處理するために設けられたものである。佐賀關港は數千噸級の汽船の出入自在で鑛石の運搬に便利なため此の地が製鍊所に選ばれた。圖は工場内部で粗銅を作る爐である。
(尋地一、一三四頁)。

溪の勝地東方には宇佐八幡宮がある。(4)豊後水道沿岸はリアス式の

の小灣に富み水産物セメント蜜柑を産し、臼杵佐伯等の港市がある。(5)西部は一帯に火山岩の山地で、所々に小盆地開く。その中日田盆地が最も著はれる。

宮崎縣 本縣は皇祖發祥の地であるが、海岸は單調で、山地多く、交通不便であるから、開發が遅れてゐる。宮崎市は大淀川の下流にまたがり、縣廳の所在地で、その上流に都城市、北方には延岡市がある。

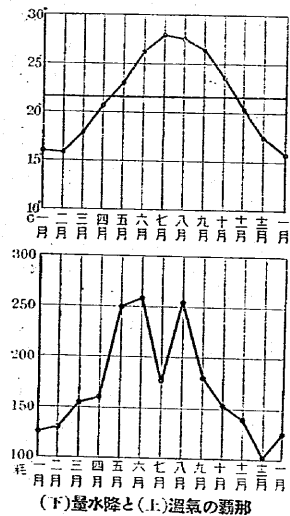
鹿兒島縣 (1)鹿兒島灣斜面の鹿兒島市は明治維新の功臣を輩出した舊城下町で、縣廳があり、開港場になつてゐる。北方の國分附近等には煙草を産し、霧島火山の裾野では牧馬が盛んである。南方の指宿附近は火山、溫泉に富む。(2)東支那海斜



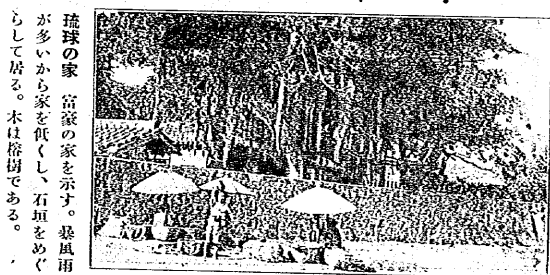
宮崎縣 大淀川にかけてある橋(長さ凡そ四百米を距てて宮崎の市街を望んだところである)
(尋地一、一四一頁)。

面には鹿兒島本線通じ、川内出水等の都邑をつらねる。本縣には金山多く、中にも串木野が著はれる。(3)太平洋斜面の有明灣頭には平野開け、志布志が其の中心都市である。(4)屬島のうち薩南諸島の種子島は砂糖を産し、屋久島は屋久杉の産を以て名高く、大島からは黒砂糖大島紬を出す。

沖繩縣 (1)北部に沖繩諸島(2)南部に先島諸島、(3)東部に大東諸島がある。氣候・亞熱帶性で、生物は本土と大異に、植物に榕樹は榕樹



植物に榕樹は榕樹



琉球の家 富嶺の家を示す。暴風雨が多いから家を低くし、石垣をめぐらして居る。木は榕樹である。

芭蕉等よく茂り、動物には飯匙倩沿岸には礁・珊瑚がある。農産は甘藷甘蔗蔬菜を第一とし、養豚も行はれる。産業が振はない割合に人口密度が大であるから、移出民が多い。

この地はもと琉球王の統治した所であるから、言語風習が内地と異なるものもあるが、今は概ね内地風に改まつた。那覇市は縣廳の所在地で開港場をなし、王城のあつた首里市と共に泡盛漆器等を産する。琉球海溝を隔てて琉球弧の東方にある北大東島からは燐礦を産する。

問 一、南北九州を比べよ。
題 二、琉球弧について調べよ。

第十一章 臺灣地方

臺灣は今より約四十年前日清戦役の結果我が國の領有となつた熱帯植民地で臺北に總督府を置き地方を五州三廳に分けて之を治める。又臺北には臺灣軍司令部を置き基隆澎湖島には要塞を設け澎湖島には海軍の要港を置く。

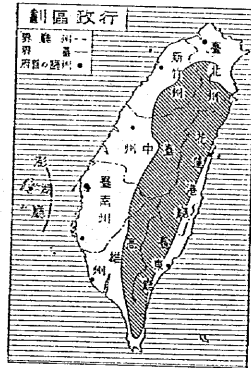
一、位置 臺灣は日本列島の南西端に位置し、西は臺灣海峡を隔て、支那と相對し、其の間に澎湖諸島がある。

南はバシー海峡を隔て、フィリピンに隣り、東は太平洋に、北は東支那海にのぞむ。

二、地形 高峻な臺灣山脈が中央から東に偏して、ほぼ南北に走り、我が國第一の高峯新高山を始め、三千米を超える高峯が少くない。その東側には海岸に低い臺東山脈並走し、又北端には

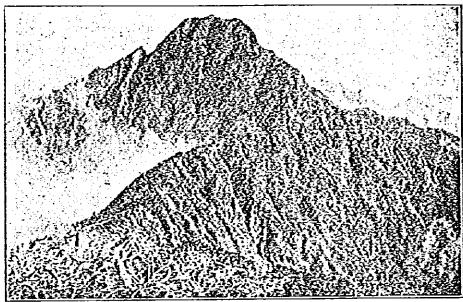


臺灣の地形



行政區劃

*貯水池と水路のことである。



新高山 我國第一の高で三九〇五米。熱帯の植物が上るに當り、北の山頂は圓い。見ると熱帯・温帯の植物が混在する。(頁四二、二地誌)のあであることを見

大屯火山群がある。臺灣山脈の東側は急斜して宜蘭平野臺東平野の小平野を見るのみであるが、西側は緩斜して廣い臺灣平野に移り、淡水河濁水溪下淡水溪の諸川この中を流れて浅い臺灣海峡に注ぐ。是等の諸川は、山地では深い谷をつくるが、平野に出ると急に河幅廣がり、砂泥を堆積し、多くは分流する。河流は季節により著しく増減し水運の便少いが、灌漑用の圳を設けて利用する。海岸は極めて單調で、東海岸は概ね絶壁をなし、西海岸は遠浅で、砂濱潟多く共に船を寄するに不便である。ただ基隆は自



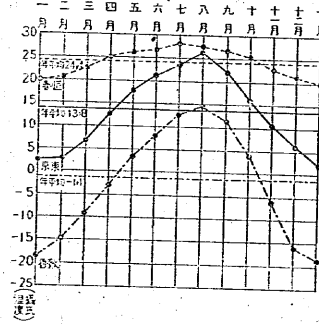
然の良港であるが高雄は潟を利用し築港によつて良港となつた。
三氣候生物 北回歸線に跨つて熱帶性氣候である。季節風によつて乾季・雨季の別生じ北部と南部とは反對になつてゐる。

實習 左の數字で二八頁のやうな氣溫降水量比較表を作つて説明を加へよ。

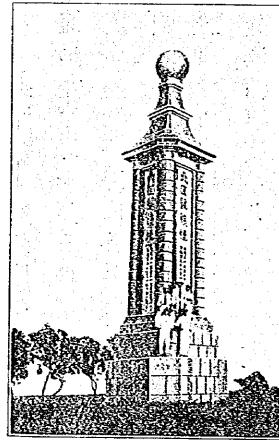
氣溫	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
基隆	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二〇
臺北	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	一九
臺南	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	一八
屏東	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	一七
降水量	三〇	二五	二〇	一五	一〇	五	二	一	一	二	五	一〇	一五〇

北回歸線標

較比溫氣の候氣帯寒・帶温・帶熱



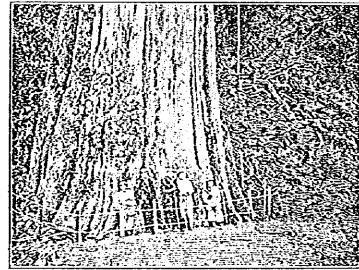
近附中央と端南北南國が我つよに國上の其と度温均年(1)の(京東・香敦・春恒)知を差の度温の冬・夏(2)。化變の同年一國が我(1)てつよに之。る來出がとこる冬が方の夏は差の度温の方地端南北南のに般一は太棒(3)。り知をとこい少もり上化變の度温の同年一もかし。くくひ度温。し示をとこるあて候氣帯寒てくき大が。もかしで温高に般一し反に之は灣臺(4)をとこるあて候氣帯熱で小化變度温の年を線曲の間中の者二前は京東(4)又。す示。す示をとこるあて候氣帯温しは現



植物は熱帶性を示し、山地には樟檜等茂り、平地には榕樹・檳榔・椰子・龍眼・芭蕉等、水邊にはマングローブがある。動物には家畜に水牛等がある。

人口の職業別

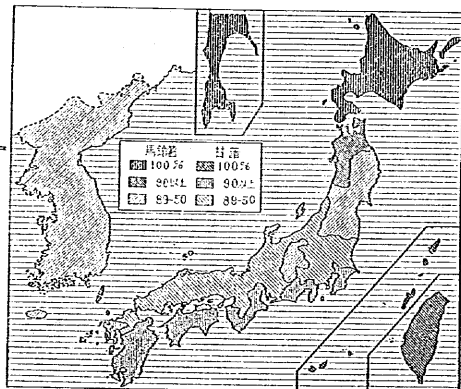
内勤人	公務自由業		工業	商業	交通業	其他					
	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
本職人	農		業	商業	工業	其他					
	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100



阿里山の巨樹 阿里山は新高山の西側に連なり一帯の大森林をなし、東西八軒、市北二十軒に互る。扁柏・紅檜・榿等を總督府の官督で伐採する(平地二、三二頁)。



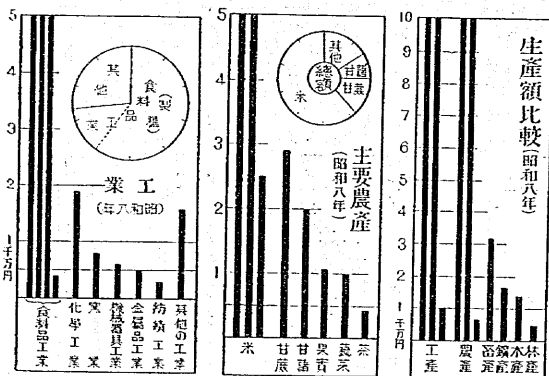
らせ培養に南以部中に主は(つ二の端右)且文 養果の臺灣州中臺は(つ二左のそ、梨樹)ルブナイバ。いよが味風れ二二地等及上左)ナナバ。す出積てしに詰縁で主が州維高準高しと地産主を州中臺で第一が額産中實果島本は(頁六二の下左)柑手佛。す出積く多へ地内き次に之州南臺・州中)販産。いもうとるすと漬糖砂は皮で種すの柑蜜は(つるへ加に中の子葉又しと用食を肉。い多に方地部南は(央



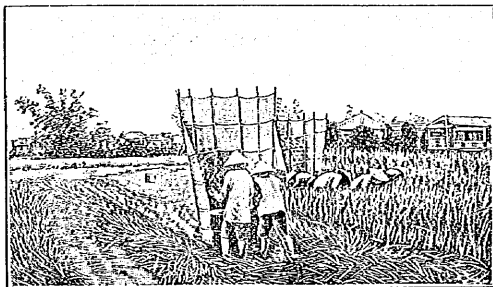
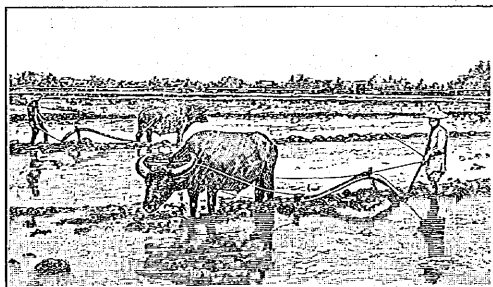
甘藷と馬鈴薯の二者を合せた各中割合%
占める割合を示す。

臺灣産業分布圖

四、産業 農業は主産業で、主として西部平野に行はれ、米、甘蔗、甘藷を三大農産とし、この外、果實、茶の産多く、豚の飼育が盛んで、水牛、家禽の飼養も行はれる。山地は森林に富み、阿里山等から良材を出す。樟より樟腦、樟腦油を製し、その産額世界第一である。鑛産は北部の石炭、金銅等名高く、中部の油田も有望である。西海岸は雨量少く、日射強く、風が多いから、天日製鹽に適する。水産業は北東部と南西



米作



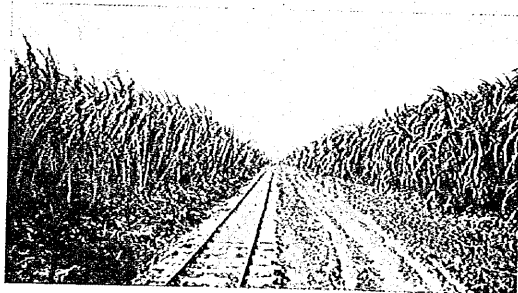
上圖は水田を耕すところ、使役する動物は水牛、下圖は收穫の状況である。米作は本島第一の作物であるから、灌漑の便ある所は大抵水田にする。多くは一年に二回の收穫がある。産出額八百萬石ほどで、移出は三百萬石餘六千餘萬圓である。(尋地二二八頁)。

茶



茶の栽培區域は比較的濕氣に富む中部以北の地方で、臺北新竹の二州を主とし、年數回葉をつみ、烏龍茶、包種茶、紅茶等に製造する。

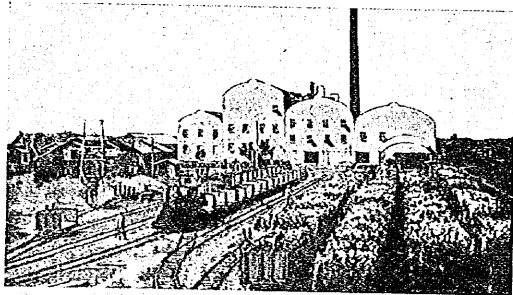
甘蔗園



甘蔗運搬(水牛使用)

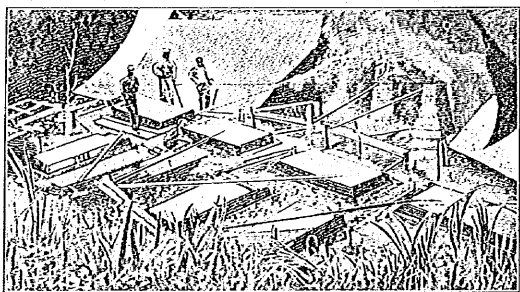


製糖工場



甘蔗は米につぐ農作物で、南西部が主産地である。日本領となつてから政府の指導によつて發達したものである。前は主にジャワ種を改良したものである。灌漑や排水の設備もよくつくつた。上圖は甘蔗の畑で、成熟すると刈りとつて貨車や、中國のやうにして工場に運び、工場でこれをしぼつて粗糖(赤砂糖)・精糖をつくり、主に内地に出す。内地の製糖会社はこの粗糖とジャワの粗糖とから精糖(白砂糖)をつくるのである。製糖業は臺灣第一の工業で、總生産額の六割を占めてゐる。(各地二、二九頁、三〇頁)。

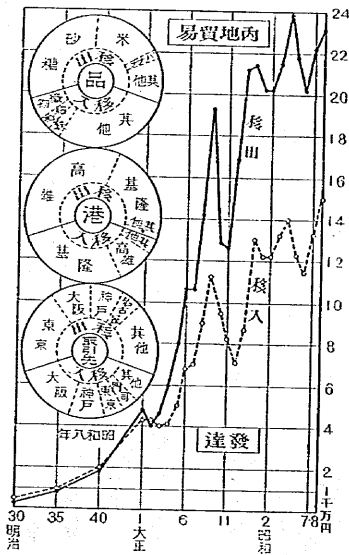
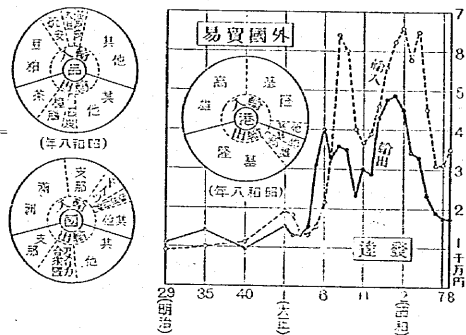
部に行はれる。工業も次第に發達し、砂糖を第一とし、その他茶鳳梨詰アルコ
ール樟腦及び樟腦油の製造が行はれる。



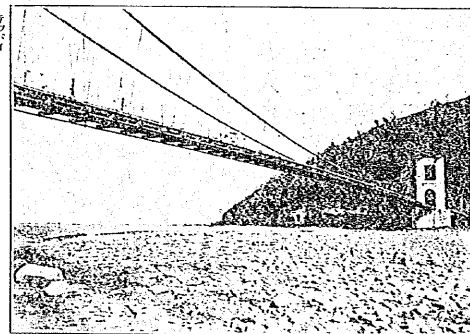
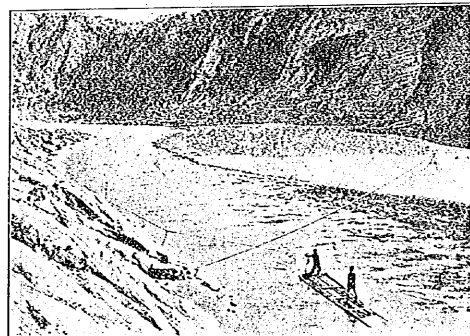
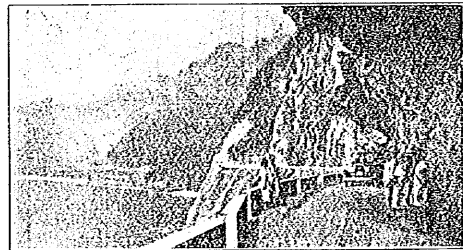
で産特の島本に殊洋東は腦樟 場工製粗の腦樟
防や用藥とも。るす出製で近附地山の部北部中
ロールセがたつか少が要需は頃たゐてつとなと用蟲
竹總は腦樟。たし増が要需に急來以明發のドイ
入を片木の樟に釜の方右の圖。るあで賣專の府
にめだ水の方左で管は腦樟たし發蒸とすむてれ
(頁一三、二地郊)るあでのま固てつ入



は法製。るあで南以部中岸海西は地産の鹽湯寮。鹽製日天
つ待をのるなくこの分鹽れ入に池鹽蒸を水海づ先で製日天
。るあでのるめしせ品精てし移に池品結を之て



商業は内地との取引が最も盛で、砂糖・米・バナナ・鳳梨・罐詰等を移出し、木材・乾鹽魚・織物・肥料・鐵等を入力する。外國貿易は滿洲支那米等との間に行はれ、茶・樟腦・石炭等を輸出し、豆・糟・硫酸・アンモニウム・大豆・黃麻袋等を輸入する。開港場のうち盛んなのは基隆・高雄である。五交通 在來の交通機關には内地と異なるものが多い。鐵道は西部の平野に發達し、基隆から高雄にいたる南北の縦貫線と數多の支線とがある。南西部の製糖盛んな地方には甘蔗運搬専用の私設鐵道

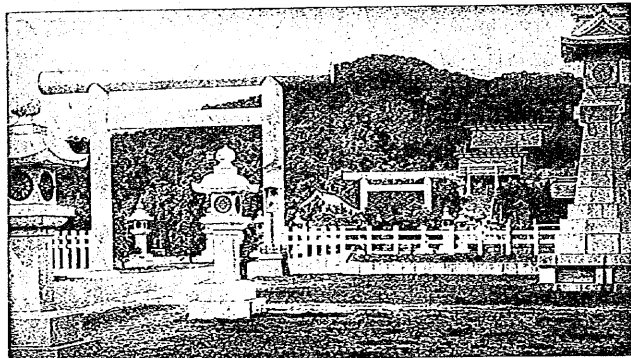


道路と鐵線橋 東岸の花蓮港・蘇澳間の陸路に二〇軒の良道が通じた。上圖はその一部である。下圖は其の道路のほと中央臺北州と花蓮港間の界を流れる大濁水溪の急流に架せる吊橋(長さ五五〇米)である。

竹筏 本島特有のもので全部竹で作る。動きが少く安値であるから各地で利用せられる。

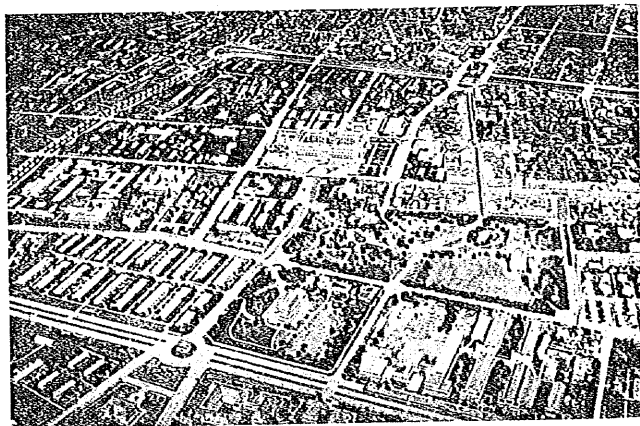
が多い。臺東平野には臺東線があつて自動車で花蓮港・蘇澳間を結んでゐるが、全島一周及び横斷鐵道はまだ出來ないので、東西の交通

臺灣神社



を命名彦少・命魂國大・命貴仁大で社大幣官るあに方北の場車停北臺
いよが翠展で煤高地土。るす祀奉を靈英の王親久能宮川自北故又り祖

臺北市場街



け設を道水上し築修を路道し正改を區市らかてつなに地領の國が我は市
か東を内城は國。たへのゝとを備設的化文のゆらあどなるず通を道水下
るず通に西らか(下左)門東の共りなと路道線三は跡壁城。ることた見ら
(頁五三・二地※)。るえ見が府省總にり當突の路道

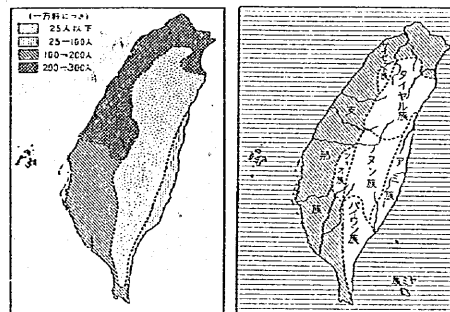
第十一章 臺灣地方

は不便である。

* 無線電話も内地との間に通じた。

汽船は本島沿岸及び内地南支那北支那南洋諸島との間を定期的に往來する。海底電線は淡水から長崎琉球福州(支那)に通じ、

支那族は西部の平野に密集するので、人口の密度が大きい(上左圖)。生蕃は主に山地に散在してゐるので人口の密度は非常に小さい。生蕃は七種ほどに分たれるが(上右圖)、最北部に住むタイヤル族は最も凶暴で(註)首(首がりの)の風がある。下圖はタイヤル婦人の機おりの状況である。(註地一、五頁)。



無線電信局は臺北等にある。六、住民 住民は總數五百餘萬、その中内地人は二十餘萬、蕃人は約二十萬、其の他は支那族で概ね西部の平野に住む。蕃人はその文化の程度によつて生蕃と熟蕃とに別ける。熟蕃約五萬人は山麓の地に土着し、支那族に同化して良民となつたが、生蕃は

く、間に北ひ負を山に面三の南西東は港隆基 港登基
ところすけづ横を船巨の級噸萬一でのた來出が港築
内が九菜蓬の船商販大は國。たつなにうやる來出が
(頁三三、二地球)のあで景光の前帆田へ地



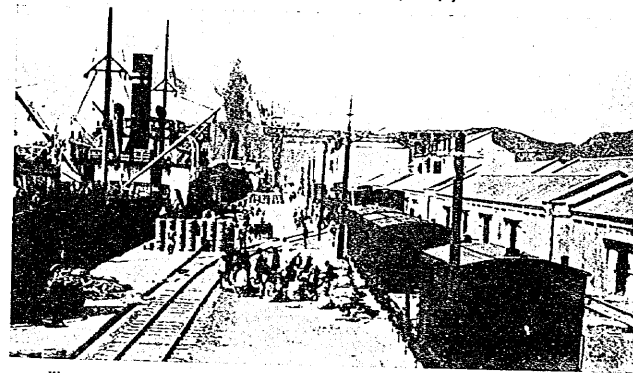
性兇暴で、中にもタイヤル族が甚しい。

七處誌 (1) 西部は本島の主要地である。基隆市は内地からの門戸、且、本島第一の開港場で茶樟腦



下軒の家。ゐると港前を平定安み富に蹟古で市都の古最島本は南臺。
局便郵は左。ゐるが臺も涼はに上のそ又しに便に行歩てしく廣を

壁 岸 の 港 雄 高



岸は船汽く多用積の等、ナバ糖砂米で港良の部南は雄高
(頁六二二地幸)。いよも絡連のと車汽てつなにつ横に壁

臺北から南すると新竹市臺中市彰化市がある。更に南方の嘉義市附近は製糖業盛んで、東方の阿里山の木材を集散する。臺南市は支那領時代の首都で、南部の大中心である。高雄市は基隆に次ぐ良港で、築港新に成り、砂糖米等の積出が多い。その東方に屏東市南端に近いところに恒春がある。

(2) 東部は交通不便で開拓がまだ進まないで、人口も少く産業も振はない。都市では北の宜蘭平野の宜蘭蘇澳、臺東平野の花蓮港臺東がやゝ著れてゐる。

(3) 澎湖諸島は海蝕で分離した臺地狀の低い火山島から成り、その中、澎湖白沙漁翁の三島は内に澎湖灣を圍み、灣内の馬公には海軍の要港を設けて臺灣海峡を守る。

問——我が國の熱帯植民地としての臺灣を調べよ。
題——臺灣と樺太とを比べよ。

第十二章 朝鮮地方

*内地の市郡(局)町村に當る。

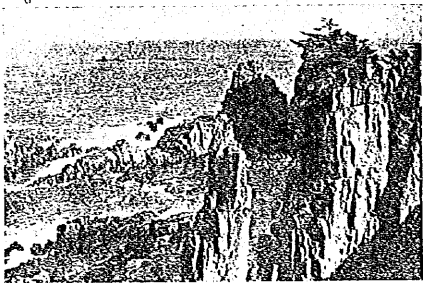
*長さは約八百軒、面積は本州に等しい(三頁)。

▲各地二、三八頁

朝鮮は我が國と古くから密接な關係があつたが明治四十三年、我が國と併合した。京城に朝鮮總督駐在して政務を統轄し、地方を十三道に分け、各道に知事を置き、道の下に府郡邑面がある。軍備は龍山に朝鮮軍司令部があつて、龍山と羅南に二個師團を備へ、又鎮海に要港を置く。地理上、南部慶尙全羅忠清各南北道中部京畿江原、黄海の三道、北部平安咸鏡各南北道の三區に分たれる。

一、位置 朝鮮は日本海と黄海との間に突出する東亞の一大半島で、鴨綠江・豆滿江を境として大部分は滿洲國に、一部はソビエト聯邦に連る。

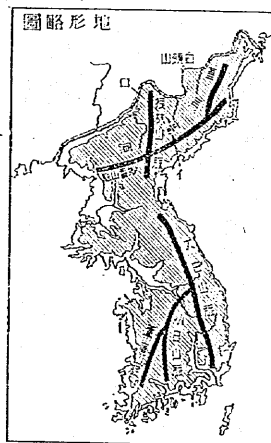
二、地形 一帯に山がちである。滿洲との界には長白山脈が北東から南西に連り、中には半島の最高峯白頭火山が聳える。その南方に蓋馬



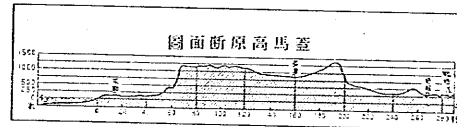
金剛山 朝鮮第一の名山で、花崗岩からなり、その節理(われめ)にそつて侵蝕され、種々の奇景をあらはす。圖は海金剛の一部を示す。

(各地二、三九頁)

下図は左圖のイロ線に沿つて作つた斷面圖で、約一キロの蓋馬高原の狀況がよくわかるのである。この高原は妙香山脈から北の方鶯綠豆滿二江にひろがる大高原で、西の方は表面やゝ不規則で高さ約六百米である。尙大山山脈とそのつゞきの狼休山脈とは半島の主な分水界をなしてゐる。



圖面断原高馬季



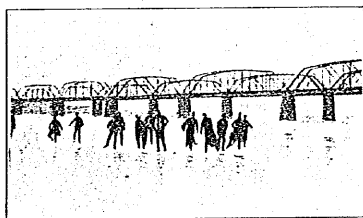
高原がある。南部は大山脈東岸に沿うて縦走し、北端に近く金剛山がある。川は、北境の鴨綠江、豆滿江の外、漢江、錦江、洛東江が何れも四百糎以上の長流である。中にも鴨綠江は、長さ約八百糎、我が國第一の長流で、流域に森林地を控へる。その他の諸川の沿岸には小平野所々に開け、農業が盛んで、交通も割合に便利である。

實習 主な河と分水界とを圖示せよ。

著しい出入はないが、西岸と南岸は出入や島嶼が甚だ多い。しかし西岸は遠浅で潮汐の干満が大きいので仁川港には閘門式船渠（ドック）がつくられてゐる。

一三六

※ 葬地二、四三頁

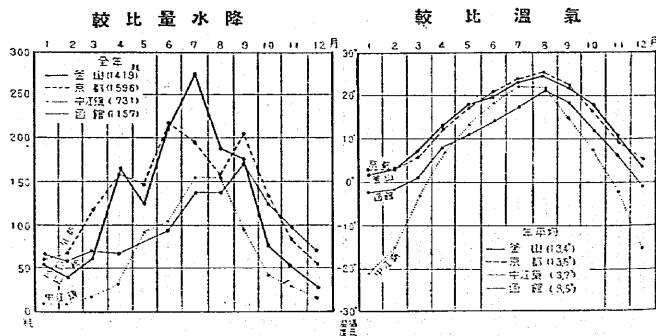


ケ三二冬はで北以部中の鮮朝 結氷の江漢
 の來田が來往の馬人てつ凍が水河間の月
 突温らかい寒に様のこは冬の鮮朝 。るあで
 。るくつに内室を備設寒防ふいと(ルドンオ)

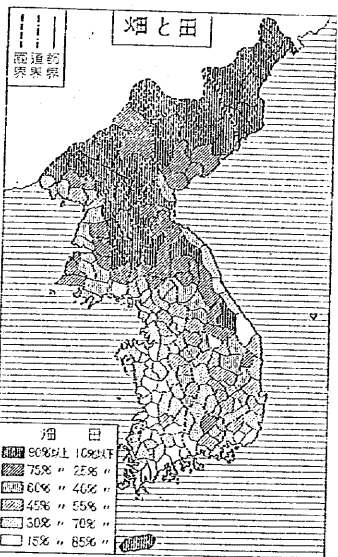
三氣候¹⁵ 南は海洋性
氣候であるが北する
に従ひ次第にアジア
大陸の影響をうけて
内陸性氣候となり、寒
暑の差甚しく、一般に
雨量少く、且冬は北部
の河や海岸が凍る。

四、産業

を始め、大豆、麥類、煙草^{*}等の産多く、開城附近の人蔘、南部地方の綿も名高い。家畜は牛豚の飼養が第一で、皮革はその重要物産である。山地は多いが、林業は鴨綠江、豆滿江流域に

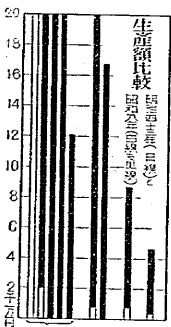


べ比をと地二の地内の度緯同と之と地二の端兩北南の鮮朝
候氣性洋海てくな差大と都京は山笠の方南。るあでのもた
るあで候氣性陸内とるべ比に館爾は鎮江中の方北がるあで

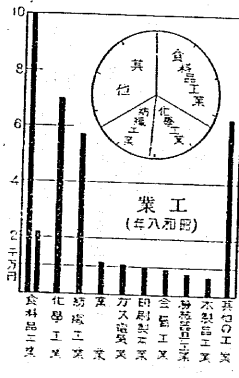


* 各地二、四六頁
* 各地二、四七

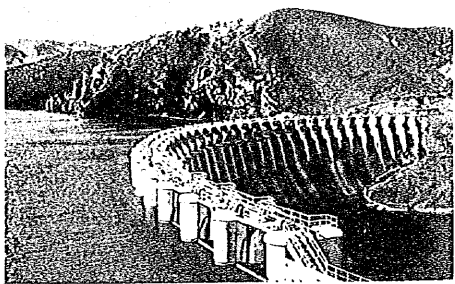
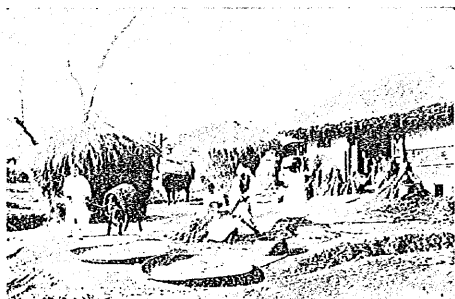
西岸の石首魚等を主とし、又西岸では天日製鹽が行はれる。工業は従来ごく幼稚であつたが近年内地人の手によつて次第に



行はれるだけである。鑛産は金石炭、鐵、黒鉛を多く産する。近海は地形海流等の關係で、水産に富み、東岸の鯷、明太、魚、鯨、南の鮑、鰯、岸の鯖、鰯。

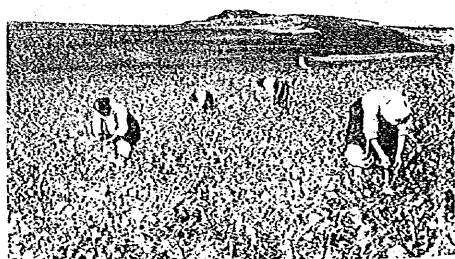


米の收穫 地形氣候の關係で南部中部には米の産は多いが北部には少い。昭和八年の産額一千八百餘萬石その内移出は約八百萬石に上る。左圖は農家の米收穫の状況である。



貯水池 灌溉工事がだんだん各地に出来て米の産出が多くなつた。右圖は全羅北道の全州の西方にある貯水池である。

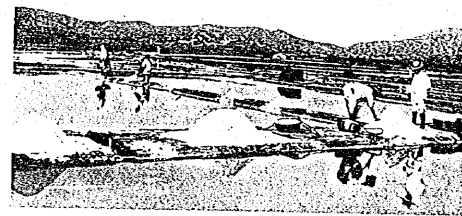
人参 人参は古くより藥用として尊ばれてゐる。左圖は開城の人参畑を示す。草薺を並べて多くの根を作らせる。人参は總督府の專賣品である。(各地二・四四頁)



綿 是成鏡南北道以外殆んど到るところに栽培されるやうになつたが全羅南道慶尙南北道及び平安南道が其の主産地である。右圖は綿を收穫してゐるところである。



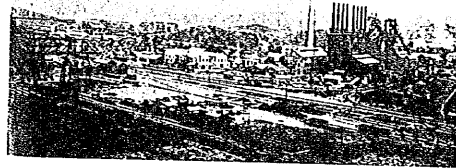
釜山の魚市場 釜山は漁業の中心にあるので魚類の集散が多い。右側の市場に集まるタヒサハラ・ヒラメ・アジ・サバ・ブリ・タチウオ等を鮮内内地満洲等に送る。



興南製肥料會社 興南は成興（成鏡南道）の南東海岸にある。この工場では、鴨綠江上流の赴戰江・長津江の水を日本海方面に落して得た電力を用い、水・空氣・硫化鐵・燐礦石を原料として人造肥料（硫酸アンモニア）等を製出する。

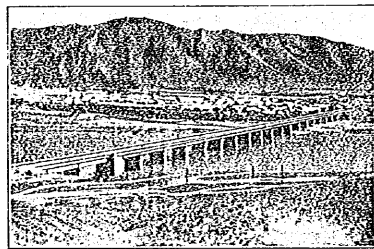


釜二浦製鐵所 釜二浦は平壤と鎮南浦の間にあつて大同江に臨む。左側はその製鐵所で黃海道に産する鐵礦を原料にする。



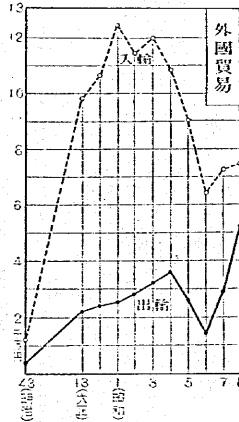
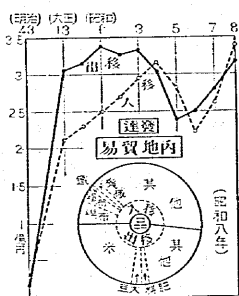
一四〇

*各地二四八頁



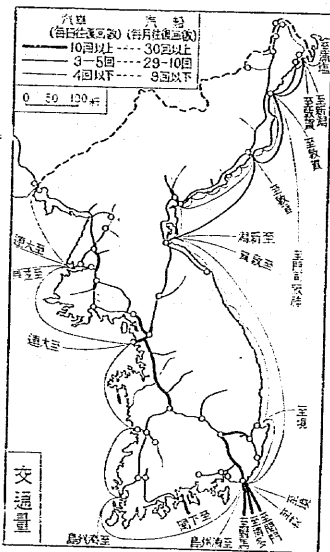
橋鐵の江滿豆

新式の工業が興つた。商業は各地の定日市でも行はれてゐるが、だんだん常設の商店が出来た。

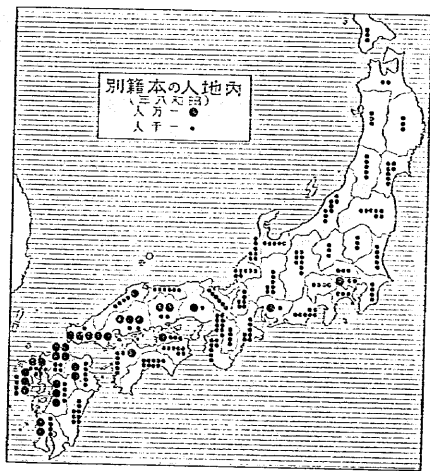


内地及び外國との取引は年々盛大になり、ことに内地との取引最も多く、農産物（大豆・小麦・高粱）・工業物（肥料・水産物）・織物（絹・綿）等を内地に移出し、綿布其の他の織物等を入る。

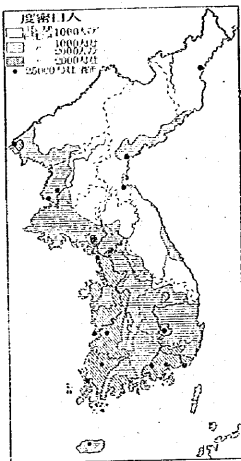
五交通 京釜京義の二線は半島を南北に縦貫する鐵道の大幹線で、南は連絡船で山陽線、北は鴨綠江の鐵橋で南滿洲



朝鮮鐵道線等がある。主要道路も次第に改修され定期自動車も通じて交通の便がよくなった。汽船は釜山仁川鎮南浦元山清津羅津雄基等を中心とし沿岸各港を連ねまた内地滿洲支那ウラヂ



鐵道の安奉線に連絡する。又京城より北東に連る京元線咸鏡線北鮮線は豆滿江の鐵橋で滿洲國の京圖線に連絡する。其の他湖南線慶全線東海線



半で操一たいひに東南から西北がれると分等二いほは積面の島つな合割の五・三と一は口人闊のと度密口人と形地。るゐて。よ見を係

よく似てゐる。教育も次第に面目を改め學校の設備も漸く整つた。移住内地人は、その數五十餘萬、多くは都市に住む。
七、處誌 (1) 南部 慶尙全羅忠清各南北道所謂三南の地で、氣候は半島

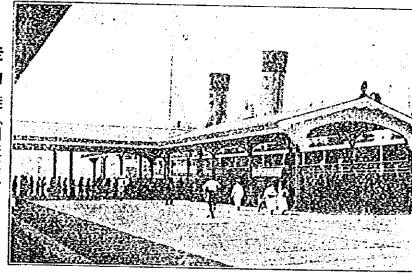
ポスト、クとの
航通も行はれ
てゐる。
六、住民 住民
は、總數二千餘
萬、密度は北東部に小さく南西部に大きい
が、全半島を平均すると内地の半に過ぎない。
固有の朝鮮人は容貌體格等内地人に

(族家の流上) 人鮮朝

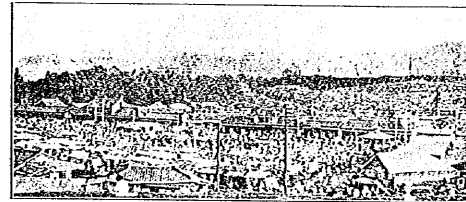


濯洗の人婦鮮朝

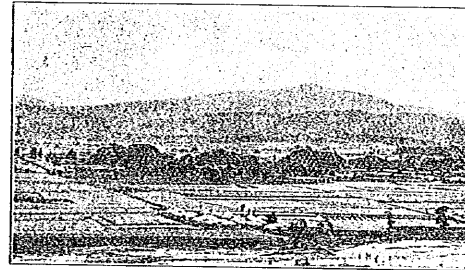
中最も海洋性で、土地割合に開け米綿等の産多く、人口密度も高い。南東端の釜山は内地との交通貿易上最も大切な半島第一の開港場で、貨客の出入が甚だ多い。鎮海灣内には鎮海馬山の良港がある。鎮海は海軍の要港である。大邱は洛東江流域の中心市場で農産物の集散多く、春秋の大市に名高い。その東方の慶州は新羅の舊都で古蹟に富み、北西の大田は米作の一中心をなす。その北方の清州は忠清北道の中心、西方の扶餘は百濟の故地である。



釜山港 (釜山連絡船) (釜山港)

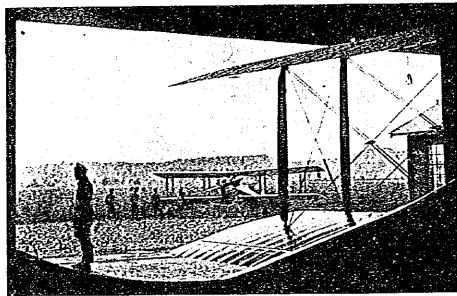


(頁〇五・二地尋) 市大の邱大

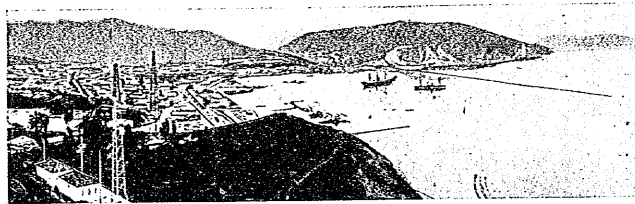


るえ見が群墳古の内地盆。底た見らか西 州慶

の集散多く、春秋の大市に名高い。その東方の慶州は新羅の舊都で古蹟に富み、北西の大田は米作の一中心をなす。その北方の清州は忠清北道の中



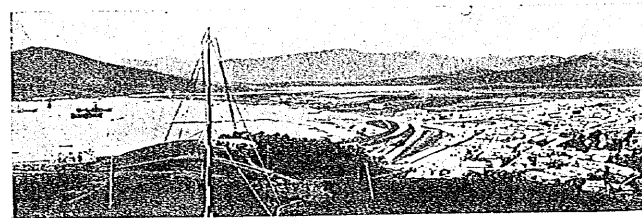
飛行場(左) 大同江の東岸にある飛行機隊のもので、旅客機も茲に着陸する。背景は大同江對岸の牡丹臺一帯の丘陵で、平壤市街の北端にあたる(尋地二、四〇頁)。



るみでん園が堤波防を灣津清たれら守を方東に(方後右)島半抹高 港津清

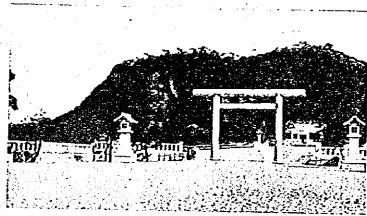


經港築の銀線に(方西)方右の川津羅たれき修改の央中 港津羅
るえ見てつな重が島草小・島草大はに日灣。るみてし行進が替

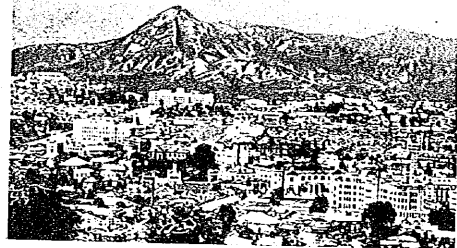


るれら見が街市道鐵港へ右らか左 港基雄

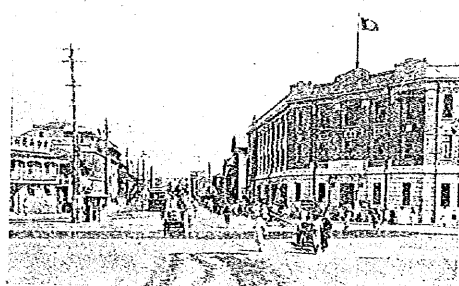
朝鮮神宮 京城の南山にある官幣大社で天照大神及び明治天皇を祀る。外苑からの眺めがよい。



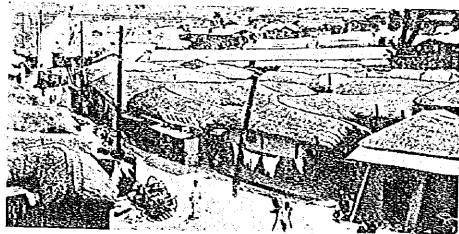
京城の全景 三角形の北岳山の麓に見えるは朝鮮總督府で、その前の通りを南する(國の左下へ)京城府廳と徳壽宮とが相對して居る。



京城の黄金町通 南大門通から東に見たところで、右角の建物は日本生命保險會社のビルヂングである(巻二、五二頁)。



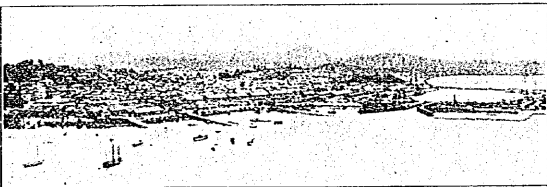
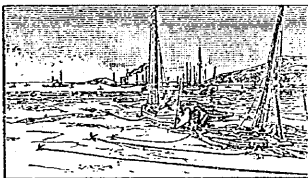
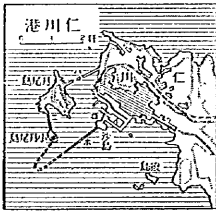
京城の僻人街 露伴の家が狭い道の兩側に並んでゐる。上の圖と比べて新舊市街の著しい對照を見よ。



* 卷二、四三頁

西岸の群山木浦の二港は夫々小平野の門戸をなし、米綿の積出多く、又近海漁業の中心をなす。全州と光州は夫々道廳の所在地である。

仁川港 朝鮮第二の貿易港であるが満洲の干満の差は十米以上に及ぶことがあつて我が國第一である。中國は干潮時の有様で右は月尾島左は小月尾島大船は六軒の沖で荷役をしなければならなかつたから、度三池港と同様に上國の(イ)のやうな開門式のドック(面積三萬坪水深八米餘四千噸級の船三隻を横付け出来るを設け、(ロ)の部分をさらへ(ハ)(ニ)(ホ)に防波堤を造つて之を護る。下圖は港の大觀である(卷二、四一頁四二頁參照)。



(2) 中部 京畿江原黃海三道の地である。江原道は概ね山地であるが、他の二道は平野所々にひらけ、殊に京畿道は久しく半島の中心をなしてゐる。京釜線に沿ふ水原には農事試驗場高等農林學校があつて農事改良の中心である。京城は李朝五百年の舊都、朝鮮第一の大都市で、半島の政治文化交通商工業の大中心である。その一部の龍山には第二十師團司令部置かれ工業も盛んである。

西方の仁川¹⁴⁷は半島第二の開港場で、閘門式船渠の築港が出来て、從來の不便を除いた。京城の北西の開城は高麗の舊都で、人蔘の産地として著はれてゐる。黃海道は鐵金の産に富み、兼二浦には製鐵所があり、海州には道廳がある。又、江原道の首都は春川である。

(3) 北部 (イ) 北西部は平安南北道の地で大同江流域が主要地をなす。平壤は流域の中心都市で、附近からは石炭を産し、水陸交通の要點に當り、商工業が盛んで、その門戸には鎮南浦の開港場がある。平安北道には雲山大楡洞等の金鑛がある。新義州は鴨綠江を隔てて滿洲の安東に對する開港場で、營林署の製材所がある。

(ロ) 北東部は咸鏡南北道の地で大部分は蓋馬高原に屬し、海岸附近が主要地をなす。元山は東岸中部の開港場で、その北には咸興、清津、羅南、羅津、雄基等がある。羅南は第十九師團司令部の所在地、清津、津雄基の三港は滿洲の東の門戸をなす。

問題 植民地としての朝鮮の價值如何。

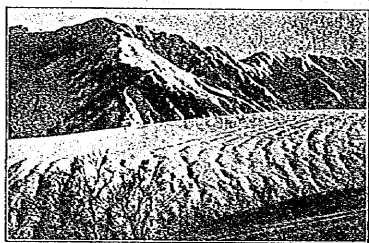
* 尋地二、四五頁

第十三章 總說

第一節 地文

一 地形 日本列島及び朝鮮半島は山や丘陵が到る所に起伏し、河や平野の大きなものが少い。

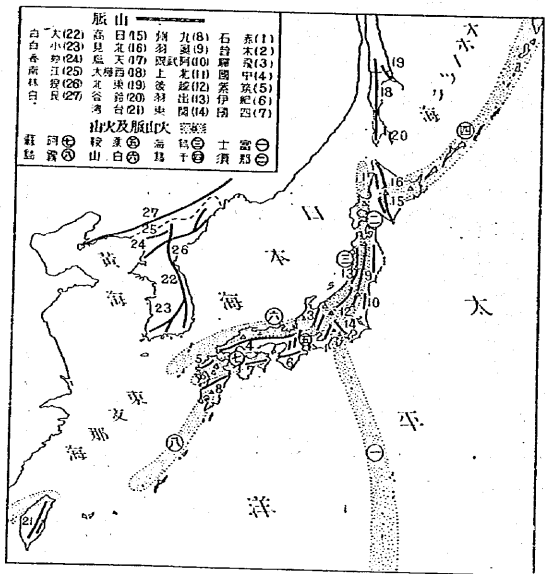
山脈と火山脈 日本列島を造る主な山脈は中央部に噴出する富士火山脈を界として北彎・南彎の二山系に分たれる。北彎は樺太から南に延び、北海道に蝦夷山脈を起して本州に入り、北上山脈、阿武隈山脈、奥羽山脈、越後山脈及び關東山脈等の低い山脈となる。南彎は外帶・内帶の二列から成り、九州山脈、四國山脈、紀伊山脈及び赤石山脈は外帶に屬し、筑紫山脈、中國山脈、飛驒山脈は内帶に屬する。是等の山脈中、飛驒山脈は最も高峻で、三千



(居日大と原ヶ陀彌)山立

米以上の高峰が少くない。

以上の山脈の外日本列島には火山の噴出頗る多く縦横に通ずる



日本列島の火山及び山脈

數多の火山脈がある。中にも著しきは富士火山脈で、脈中の富士山は單式火山の標式的の形をなし、長い裾野をひいてゐる。その他、北日本には千島、那須、島海、の諸火山脈、南日本には白山、阿蘇、霧島の諸火山脈がある。これ等の中には今尚活動するものもある。

我が國には火山活動以外に、地震も多く、火山學、地震學の研究資料が豊富である。又温泉多く療病等に用ひられる。

臺灣の主な山脈は臺灣山脈、朝鮮半島の主な山脈は大白山脈、妙香山脈等である。

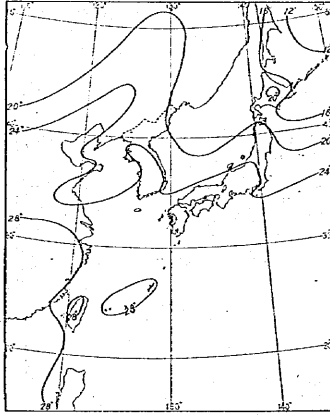
河と平野 何れも大なるものなく、且急流のため水運の便は少いが、發電灌漑に利用せられる。北日本中その主なものは、石狩川とそれに養はれる石狩平野や山脈の間を流れる北上、阿武隈、信濃等の諸川である。尙この地域の南部には我が國最大の關東平野があつて、利根川斜に之を貫流し、交通灌漑の利が多い。南日本には本曾、淀筑後の諸川があつて濃尾、山城、大阪、筑紫の諸平野を養ふ。

臺灣には西部に濁水溪等の流域に大平野がある。朝鮮には四百軒以上の川が六つもあるが到るところ山がちで大平野はない。

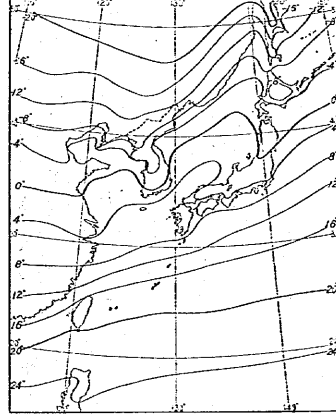
湖沼中、琵琶湖、霞浦等は舟運、漁業灌漑の利が少くない。

二、海岸近海 我が國は島と半島とからなるから海岸線が頗る長い。湖沙干満の差は各地一樣でなく、仁川附近が最大で十米に及び、佐渡では三分の一に過ぎない。

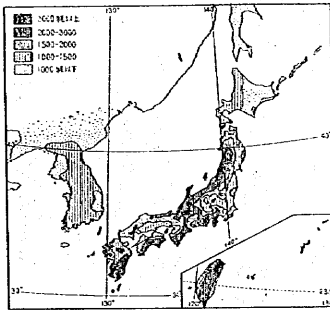
線温等月七



線温等月一

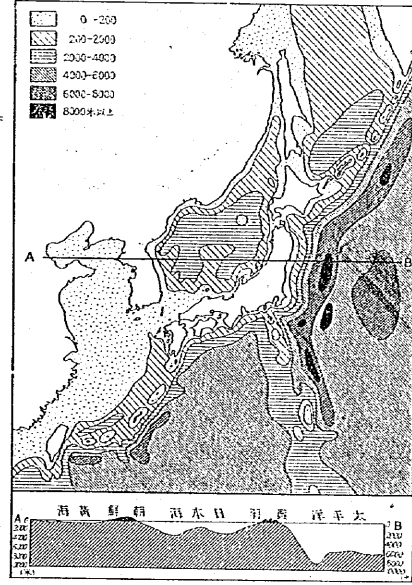
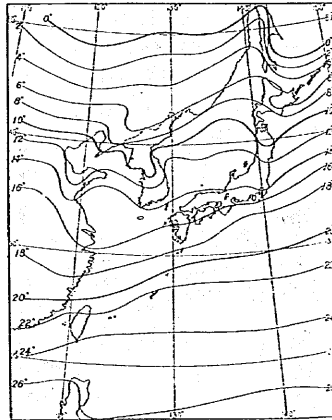


量水降年

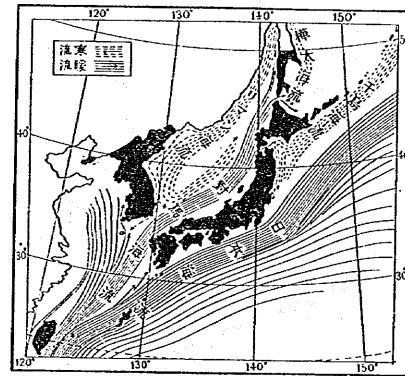


べ比と圖布分雪積の頁〇六
か係關の向風・流海ほ向。よ
よせ明説を圖のこら

線温等年



度深の海近本日



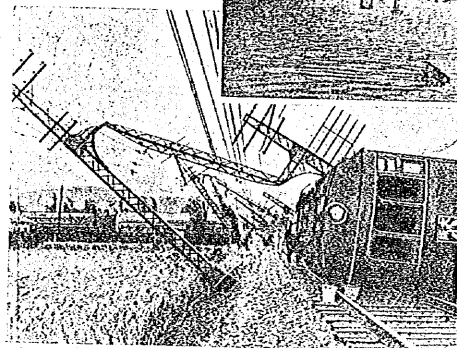
流海の海近本日

沿海には寒暖の二流がある。日本海流は一名黒潮といひ、その支
流對馬海流と共に暖流に屬し、千島海流は親潮といひ、リマン樺太の
兩海流と共に寒流に屬する。これ等の海流は氣候水産等に關係す
ることが大きい。

三、氣候 臺灣の一部を除く外は溫帶に位し、氣候概して溫和である。



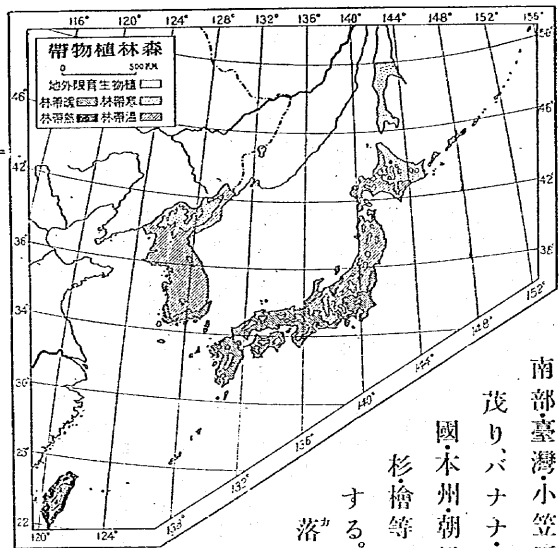
水害(上) 昭和十年六月二十九日朝、京都では夜來の豪雨で加茂川が溢れ、三條・五條等大多數の橋は落ち河畔各所に浸水した。國は四條通市屋前の光景である。



風害(下) 昭和九年九月二十一日朝大阪附近を襲つた稀有の颱風で大阪行急行の大軌電車や電柱が吹き倒されてゐるところ。(布施驛附近)。

しかし土地南北に廣がり、地形複雑なる上に寒暖二流の影響をうけるから氣候は各地一樣でない。風は夏季、偏南風が吹いて太平洋岸に多くの雨を降らし冬季は反對に偏北風多く日本海岸地方に雪をもたらず。雨季節風の交代する初秋の候には、時々颱風襲ひ豪雨を伴つて災害を及ぼす。

四、生物 我が國は生物の發育に適し、氣候・地形が多様であるから、その種類が甚だ多い。植物の分布を見ると琉球列島の



頗る多い。

南部臺灣・小笠原諸島には熱帶性の榕樹・林投・樹楨榔等

茂り、バナナ・パイナップル等の果實を産する。九州・四

國・本州・朝鮮には暖帶及び溫帶性の櫟・樟及び榲桲

杉・檜等の樹木、蜜柑・桃・梨・葡萄等の有用果實を産

する。北海道樺太には寒帶性の蝦夷松・樅松

落葉松の森林がある。

動物は植物の如くその變化著しくない。

北海道・本州・朝鮮には馬・牛・豚の如き有

用家畜飼はれ、臺灣には水牛を役使す

る。尚朝鮮には虎、北海道樺太には熊

がある。外北方近海には鰻・鰔・鰒等がある。

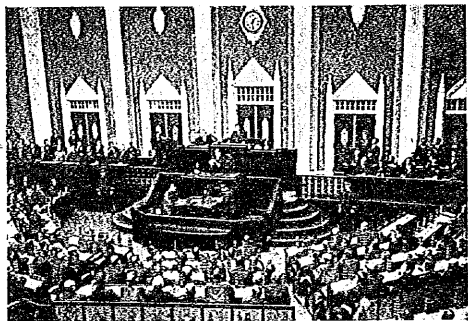
近海は諸種の魚族に富み水産が

第二節 人 文

一、住民 大和民族はアジャ人種中の最優等種族で國民の大部分を占め、忠君愛國の精神に富み、夙に支那、印度の文化を入れ近く西洋文化を輸入して、今やその文化はヨーロッパ種族に劣らない。この他、朝鮮族、支那族、アイヌ族等があつて、言語風習等を異にするが、次第に大和民族と同化するやうになつた。

人口は總數約一億萬人を數へる。その内、内地は約七千萬人で、平均密度一方、約百八十一人である。尙人口の増加も著しく、内地だけで年々九十餘萬人増加する。従つて移民の必要が大であるが、在外内地人は僅に九十萬人に過ぎない。

宗教中、佛教は最も弘く行はれ、神道キリスト教を信ずるものこれに次ぐ。國民は敬神の念厚く、神社が甚だ多い。教育はその制度よく整ひ、初等中等高等教育の機關よく完備し、その普及學藝の發達、日



衆議院の議場

を逐うて盛んである。

二、政治 我が國は上に萬世一系の天皇を戴く立憲帝國で、國體の美なることは世界萬國にその比を見ない。

天皇は萬づの政を總べさせ給ひ、その下に立法行政司法の三機關が設けられてゐる。

立法部 立法部は貴族院と衆議院とから成る帝國議會で、主に法律案及び歳計を審議する。

行政部 中央政府に内閣及び内務、外務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、農林、商工、逓信、鐵道、拓務の十二省がある。内閣總理大臣は各省の大臣と共に内閣を組織し、政務を執る。

地方は三府、四十三縣、北海道、樺太、臺灣、朝鮮に分ち、府縣に知事、北海道樺太に長官、臺灣及び朝鮮に總督を置いて、地方の政務を掌らしめる。又關東州租借地と南洋委任統治地とは各、長官を置く。

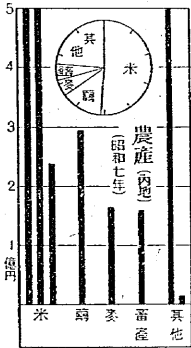
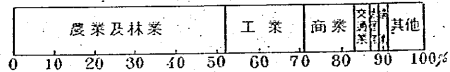
司法部 裁判所はその機關で、區裁判所、地方裁判所、控訴院、大審院の階級がある。臺灣、朝鮮、關東州、南洋には特別の司法制度がある。軍備 我が陸海軍は大元帥陛下の統率し給ふ所で、徴兵制度を布く。陸軍は内地に十四師團を配置し、別に東京に近衛師團を置く。又朝鮮には二個師團、臺灣、滿洲及び北支那には守備隊を駐屯せしめる。海軍は帝國領海を三區に分ち、各區に一個の軍港を設け、軍艦を配屬して警備せしめる。その他國防上重要な地には要塞、要港等の設備がある。

我が國は列國と對等の條約を結び、その數は五十餘國で、概ね互に大使又は公使を派して國交を修める。又別に要地には領事を置いて、通商及び居留民の保護に當る。

財政は國勢の發達に従つて膨脹し、歳出は約二十二億圓になつてゐる。國債の額も少くない。

三、産業 我が國は古來農を以て本とし、國民の過半は之に従事する。

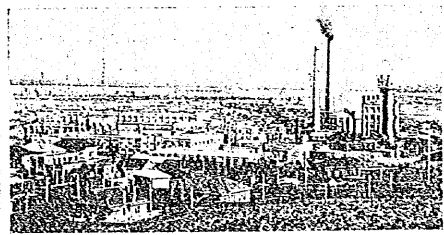
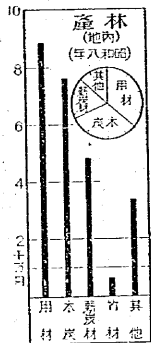
(地内) 割合の人口別業職



しかし耕地が割合に少く、農産も人口に比べて少いから、外國から輸入する農産物が少なくない。農業用肥料の國産も多くなつたが、輸入額も少くない。養蠶業は著しく發達し、殊に中部、關東の諸地方に盛んである。従つて生絲、絹織物の産額多く、中にも生絲の輸出高は世界第一で、支那の上に位する。

牧畜業は發達しないので、羊毛、皮革等は外國から多く買ふ。

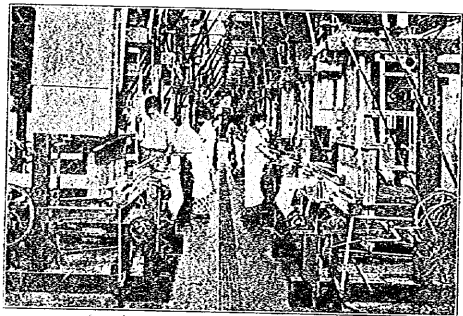
我が國土の半は森林で、杉、檜、松類の産が多い。しかし、なほ多量の木材を輸入する。



(最須惠の太樟) 場エブルバ

木材を原料とするバルブ及び製紙業は近年北海道樺太に發達した。

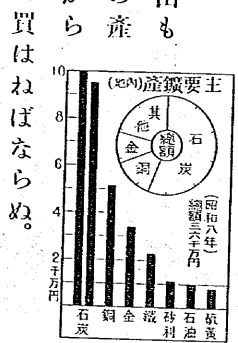
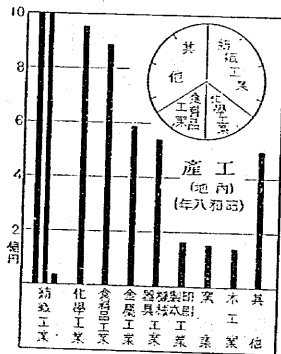
水産業は甚だ有望で、漁區南北に擴がり、その生産額世界第一で支那南洋等に輸出する。



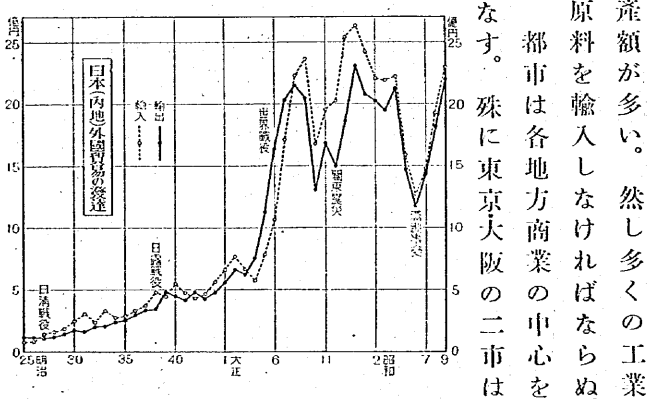
(生田縣馬群) 場工織絹

輸出する。

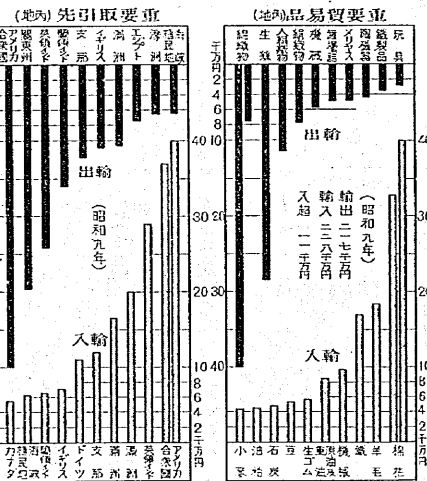
鑛産の第一は石炭で輸出もされる。しかし鐵鑛石油の産出額が少くて、多量に外國から買はねばならぬ。



工業は近時急速の進歩をなし、大規模の工場各地に起り殊に東京大阪名古屋附近及び北九州は主な工業地帯で、製品の種類や



産額が多い。然し多くの工業原料を輸入しなければならぬ。都市は各地方商業の中心をなす。殊に東京大阪の二市は



國內商業の二大中心で名古屋も近時勃興して中部の中心となつてゐる。外國貿易は内地は四十餘の開港場で行はれ貿易額年々増加し輸出入總

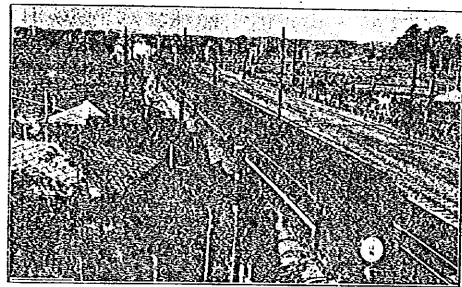
額は昭和九年には約四十五億圓に達したが、世界戰役後は著しい輸入超過である。そしてその輸出品の多くは製造品で、輸入品の多くは原料品である。

開港場中、最も盛んなのは神戸大阪横濱で、輸出入額の凡そ八割を占める。

朝鮮の貿易額は約一億圓、臺灣の貿易額は約七千萬圓である。

四交通 内地の道路は國道及び府縣市町村道に分つて次第に改良せられ、自動車も到るところに通つてゐる。

鐵道の發達は近年著しく、内地の總延長二萬餘軒に及び、その大部分は國有である。この他朝鮮に四千軒、臺灣に一千五百餘軒、樺太に六百軒、南滿洲には千餘軒の鐵道が



(車列行急最る走を道海東)「めぼつ 急特
(近附驛澤藤縣川奈神)

ある。又、主要都市とその附近には大抵電車がある。

海運も近年長足の進歩をなし、汽船の總噸數四百餘萬噸、世界第三の海運國である。日本郵船會社、大阪商船會社等は沿岸航路は勿論、滿洲支那、シベリヤ、南洋、オーストラリヤ、印度、ヨーロッパ、アフリカ、南米、北米に航路を開いてゐる。

郵便、電信も萬國聯合に加はる外、その機關よくと、のひ主要都市には電話の架設せられぬところなく、次第に長距離に通じ、無線電信、無線電話は世界的に利用せられるやうになつた。

航空路も次第に開かれて、定期の旅客輸送も行はれるやうになつた。

女子新地理教科書 日本地理篇終

附
錄

甲、舊道別と國名

畿內	山城	大和	河内	和泉	攝津
東海道	伊賀	伊勢	志摩	尾張	三河
東山道	近江	美濃	飛驒	信濃	上野
北陸道	若狹	越前	加賀	能登	越中
山陽道	播磨	美作	備前	備後	安藝
山陰道	丹波	丹後	但馬	因幡	伯耆
南海道	紀伊	淡路	阿波	讃岐	伊豫
西海道	筑前	筑後	豐前	豊後	肥前
北海道	渡島	後志	石狩	天鹽	北見
					釧路
					根室
					千島
					琉球

乙、行政區劃・面積・人口・都市

一、樺太地方

面積 三六〇九〇方呎

人口三三萬

人口密度(一万人)

都市（内地は市、印は行政上の中心）

●豐原(三・五) 敷香(二・九) 惠須取(二・七)

大泊(二・四) 眞岡(二・九) 知取(一・八)

落合(一・五) 泊居(一・三) 本斗(一・二)

附錄

支庭眞圖・泊居・元泊

數香

二、北海道地方

面積 八八七五方町

人口 三〇七萬

人口密度 三五人

石狩・後志・
檜山・渡島・釧路・
日高・室蘭・上川・
留萌・宗谷・網走・
十勝・釧路國・根室

三、奥羽地方

面積 六六九二方町

人口 六九八萬

人口密度 一〇四人

府 縣 名	管轄區域	面積 方町	人口
福島縣	岩代・磐城の大部分	一三七八二	一五八萬
宮城縣	陸前・陸奥の大部分	七二七四	一二三萬
岩手縣	陸前・陸奥の大部分	一五二三五	一〇五萬
青森縣	陸奥の大部分	九六三一	九七萬
秋田縣	羽後・羽前・陸奥の大部分	一六六四	一〇四萬
山形縣	羽前・羽後の一部分	九三二六	一一二萬
四、關東地方		面積 三三二六方町	人口 一五二七萬
東京府	武蔵一部分 伊豆・七島・小笠原諸島	二四五四 六三七	東 京(五八七・五) 八五子(五・九)

神奈川縣	武蔵の一部分・相模	二三五三	一八四萬	横濱(七〇・四) 横浜(八・三)
千葉縣	武蔵の大部分	五〇六二	一五五萬	千葉(五・七) 鎌子(四・八) 市川(四・七)
埼玉縣	武蔵の一部分	三八〇三	一五三萬	浦和(四・四) 川口(五・四) 熊谷(三・八)
群馬縣	上野	六三三六	一二四萬	前橋(八・七) 桐生(七・六) 高崎(六・四)
栃木縣	下野	六四三七	一二〇萬	宇都宮(八・七) 足利(四・九)
茨城縣	下野の一部分	六〇九一	一五五萬	水戸(六・四)

五、中部地方

面積 六六七三〇方町

人口 一二六〇萬

人口密度 一八九人

静岡縣	駿河・伊豆の大部分・遠江	七七七〇	一九四萬	静岡(二・〇) 沼津(五・〇) 濱松(三・三)
愛知縣	尾張・三河	五〇八一	二八六萬	名古屋(二〇・八) 豊橋(四・二) 岡崎(七・七) 大宮(五・三) 瀬戸(四・八)
岐阜縣	美濃・飛騨	一〇四九五	一二三萬	岐阜(二・九) 大垣(四・九)
山梨縣	甲斐	四四六六	六五萬	甲府(八・三)
長野縣	信濃	一三六二六	一七一萬	長野(七・七) 松本(七・三) 上田(三・五)
新潟縣	越後・佐渡	一二五七八	二〇〇萬	新潟(二・三) 長岡(六・二) 三条(三・五) 高田(二・一)
富山縣	越中	四二五七	八〇萬	富山(八・三) 高岡(五・七)
石川縣	加賀・能登	四一九二	七七萬	金澤(二・六) 福井(七・五)
福井縣	越前・若狭	四二六四	六五萬	福井(七・五)
六、近畿地方		面積 三二九八六方町	人口 一二三九萬	人口密度 三七三人

附錄

滋賀縣	近江 山城・丹波の大部分	四〇五 ^方 七 ^萬	●大津(七・二)
京都府	攝津の大部分	四六二 ^方 一七〇 ^萬	●京都(〇・八・一)
大阪府	河内・和泉	一八四 四三〇	●大坂(三・九・〇) 堺(一・四・一)
兵庫縣	攝津の一部分・丹波の一部分	八三三 二九二	●岸和田(三・九・〇)
奈良縣	和歌山・攝津・淡路	三六八 九六二	●神戶(九・二) 姫路(九・一) 西宮(九・〇)
和歌山縣	紀伊の大部分	四七三 八六	●奈良(五・一)
三重縣	紀伊の一部分	五七六 五二七	●和歌山(一・八・〇) 新宮(三・二) 海南(三・〇)
四國地方	備前・美作・備中	三六七 九方	●津(六・七) 四日市(五・八) 宇治山(五・二) 松阪(三・六)
岡山縣	安藝・備後	七〇四 六三三	●岡山(一・六・〇) 津山(三・六) 倉敷(三・五)
山口縣	周防・長門	八四三 七一〇	●廣島(三・一) 吳(三・一) 福山(五・八)
鳥根縣	出雲・石見・隱岐	六〇八 二一九	●山口(三・五) 下關(三・三) 宇部(七・七)
鳥取縣	因幡・伯耆	六六二 五七五	●萩(三・三) 徳山(三・二)
八、四國地方	面積 一八七 七方	三九四 九四九	●松江(五・二)
山口縣	面積 一八七 七方	四一四 三三	●鳥取(四・五) 米子(三・七)
山口縣	面積 一八七 七方	四一四 三三	●人口 三三六 萬 人口密度 一七九人
山口縣	面積 一八七 七方	四一四 三三	●徳島(九・七)
山口縣	面積 一八七 七方	四一四 三三	●高松(八・七) 丸亀(三・〇) 宇和島(五・一)
山口縣	面積 一八七 七方	四一四 三三	●松山(八・二) 今治(五・二) 宇和島(五・一)

高知縣

九、九州地方

高知縣	土佐	七二〇 四七二	●高知(一・〇・三)
福岡縣	筑前・筑後	四四四 六五方	●福岡(九・九) 小倉(三・〇・九)
佐賀縣	肥前・肥後	四九四 〇二七	●門司(三・三) 小倉(三・〇・九) 若松(七・三)
長崎縣	肥前・肥後	二四四 九六九	●大宰府(一・〇・五) 直方(四・四) 飯塚(四・〇)
熊本縣	肥後	四〇七 六三〇	●佐賀(五・〇) 唐津(三・二)
鹿兒島縣	薩摩・大隅	七四三 八三九	●熊本(一・八・七)
宮崎縣	日向	九一〇 一五九	●鹿兒島(一・八・二)
大分縣	豐後・豐前・豐後	七三三 九八二	●宮崎(六・五) 延岡(五・六) 都城(三・七)
沖繩縣	琉球	六三三 四九八	●大分(六・二) 別府(六・二) 中津(三・〇)
一〇、臺灣地方	面積 三五九 七方	二三八 六五九	●那覇(六・五) 首里(一・九)
臺北縣	臺北	四五六 六方	●臺北(二・七) 基隆(八・七)
新竹縣	新竹	四九九 九方	●宜蘭(二・七) 淡水(二・五)
臺中縣	臺中	七三三 三	●新竹(五・一)
臺南縣	臺南	五五二 一	●臺中(七・〇) 彰化(五・一) 鹿港(四・〇)
高雄縣	高雄	五七二 三	●臺南(二・一) 嘉義(七・三) 斗六(三・七)
澎湖縣	澎湖	一二七 七	●高雄(八・五) 屏東(四・三)
附錄			●馬公(二・五)

附錄終

[illegible]

定價金八拾壹錢

[illegible]

著 作 者

西田與四郎

發行者

東京市神田區駿河臺三丁目一番地
目 黒 甚 七

印
刷
者

東京市京橋區銀座西二丁目三番地
高橋 郁

印刷所

東京市京橋區銀座西二丁目三番地
三協印刷株式會社

發行所

東京市神田區駿河臺三丁目一
新潟縣長岡市表町四丁目(本店)
新潟市古町通七番町(支店)

目
黑
書
店

電話神田一〇五八番
振替口座二八〇九番

電話長岡二八番
搬替口座三六一九番

電話新海力〇三番
振替長野四〇九〇番

